

1660迄 (2492件)

1641年-08:00|マレーシア| |||<死去>サラワク・スルタン「スルタン・イブ ラヒム・アリ・オマル・シャー」
1641年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督代理「Simon Jacobszoon Dompkens」(~1642年)
1641年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハ・ハン・スルタン「ヤムトゥアン・ムタ・ラジャ・バジヤウ」(~1676年没)
1641年-08:00|台湾/オランダ/スペイン| |||オランダ がスペイン勢力を排除して台湾全土を占領
1641年-08:00|マレーシア/ブルネイ| |||サラワクはブルネイの一部(~1841年)
1641年-08:00|中国| ||明・崇禎14年|チベットはグシ・ハン王国宗主権下(~1717/1202)
1641年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Kantipur) 国王「Pratap Malla」(~1674年)
1641年-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「ハ・ハティール1世ギレイ」
1641年-02:00|ギリシア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ベネラルト・マルチエロ」(~1644年)
1641年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Serji Ahmed Pasha」(~1642年)
1641年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモタパ 総司令官「フランシスコ・ダ・シルヴァ・エイラ」(~1642年)
1641年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「メフメト4世ギレイ」(1期目~1644年)
1641年-02:00|トルコ| |||オスマン朝イブ ラヒムが即位
1641年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラフィナ公「Pietro Francesco Orsini」
1641年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Juan Fernandez de Cordoba y Coalla」(~1644年)
1641年-01:00|フランス| |||<就任>ヌメル公「シャルル・アメデ・ド・サヴォワ=ヌメル」(~1652/0730死去)
1641年-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>ベルギー総督「ビジャヌエバ 侯爵フランシスコ・メロ・デ・ポルトガル・イ・カストロ」(~1644年)
1641年-01:00|ベルギー| |||<就任>リニユ公「クロード=ラモラル1世」(~1679年)
1641年-01:00|アンゴラ/オランダ| |||アンゴラのルアンダ, 21隻のオランダ 船隊により占領
1641年-01:00|アルジェリア/イタリア| |||アンナバ(ホーン)はジェノヴァの所有物
1641年-01:00|赤道ギニア/オランダ| |||オランダ が西アフリカのビュウ島の実権を掌握
1641年-01:00|オランダ/インド| |||オランダ がインドのヒムリハタムに商館を開設
1641年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー管理者「ゴンサロ・カンホア・デ・アヤラ」(1回目~1644年)
1641年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Paulo da Ponte」(~1642/1108)
1641年 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>セネガルのルマン商会総督「ジャン・コリエ」(~1648年)
1641年 00:00|イギリス| |||<昇格>第8代アーガイル伯「アーチボルド・キャンベル」⇒初代アーガイル侯(~1661/0527死去爵位剥奪)
1641年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督代行「商工会議所元老院:ウェッジ」(~1642年)
1641年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||アンゴラはポルトガル王が没収(~1642年)
1641年 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ 西インド 会社がブラジル北東部セルジッパ・デ・レイを占領(~1645年9月)
1641年 03:00|ブラジル/オランダ| |||ババアでオランダ 人支配に対する反乱
1641年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<死去>プエルトリコ知事兼提督「Agustin de Silva y Figueroa」
1641年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「ジョン・ケトルビー」⇒「ジェイコブ・レイク」(~1649年没)
1641年 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領セントクロア総督「William Caverly」(~1645年)
1641年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「フィリップ・ベル」(~1650年)
1641年 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ジョン・デ・ベラスコ・ウエッラサントイ」(~6. 27)
1641年 05:00|ハイチ/フランス| |||フランスがトルトゥーガ島(タートル島)を完全に占領
1641年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(2期目~1642年)
1641年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケア県総督「アロンソ・デ・シルバ・サザール」(~1643年)
1641年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル・サン・ミゲル州暫定市長「マルティン・デ・トウルティ」(~1642年没)
1641年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「ファン・デ・ブラモンテ・タビラ」(~1660年)
1641年1月3日 00:00|イギリス| |||<死去>エドマンド・ハックス、イングランドの天文学者(生年1618年頃)金星の目面通過の最初の観測者
1641年1月6日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールド=コースト総裁「ジェイコブ・ライヒャーバー」(1回目~1645/1218)
1641年1月9日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ペドロ・ロハス・イ・アセベド」(~7. 17)
1641年1月14日-08:00|マレーシア/オランダ/ポルトガル| |||オランダ がポルトガルからマラッカを奪取
1641年1月22日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「アルバ 6世アフォンソ・ニミ・アルケニ・アンゼンゼ・ア・ストウンバ」
1641年1月22日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「カリス2世アフォンソ・ンカンガ・アルケニ・アンゼンゼ・ア・ストウンバ」(~1660/0123没)
1641年2月 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領セントクロア総督代理「Thomas Brainsby」(~1645年死去)
1641年2月5日-03:30|イラン| |||イラン・ダブリーズ 地震(M6. 8)、死者12613
1641年2月10日-09:00|日本|沖縄県|寛永18年|<即位>琉球国王「尚賢」(~1647/1019死去)
1641年2月10日-09:00|日本|京都府京都市北区|寛永18年|狩野探幽の京都大徳寺襖絵できる
1641年2月10日-09:00|日本|京都府京都市左京区|寛永18年|武士・詩人である石川丈山が一乗寺に隠棲し詩仙堂を営んだ
1641年2月10日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ウィリアム・パーソンズ 卿/ジョン・ホーレス卿」(~1643/0512)
1641年2月15日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国国王タジ・ウル=アラム女王(~1675/1023死去)
1641年2月18日-08:00|インドネシア| |||<死去>アチェ王国スルタン「イスカンダル・サニ」

1660迄 (2492件)

1641年2月18日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「タジ・ウル=アラム女王」(~16751023死去)
1641年2月20日-09:00|日本|茨城県日立市|寛永18年1月11日|常陸、多賀郡金沢村の農民が水戸藩の検地に反対して一揆
1641年2月25日-01:00|イタリア| |||<死去>ピコッポ・ノ公「Niccolo1世」
1641年2月25日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦2月15日|イギリスで、3年議会法が成立
1641年3月 04:00|キューバ/オランダ| |||<就任>オランダ植民地キューバ指導者「Jan Claesz. van Campen」(~12月死去)
1641年3月 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Juan Flores de Sierra y Valdes」(~1641秋死去)
1641年3月1日-08:00|中国| ||清・崇徳6年1月20日|農民反乱の指導者李自成の軍が洛陽を占領
1641年3月10日-09:00|日本|東京都中央区|寛永18年1月29日|<江戸最初の広域大火「桶町の大火」>子刻の少し前(午前0時ごろ)、京橋桶町一丁目の医師宅から出火し折からの烈風にあおられて南は芝宇田川橋(増上寺の東方)から東は木挽町海岸(築地あたり)、北は御成橋、西は麻布に至るまで延焼し翌日20時ごろようやく鎮火/御成橋などの堀の死体388人など数百人が死亡/町家は97町1923軒、侍屋敷121軒、同心屋敷56軒が焼失/中村座、村山座、焼失/消火の総指揮に当たった大目付の加々爪忠澄は煙に巻かれて死亡、火消役の相馬義胤は消火作業中に落馬して重傷を負った
1641年3月11日-01:00|スペイン/カタルニア| |||カタルニア河沿いでムスリムの闘い/グアラニーが、イサ・アビアルの指揮の下に、ドミンゴ・カリエラら奴隷狩り部隊を打ち破る
1641年3月11日-09:00|日本|静岡県磐田市|寛永18年1月30日|<立藩>遠江掛塚藩11500石「加々爪直澄」(父の遺領を継ぎ、弟2人に1500石分与し1万石⇒寛文8(1668)年、3000石加増され13000石)
1641年3月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ラトラント伯「ジョージ・マーズ」
1641年3月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ラトラント伯「ジョン・マーズ」先代の又従兄弟(~16790929死去)
1641年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンパッティスタ・リッチ」「ピエール・アントニオ・ジヤンギ」
1641年4月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>カレンベルク侯「ゲオルク」
1641年4月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>カレンベルク侯「クリスティアン・ルートヴィヒ」ゲオルクの息子(~1648年、弟のゲオルク・ヴァイルヘルムにカレンベルク侯領を譲る)
1641年4月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ドメニコ・イタリアの画家(生年1581年)
1641年4月16日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「暫定政府(ペドロ・ダ・シルバ・エ・サンパオウル・イス・バルバ・ル・ベセラ/ロレンソ・デ・プリート・コレイラ)」(~16420826)
1641年4月26日-09:00|日本|熊本県熊本市|寛永18年3月17日|<死去>肥後熊本藩54万1169石「細川忠利」⇒5月5日、長男「細川光尚」が継ぐ(⇒正保3(1646)年6月11日、従弟「細川行孝」に宇土藩3万石を分与立藩し51万石)
1641年5月-01:00|スペイン/イギリス/コロンビア| |||カルタヘナのスペイン軍、2千名を動員してプエルトリコ島のイギリス人を駆逐
1641年5月 00:00|イギリス/パナマ| |||イギリス人はパナマ諸島のひとつをニュー・プエルトリコとして新たに植民
1641年5月4日-09:00|日本|福島県二本松市|寛永18年3月25日|<死去改易>陸奥二本松藩3万石「加藤明利」嗣幼、2万7000石減封
1641年5月9日 00:00|イギリス| |||<死去>ペットフォード伯「フランス・ラッセル」
1641年5月9日 00:00|イギリス| |||<就任>ペットフォード伯「ウィリアム・ラッセル」先代の子(⇒16940511ペットフォード公・タウイストック侯~17000907死去)
1641年5月12日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ストラフォード伯「トマス・ウェントワース」専制の責任により処刑され爵位剥奪/48歳(誕生15930423)チャールズ1世国王の側近
1641年5月21日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アトバザー「リトルトン男爵エドワード・リトルトン」(~16431003)
1641年5月24日 05:00|コロンビア/スペイン/パナマ| |||プエルトリコ島スペインに押収され、サンタカタリナ島と改名(パナマ大審問院に従属)
1641年5月27日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛永18年4月18日|京都知恩院でできる
1641年6月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースタティウス司令官「Abraham Adriaensen」(1期目~1643.8)
1641年6月2日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「リチャード・ベリンガム」(~16420518)
1641年6月3日-09:00|日本|宮崎県延岡市|寛永18年4月25日|<死去>日向延岡53000石「有馬直純」⇒長男「有馬康純」が継ぐ(⇒延宝7(1679)年11月27日隠居)
1641年6月18日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「Philip Bell」(⇒1645年総督~16500429死去)
1641年6月25日-09:00|日本/オランダ|長崎県長崎市|寛永18年5月17日|オランダ平戸商館を出島に移す
1641年6月26日-09:00|日本|京都府京都市|寛永18年5月18日|中京焼亡
1641年6月27日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「グレゴリオ・デ・ベネトサ」(~16470202没)
1641年7月 00:00|イギリス| ||ユリウス暦7月|イギリスで皇室裁判所廃止
1641年7月17日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「アントニオ・デ・サントバル」(~10.29)
1641年8月8日 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド公「ジェームズ・ステュアート」ロック公・マーチ伯・ダーリー伯(~16550330死去)
1641年8月14日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・アコステイノ・ド・マリニ」(~16420619在職中死去)
1641年8月14日-09:00|日本|北海道|寛永18年7月8日|<死去>蝦夷松前藩(無高)「松前公広」⇒次男「松前氏広」が継ぐ(⇒慶安元(1648)年8月25日、27歳で死去)
1641年8月23日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ロズ伯「ジョン・レスリー」
1641年8月23日 00:00|イギリス| |||<就任>7代ロズ伯「ジョン・レスリー」先代の息子(⇒16800529初代ロズ公~16810727

1660迄 (2492件)

死去)

1641年8月26日-01:00|アンゴラ/サントメ・プリンシペ/オランダ/ポルトガル | ||Jo| and Hendersonの率いるオランダ艦隊21隻がアンゴラのルアンダを占領。その後ベンゲラ、サントメも相次いで占領。ポルトガルの黒人奴隷の供給先が閉ざされる

1641年8月29日-01:00|アンゴラ/オランダ | ||<就任>オランダ領西アフリカ監督「ピーター・ムルター」 「コネリス・ニューラント」 (~16420912)

1641年9月14日-01:00|モコ | ||<就任>モコ公「オノラト2世」 (~16620110)

1641年9月14日-01:00|モコ/フランス | ||モコ公国はポロンヌ条約によりフランス保護下 (~16880608)

1641年9月15日 04:00|バミューダ/イギリス | ||<就任>イギリス領バミューダ総督「3人委員会(ウィリアム・セイル、ステファン・ペインター、ウィリアム・ウィルキンソン)」 (~1642. 3)

1641年9月16日-01:00|フランス | ||<死去>オマル公・ヌメル公「ルイ・ド・サグ・オーヌメル」

1641年9月16日-01:00|フランス | ||<就任>オマル公・ヌメル公「シャルル・アメデ・ド・サグ・オーヌメル」ルイの弟 (~16520730死去)

1641年9月20日-09:00|日本|大分県臼杵市|寛永18年8月16日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉一通」⇒長男「稲葉信通」が継ぐ(⇒寛文13(1673)年6月24日、66歳で死去)

1641年9月21日-01:00|フランス | ||<即位>アンジュ公「フィリップ1世」フランス国王ルイ13世とアンヌ・ドートリッシュの次男兼オルアン公、シャトル公、アランソン公、ヌメル公、モントペンシル公、シャテルロー公、サント＝ファルグ・アウ公、ペ・アウ・レウ公、ジ・ヨアン・イル公、ト・ウロダ・ン伯、ロ・ラ・ンティン伯、モルティン伯、バル＝サル＝ヌ伯、アウグー子爵、ト・ムフロント子爵、コウシ侯、フォルム・ライ、メジエール侯、ペ・アウヨリス男爵、モンタルジ領主 (~1660年~17010609死去60歳)

1641年9月30日-01:00|フランス | ||<即位>ギーズ公「アンリ2世」 (~16640602死去)

1641年9月30日 00:00|イギリス | ||<就任>スコットランド大法官「ラウド・ウン伯・ジョン・キャンベル」 (~1651. 8)

1641年10月-01:00|赤道ギニア/オランダ | ||オランダによるアンボン島占領 (~1648年)

1641年10月 06:00|アメリカ/スペイン | ||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督代理「Francisco Gomes」 (~1642年)

1641年10月1日-01:00|サンマリノ | ||<就任>サンマリノ共和国執政「スフォルツァ・シオニ」 「バルトロメオ・チッコリ」

1641年10月10日-09:00|日本|岡山県高梁市|寛永18年9月6日|<死去改易>備中松山藩65000石「池田長常」無嗣断絶

1641年10月14日-09:00|日本|香川県丸亀市|寛永18年9月10日|<加増移封>肥後富岡藩42000石「山崎家治」⇒讃岐国丸亀藩53000石(⇒慶安元(1648)年3月17日、死去)

1641年10月16日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ | ||<就任>オランダ西インド会社サントメ司令官「Cornelis Cornelissen Jo|」 (~31日死去)

1641年10月16日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ | ||オランダがサントメとアノ・ボムを占領 (~16490106)

1641年10月29日 03:00|アルゼンチン/スペイン | ||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ暫定総督「ジエロニモ・リス・デ・カブレラ」 (~16460609)

1641年10月31日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ | ||<死去>オランダ西インド会社サントメ司令官「Cornelis Cornelissen Jo|」

1641年10月31日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ | ||<就任>オランダ西インド会社サントメ司令官「Matheus Jansen」 (~1642年)

1641年11月 03:00|ブラジル/オランダ | ||オランダ西インド会社がブラジル北東部サルイス・マニャオを占領 (~1643年)

1641年11月2日 00:00|アイルランド/イギリス | ||ユリウス暦: 1641/10/23|アルスター地方でカリック教徒の反乱。多くの入植者が殺害される

1641年11月9日-01:00|オランダ/ベルギー/スペイン | ||<死去>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「トレ・大司教フェルナント」

1641年11月9日-01:00|オランダ/スペイン | ||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Francisco de Melo」 (~1644年)

1641年11月11日-02:00|シリア・アラブ/トルコ | ||<就任>アレクサンドリア(総督)「Nasuh Pasha oglu Huseyin Pashaj」 (~1642年)

1641年11月12日-09:00|韓国/朝鮮 | ||<就任>朝鮮国領議政「李聖求」 (~16420819)

1641年11月17日-01:00|モコ/フランス/スペイン | ||モコからスペイン軍は追い出された(24日、フランス軍に置き換えられた)

1641年11月25日-01:00|オランダ/ポルトガル/ブラジル | ||コエン・アンデルソン司令官の率いるペルナンブコのオランダ軍が、先住民奴隷をもとめサルイス・マニャオを占領。Sao Cristovaoも再度奪還

1641年11月29日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|寛永18年10月27日|<死去>下野壬生藩25000石「三浦正次」⇒長男「三浦安次」が継ぐ(弟「共次」に5000石を分与し2万石⇒天和2(1682)年9月6日、死去)

1641年12月-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ | ||<就任>ボスニア総督「テリ・フェイン・パシャ」 (~1644年)

1641年12月 04:00|キューサ/オランダ | ||<死去>オランダ植民地キューサ指導者「Jan Claesz. van Campen」

1641年12月 00:00|イギリス | ||ユリウス暦12月|民兵条例が發布される/議会が軍事権を握ることとなる

1641年12月2日 04:00|プエルトリコ/スペイン | ||<就任>プエルトリコ暫定知事兼提督「Juan de Bolanos」 (~1643年)

1641年12月9日-01:00|フランス | ||<死去>アンソニー・ヴァン・ダイク、フランドルの画家(42歳、15990322生)

1641年12月10日 06:00|アメリカ | ||マチュー・セツ植民地議会が、サニエル・ウォード起草の自由法典を採択

1642年-08:00|インドネシア/オランダ | ||<就任>アンボン島オランダ総督「Gerard Demmer」 (~1647年)

1642年-08:00|中国 | ||明・崇禎14年|<就任>チベット摂政「ソナム・ラブテン」 (~1658年)

1642年-08:00|インドネシア/オランダ | ||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Wouter Seroijen」 (~1648年)

1642年-08:00|インドネシア/スペイン | ||<就任>モルッカ諸島スペイン総督代理「Pedro Fernandez del Rio」(1期目~1643年)

1642年-08:00|中国 | ||明・崇禎14年|<即位>(チベット)ゲシ・ハン王「ゲシ・ハン」 (~16550114死去)

1642年-08:00|中国 | ||明・崇禎14年|<即位>タイ・ラマ「5世ロサン・ギヤツォ」 (~1682年)

1642年-05:30|インド | ||<建国>シッキム王国(首都: ヨクサム)

1642年-05:30|インド | ||<即位>ウイジヤナガル王国(ア・ラウ・イ・ト・ウ朝)国王「シュリーランガ3世」 (~1649年)

1642年-05:30|インド | ||<即位>シッキム王「フンツォ・ナムギヤル1世」 (~1670年、死去)

1642年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン | ||<即位>ブハラ・ハン国ジヤン朝ハン「ナーディル・ムハンマド・ハーン」デーン・ムハンマドの次男 (~1645年)

1660迄 (2492件)

1642年-04:00|ロシア| |||ムイク州のヌキガジ・ムフから分離し、かつてはカジ・ムフの下位国家であったシャムルのダゲスタンの称号を継承
1642年-04:00|ロシア| |||ニェン(現在のサクトペルブルク)がイングリアの首都となった(1656年、ロシアがニェンを占領したため、首都はナルヴァに戻った)
1642年-04:00|レニオン/フランス| |||ルイ13世によってレニオンがブルボン島と命名された
1642年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バゲダット・ワリス「キチュク・ハサン」(2回目~1644年)
1642年-03:00|マダガスカル| |||マダガスカル島の巨鳥エポルニス(ロッキ鳥)が絶滅
1642年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ワリス(総督)「Boynuegri Durak Mehmed Pasha」(~1643年)
1642年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「マクト・パシャ」(~1644年、軍隊によって打倒され、スルタンによって処刑された)
1642年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Melek Ahmed Pasha」(~1643年)
1642年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・テ・クアマ、モモタパ 総司令官「トミンゴス・グヴァイア・コチニョ」⇒代行「リス・レゴ・デ・ネグレイロス」(~1643年2月)
1642年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムツミ「ユビ3世マジンパカ」(~1675年)
1642年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「メフメド・ブルサリ・パシャ」(~1645年)
1642年-01:00|イタリア| |||<即位>アマルフィ公「Ottavio Piccolomini」(~1656年)
1642年-01:00|赤道ギニア/オランダ| |||オランダの散発的なフェルナント・プー占領(~1648年)
1642年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル国務長官「ペドロ・ビエイラ・ダ・シルバ」(~1656年)
1642年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「フランシスコ・デ・ソッテ」(~2月役職廃止)
1642年 00:00|ポルトガル/イギリス| |||ポルトガルとイギリスとの間で同盟通商条約が結ばれた
1642年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラ・ド・ナトリア長官「Afonso de Portugal」(~16490804死去)
1642年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||ファイアル島・ピコ島・ナトリアはポルトガル王に没収された(~1680年)
1642年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ホーネル司令官「Jacob Lopper Mz.」
1642年 04:00|ホリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「サンティアゴ 侯爵デ・イオニオ・ペレス・マンリケ・デ・ラウ」(~1644年)
1642年 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス/オランダ| |||<設立>セントクロア島のイギリス(東端)とオランダ(西端)植民地(~1645年)
1642年 05:00|ジャマイカ| |||イギリス海賊ウィリアム・ジャクソン、ジャマイカ島唯一の町サインティアゴ・デ・ラ・ベガを襲撃
1642年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「ジョージ・ウイリス」(~1643年)
1642年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州暫定市長「アントニオ・フスティアーノ・チャヴァリ」(~1647年)
1642年 06:00|ホンジュラス/イギリス| |||ベイズ諸島7ヶ島がイギリスの海賊によって再占領される
1642年1月-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王「ハドゥ・マラジャ」
1642年1月-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王「ラマデ・イパティ」(~1658年)
1642年1月8日-01:00|イタリア| |||<死去>ガリオ・ガリレ、イタリアの物理学者、天文学者、哲学者(77歳、15640215生)
1642年1月18日-01:00|ルクセンブルク/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルク 総督兼総司令官「ジャン・ド・ベック」(~1648年没)
1642年1月27日-09:00|日本|栃木県栃木市|寛永18年12月27日|<死去>下野皆川藩10500石「松平重則」⇒翌年、長男「松平重正」が継ぐ(⇒寛文2年9月2日(16621013)死去)
1642年1月28日-09:00|日本|滋賀県大津市|寛永18年12月28日|比叡山堂塔ができる
1642年1月30日-08:00|中国| |||明・崇禎15年|グシ・ハンの軍事力を背景にグライ・ラマ政権成立
1642年1月31日-09:00|日本|愛媛県松山市|寛永19年|松山城の天守閣、従来5層であったものを3層に改築
1642年1月31日-09:00|日本|大分県大分市|寛永19年|<藩庁移転>豊後中津留藩22000石「松平忠昭」⇒豊後高松藩2000石(⇒明暦4(1658)年2月24日、豊後府内藩22200石へ移封)
1642年1月31日-09:00|日本|佐賀県小城市|寛永19年|<分封>肥前小城藩73000石(幕府から佐賀藩支藩と認定)「鍋島元茂」(⇒承応3年11月11日(16541219)死去)
1642年1月31日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|寛永19年|<辞任>肥前鹿島藩25000石「鍋島正茂」⇒養子「鍋島直朝」が継ぐ(⇒寛文12(1672)年12月9日、隠居)
1642年2月 00:00|カナ/オランダ/ポルトガル| |||オランダがサント・アントニオ・デ・アキム砦を占領、ポルトガルの施設がオランダに引き渡される(オランダのゴールドコーストの一部)
1642年2月6日-09:00|日本|大分県速見郡日出町|寛永19年1月7日|<死去>豊後日出藩3万石「木下延俊」⇒長男「木下俊治」が継ぐ(弟「延次」に5千石分知し25000石⇒万治4(1661)年4月3日、死去)
1642年2月6日-09:00|日本|岐阜県中津川市|寛永19年1月7日|<死去>美濃苗木藩10521石「遠山秀友」⇒長男「遠山友貞」が継ぐ(⇒延宝3(1675)年5月6日病死)
1642年2月7日-09:00|日本| |||寛永19年1月8日|<死去>安楽庵策伝、落語の祖とされる僧(生年1554年)
1642年2月20日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督代理「Antonij Caen」(~9. 13)
1642年3月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督「ジョサイア・フォスター大佐」(1期目~1643. 7)
1642年3月16日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ディエゴ・デ・アグエンダーノ」(~16490802没)
1642年3月19日-09:00|日本|東京都台東区|寛永19年2月19日|浅草寺焼亡
1642年3月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マティグ総督「Nuno Pereira Freire」(~16450411)
1642年3月28日-09:00|日本|香川県高松市|寛永19年2月28日|<加増移封>常陸下館藩5万石「松平頼重」⇒讃岐高松

1660迄 (2492件)

藩12万石(⇒延宝元(1673)年2月19日、隠居)

1642年3月31日-09:00|日本|東京都中央区|寛永19年3月|山村座(江戸)許可、座主、山村長太夫、木挽町<現、銀座>(1644年説も)

1642年4月-05:30|インド| |||クトゥブ・シャーヒー朝軍がヴイジャナガル朝領に侵入

1642年4月 04:00|米領ヴァージン諸島/オランダ| |||<就任>オランダ領セントクロア総督「Louys Capoen」(~1645年死去)

1642年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・ベルツィ」(「ジョヴァンニ・セラフィニ」)

1642年4月1日-09:00|日本|新潟県村上市|寛永19年3月2日|<死去改易>越後村上藩10万石「堀直定」無嗣

1642年4月2日-09:00|日本|東京都|寛永19年3月3日|江戸幕府が初めて勘定奉行を設置

1642年4月14日 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツで公立初頭教育制度が成立

1642年5月1日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||<就任>ノルウェー総督「ハンニバル・セヘステッド・ティル・ノラースガード」(~16510430)

1642年5月12日-03:30|イラン| |||<死去>サファヴィー朝シャー「サフィ1世」

1642年5月12日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「アッバース2世」(~16660925)

1642年5月17日 06:00|カタール/フランス| |||カタールでメジヌーフがモントリオールを建設

1642年5月18日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・ウィンロップ」(~16440529)

1642年5月19日-01:00|フランス/スペイン| |||<ロクロの戦い>「コンデ」公「ルイ2世(大コンデ)」率いるフランス軍、フランドル(南ネーデルラント)からパリに向かっていったフランス・ダ・メロ率いるスペイン軍を、北フランスの町ロクロ(シャンパ-ニュ=アルデンヌ地域圏=アルデンヌ県)付近で破る

1642年5月27日-09:00|日本|大阪府堺市|寛永19年4月29日|<死去>和泉陶器藩1万石「小出三尹」⇒長男「小出有棟」が継ぐ(⇒寛文8(1668)年9月4日、死去)

1642年5月29日 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>パナマ大審問院総督・長官「ニコ・デ・ラ・モッタ・サルミエント」

1642年6月 00:00|イギリス| |||<死去>初代アール伯「ジョン・マレー」

1642年6月 00:00|イギリス| |||<就任>2代アール伯「ジョン・マレー」(⇒1670年兼3代トリバーティン伯)

1642年6月6日-09:00|日本|東京都|寛永19年5月9日|幕府が譜代大名70人の江戸在勤期間を制定

1642年6月10日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパ-ニャ暫定副王「フエラ・デ・ロス・アンヘルス司教」ジョン・パ・ラフォックス・イ・メントーサ」(~11.23)

1642年6月15日-09:00|日本|京都府京都市|寛永19年5月18日|下京で大火、900余戸焼失

1642年6月19日-01:00|イタリア| |||<死去>ジェノヴァ共和国トージェ「ジョヴァンニ・アコステイノ・ト・マリニ」

1642年6月23日-01:00|イタリア/トルコ| |||カチ近くで、トルコ軍カンデリアに上陸

1642年6月25日-09:00|日本|香川県高松市|寛永19年5月28日|<加増移封>常陸下館藩5万石「松平頼重」⇒讃岐高松藩12万石(⇒延宝元(1673)年2月19日、隠居)

1642年6月26日-09:00|日本|兵庫県小野市|寛永19年5月29日|<死去>播磨小野藩28600石「一柳直家」⇒翌年3月15日、養子「一柳直次」が継ぐ(18600石が没収され1万石⇒万治元(1658)年12月27日、死去)

1642年6月29日-09:00|日本|千葉県大網白里市|寛永19年6月3日|敬台院殿日詔法詔寺日感[会津実成寺13代]を助けて上総に細草檀林を設く

1642年7月3日-01:00|ドイツ/フランス| |||<死去>マリー・ド・メディシス、フランドルの画家故ヒール・パウル・ルベンスがケルン(ドイツ)に所有していた「屋敷」で(67歳、生年1573年)フランス王アンリ4世の王妃、フランス王ルイ13世の母

1642年7月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「ジョヴァンニ・バチスタ・レカリ」(~16440704)

1642年7月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「オーウェン・ロー・オニール」(カトリック連盟によって任命~16430915)

1642年7月26日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン=エストニア総督「グスタフ・ガブリエルソン・オクセンステイナ」(~1646年)

1642年7月27日-09:00|日本|長野県長野市|寛永19年7月1日|<死去>信濃長沼藩13000石「佐久間勝友」⇒長男「佐久間勝豊」が継ぐ(弟「勝興」に3000石分知し1万石⇒貞享2年8月21日(16850919)死去)

1642年8月11日-09:00|日本|千葉県佐倉市|寛永19年7月16日|<加増移封>信濃松本藩10万石「堀田正盛」⇒下総佐倉藩11万石(⇒慶安4(1651)年4月20日、徳川家光に殉死)

1642年8月14日-09:00|日本|長崎県五島市|寛永19年7月19日|<死去>肥前福江藩15530石「五島盛利」⇒長男の「五島盛次」が継ぐ(⇒明暦元年10月9日(16551106)死去)

1642年8月17日-02:00|ラトヴィア| |||<死去>ケルラント・ゼムカレン公「フリート・ル・ケラー」

1642年8月17日-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラント・ゼムカレン公「ヤコブ・ケラー」(~16820101、死去)

1642年8月18日-01:00|イタリア| |||<死去>グイット・レニ、イタリアの画家(生年1575年)

1642年8月19日-01:00|イタリア/トルコ| |||トルコ軍にカチが名誉ある降伏

1642年8月20日-09:00|日本|栃木県大田原市|寛永19年7月25日|<死去改易>下野那須藩14000石「那須資重」無嗣廃藩/父に5000石安堵

1642年8月22日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦8月12日|イギリス国王がノッティンガムで議会に宣戦/第1次内乱が始まる/清教徒革命が始まる

1642年8月23日-09:00|日本|愛知県豊橋市|寛永19年7月28日|<移封>駿河田中藩45000石「水野忠善」⇒三河吉田藩45000石(⇒正保2(1645)年7月14日、三河岡崎藩5万石へ加増移封)

1642年8月23日-09:00|日本|岡山県高梁市|寛永19年7月28日|<移転>備中成羽藩5万石「水谷勝隆」⇒備中松山藩5万石(⇒寛文4(1664)年閏5月3日、死去)

1642年8月23日-09:00|日本|静岡県藤枝市|寛永19年7月28日|<拝領>駿河田中藩25000石「松平(藤井)忠晴」(⇒寛永21(1644)年3月、遠州掛川25000石に移封)

1642年8月23日-09:00|日本|長野県松本市|寛永19年7月28日|<加増移封>三河吉田藩4万石「水野忠清」⇒信濃松本藩7万石(⇒正保4年5月28日(16470630)死去)

1660迄 (2492件)

1642年8月26日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アントニオ・テレス・ダ・シルバ」(~16471222)
1642年8月27日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「崔鳴吉」(~12. 8)
1642年9月-04:00|レユニオン/フランス| |||フランスがサン・ポール島を正式に領有宣言
1642年9月4日-09:00|日本| ||寛永19年8月10日|幕府が郷村取締令を制定
1642年9月12日-01:00|アンゴラ/オランダ| |||<就任>オランダ領西アフリカ監督「コルネリス・ヘントリクス・ファン・オウマン」(~1646年)
1642年9月24日-03:00|マダガスカル/フランス| |||<設立>マダガスカルの南東海岸にあるフランスのドーフィン砦(トラポ~16740827)
1642年9月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ダートマス・伯「ウィリアム・スタンレー」
1642年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ダートマス・伯「ジェームス・スタンレー」(~16511015死去)
1642年9月30日-01:00|オランダ/ポルトガル/ブラジル| |||マラニオンでポルトガル人クリオジョによる対オランダ反乱開始
1642年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クラウディオ・ベルツィ」|「パオロ・アントニオ・オノリ」
1642年10月3日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」
1642年10月3日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」(~16810426死去)
1642年10月6日 04:00|BES諸島/スペイン| |||<就任>スペインのポネール司令官「Ruy Fernandez de Fuenmayor」(~16421017)
1642年10月6日 04:00|BES諸島/スペイン| |||ポネールはルイ・フェルナンド・デ・フエンマヨールの下でスペインが占領(~17日)
1642年10月23日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦8月12日|<エッジヒルの戦い>最初の戦闘で議会軍と国王軍引き分け
1642年10月24日 00:00|イギリス| |||<死去>初代リンズー伯「ロバート・パーティ」
1642年10月24日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代リンズー伯「モンタギュー・パーティ」(~16660725死去)
1642年10月24日-09:00|日本|千葉県いすみ市|寛永19年閏9月|<拝領>上総刈谷藩1万石「堀直景」(⇒寛文8(1668)年8月、隠居)
1642年10月27日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>オランダ西インド会社サントメ司令官「Jan Coenders」
1642年10月29日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>オランダ西インド会社サントメ司令官「Heijndrick Dominicus van der Nes」(~11.16)
1642年11月2日-01:00|フランス/ドイツ/スウェーデン| |||第2次ライプツィヒの戦い/トルステンソン将軍率いるスウェーデン軍とフランス軍がドイツ皇帝軍を破りライプツィヒ占領
1642年11月7日 00:00|イギリス| |||<死去>初代マンチェスター伯「ヘンリー・モンタギュー」
1642年11月7日 00:00|イギリス| |||<就任>2代マンチェスター伯「エドワード・モンタギュー」(~16710505死去)
1642年11月8日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Lourenco Pires de Tavora」(4期目~1645年)
1642年11月21日-09:00|日本|福岡県久留米市|寛永19年閏9月29日|<死去>筑後久留米藩21万石「有馬豊氏」⇒次男「有馬忠頼」が継ぐ(⇒承応4(1655)年3月20日、死去)
1642年11月23日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「フアン・ロドリゲス・デ・カサ・サルミエント・デ・ソトマヨール・エンリケス・テ・ルナ」(~16480513)
1642年11月24日-01:00|オランダ/オーストラリア| |||オランダの探検家タスマン、オーストラリア南方に大きな島を発見、タスマニアと命名
1642年11月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク＝ゾーレン侯「クリスティアン・ギューター1世」
1642年11月25日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク＝ゾーレン侯「アントン・ギューター1世」(~16660819死去)
1642年12月 04:00|キュラソー/オランダ| |||<就任>オランダ植民地キュラソー指導者代理「Heyndrick Gerritszoon」(~同年)⇒指導者「Petrus Stuyvesant」(1647からニュー・ネーデルラント内)」(~16640908)
1642年12月4日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王国首席大臣「アルマン・ジャン・デュ・プレシ・ド・リシュリュー」
1642年12月5日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣(宰相)「ジュール・マザラン」(~16610309)
1642年12月13日-12:00|ニュー・ゼーランド/オランダ| |||オランダの航海者タスマン、ニュー・ゼーランド「発見」アベル・タスマン、ステーンランドと名付け、後にニュー・ゼーランドとして知られるようになる
1642年12月14日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>オランダ西インド会社サントメ司令官「Gerrit Jansen Hasenbouth」
1642年12月14日-09:00|日本|山梨県都留市|寛永19年10月23日|<死去>甲斐谷村藩18000石「秋元泰朝」⇒12月14日、嫡男「秋元富朝」が継ぐ(⇒明暦3年6月17日(16570727)、48歳で死去)
1643年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Lorenzo de Olaso y Achotegui」(~1652年)
1643年-05:30|インド| |||<建国>バングラ国
1643年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「アールト・ホイッセン」(~1650年)
1643年-05:30|インド| |||<就任>コト・カプ王国支配者「カプ・ラシン」建国(~1708年没)
1643年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァ・ハン国第13代ハン「アブル・ガースィー」アラブ・ムハンマドの子(~1663年)
1643年-04:00|オマーン/ポルトガル| |||ヤア・リハ王朝イマム「ナシール・イブン・ムシト」によりポルトガル人はサルから追放された(~1649年)
1643年-03:00|マダガスカル/フランス| |||フランスがマスカリン諸島のレユニオンに交易拠点を建設
1643年-03:00|マダガスカル/フランス| |||フランス東インド会社がマダガスカルに入植地を建設
1643年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Ciftelerli Osman Pasha」(~同年)⇒「Siyawush Pasha」(~1644年)
1643年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンティニア王国総督「アントニオ・コーナ」(~1646年2月以降)
1643年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Sultanzade Mehmed Pasha Ghawan Qabughi」(~同年)⇒「Silihdar Yusuf Pasha」(1期目~同年)⇒「Boynuegri Durak Mehmed Pasha」(~1644年)
1643年-02:00|エジプト| |||エジプトで疫病、続いて飢饉が発生
1643年-01:00|アンゴラ/オランダ| |||<就任>オランダ領西アフリカ監督「ヘントリック・レインホーフェン」(~1646年)

1660迄 (2492件)

1643年-01:00|フランス| |||<就任>ブロイ伯「フランソワ・マリ」(~16560702死去)
1643年-01:00|イタリア| |||トリチェリが気圧計を発明し、「トリチェリの真空」を発見
1643年 00:00|イギリス| |||<死去>2代ケリー伯「トマス・アースキン」
1643年 00:00|イギリス| |||<死去>エクセター伯「デヴィッド・セシル」
1643年 00:00|イギリス| |||<就任>3代ケリー伯「アレクサンダー・アースキン」(~1677年)
1643年 00:00|イギリス| |||<就任>エクセター伯「ジョン・セシル」(~1678.2死去)
1643年 04:00|セントルシア/フランス| |||<就任>フランス領サント・ルーシー(新設)副総督「ルイ・ド・クレンゴ・アン・ド・ルーゼン」(~1654年没)
1643年 04:00|BES諸島/スペイン| |||<就任>ボネール司令官代理「Pieter Fredericksz. van Maegdenborch」⇒司令官「Hugo Claessen」(~1657年)
1643年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ファン・デ・ベガ・パサン・イ・ベルナル」(1回目~1644年)
1643年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(3期目~1644年)
1643年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「ファン・デ・ブスタマンテ・エレウ」(~1644年)
1643年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Alonso de Pacheco de Heredia」(~同年)
1643年 06:00|グアテマラ| |||オランダ人海賊、トルヒーリョを襲撃。スペイン人はトルヒーリョの町を放棄
1643年 06:00|ニカラガア| |||ミスキト族と海賊の連合軍がマタガルパを襲撃
1643年1月-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バタム大統領「ラルフ・Cartwright」(~1645年)
1643年1月5日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永19年11月15日|<就任>老中「松平乗寿」(~承応3年1月26日)
1643年1月15日-09:00|日本|福岡県柳川市|寛永19年11月25日|<死去>立花宗茂(生年1567年)前筑後柳河藩主
1643年1月18日-09:00|日本|大分県豊後高田市|寛永19年11月28日|<死去>豊後高田藩37000石「松平重直」⇒翌年正月、長男「松平英親」が継ぐ(⇒正保2(1645)年7月14日、豊後杵築藩32000石に移封、廃藩)
1643年1月21日-13:00|トンガ/オランダ| |||オランダのアベル・タスマン大尉は、トンガタプ(アムステルダム)、ユーバ(ミドルバーグ)、ノムカ(ロッテルダム)を見つけた
1643年1月29日-09:00|日本| ||寛永19年12月10日|旗本の士に養子襲祿の法を頒つ
1643年2月-05:30|インド| |||ムガル帝国第5代皇帝シャージャハンの命でインドのアークラのヤムナー河畔に建設中だったタージ・マハルが、22年の歳月を経て完成
1643年2月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モモタパ 総司令官「ジュリオ・モニスタ・シルバ」(~1646年)
1643年2月-01:00|オランダ/アメリカ| |||ニューアムステルダム(現NY)でオランダ人と先住民の戦争がはじまる
1643年2月6日-12:00|フィジー/オランダ| |||オランダ人アベル・タスマン船長によってタビ島とバヌアツ島発見
1643年2月7日-09:00|日本|滋賀県大津市|寛永19年12月19日|根本中堂が徳川家光により再建
1643年2月15日 06:00|アメリカ/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領ニュースウェーデン総督「ヨハン・ビョルンソン・フリッツ」(~1653.10)
1643年2月19日-09:00|日本|群馬県渋川市|寛永20年|この年杳々橋関所(渋川市)を設置
1643年2月19日-08:00|中国| ||明・崇禎16年1月|李自成が襄陽で新順王と称して政権を樹立
1643年3月1日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョーモ・フレスコバルディ、イタリアの作曲家(生年1583年)
1643年3月2日 00:00|イギリス| |||<昇格>ウスター伯「ヘンリー・サマセット」⇒ウスター侯(~16461218死去)
1643年3月7日-09:00|日本|京都府亀岡市|寛永20年1月17日|<死去>丹波亀山藩41100石「菅沼定芳」⇒長男「菅沼定昭」が嗣ぐ(異母弟「定実」へ2000石、「定賞」へ1100石分与し38000石⇒正保4(1647)年9月21日、死去無嗣断絶)
1643年3月18日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハートフル伯「ジェームス・ジョンストン」(~1653.4死去)
1643年3月19日 00:00|イギリス| |||<死去>ノザンプトン伯「スペンサー・コンプトン」
1643年3月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ノザンプトン伯「ジェームス・コンプトン」(~16811215死去)
1643年3月22日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永20年2月3日|ルノー神父ら8人が穴吊りの刑で殉教
1643年3月23日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||サーク島は英国議会在没収(~16600825)
1643年3月30日-09:00|日本| ||寛永20年2月11日|幕府が私鑄銭を禁止
1643年3月30日-09:00|日本| ||寛永20年2月11日|幕府がキリスト教を禁じる
1643年3月31日 11:00|日本|東京都三宅村|寛永20年2月12日|夜、三宅島雄山噴火/溶岩が流出し阿古村が焼失/死者無し
1643年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フルゲンツィオ・マッチョーニ」「フェデリコ・トシーニ」
1643年4月1日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ウルフェルト伯爵コルフイツ・ウルフェルト・スホルム」(~16510713)
1643年4月4日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|寛永20年2月16日|<死去>摂津尼崎藩54000石(老中)「青山幸成」⇒3月26日、長男「青山幸利」が継ぐ(弟「幸通」に3000石、「幸正」に2000石、「幸高」に1000石を分与し48000石⇒貞享元年8月2日(16840911)死去)
1643年4月8日 00:00|イギリス| |||<死去>デンビー伯「ウィリアム・フィールド・イング」
1643年4月8日 00:00|イギリス| |||<就任>デンビー伯「バシル・フィールド・イング」(~16751128死去)
1643年4月9日-09:00|日本|熊本県熊本市|寛永20年2月21日|熊本藩、家臣阿部一族の反乱を鎮圧
1643年4月10日-09:00|日本|滋賀県高島市|寛永20年2月22日|<死去>近江大溝藩2万石「分部光信」⇒三男「分部嘉治」が継ぐ(⇒明暦4年7月10日(16580808)死去)
1643年4月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ハミルトン公・初代クライズ・デール侯・初代アラン・ケンブリッジ伯「ジェームス・ハミルトン」5代アラン伯(~16490309処刑される)
1643年4月17日-09:00|日本|新潟県五泉市|寛永20年2月29日|<死去>越後安田藩3万石「堀直時」⇒次男「堀直吉」が継ぐ(⇒正保元(1644)年5月、越後村松藩3万石へ陣屋替え)
1643年4月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>クリストフ・マンティウス、ドイツの作曲家(生年1567年)
1643年4月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「申景禎」(~28日)

1660迄 (2492件)

1643年4月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=フツバツハ方伯「フィリップ3世」1代で断絶
1643年4月29日-09:00|日本| |||寛永20年3月11日|幕府、田畑永代売買禁止令を公布
1643年5月 04:00|刊/オランダ| |||ヘルナンソのオランダ人「ロウエル」船隊を組みゼラン海峡から北上、チロ島に拠点を建設しシュターテン・アイラント(ステーン島)と命名、アラウコを攻撃(~8.24)
1643年5月10日-09:00|日本|茨城県つくば市|寛永20年3月22日|<死去>常陸谷田部藩16200石「細川興昌」⇒長男「細川興隆」が継ぐ(⇒元禄2(1689)年閏1月14日隠居)
1643年5月12日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ジョン・ホーレース卿/ヘンリー・ティッチボーン卿」(~11.13)
1643年5月14日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王「ルイ13世」結核により「ル・ガール宮」(1区)で(1601年~、41歳)
1643年5月14日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「フランス王ルイ14世」(~1715年)
1643年5月14日-01:00|フランス| |||<即位>フランス国王「ルイ14世(大王・太陽王)」ルイ13世の子(~17150901)
1643年5月14日-09:00|日本|大分県豊後高田市|寛永20年3月26日|<分封>豊後高田藩3万7千石「松平英親」弟重長に3千石、宮内重政に2千石⇒32000石(正保2(1645)年7月14日、豊後杵築藩32000石に移封、廃藩)
1643年5月18日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス領内ロワールでフランス軍とスペイン軍の対決/スペインは大敗
1643年5月19日 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ、プリマス、コネティカット、ニューヘブンの4植民地、ニューイングランド連合を形成
1643年6月8日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サタラント 伯「ヘンリー・スペンサー」(~9.20死去)
1643年6月16日-08:00|中国| |||明・崇禎16年5月|張献忠が武昌で西王と号する
1643年6月17日-09:00|日本|福島県会津若松市|寛永20年5月2日|<改易>陸奥会津藩40万石「加藤明成」家臣堀主水と抗争事件を起こし領地返上
1643年6月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「沈悦」(~16440418)
1643年6月26日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>オランダ 西インド会社サントメ司令官「Adam Tessmer」
1643年7月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督「ウィリアム・セイル大佐」(2期目~1645年)
1643年7月8日-09:00|日本|千葉県成田市|寛永20年5月2日|<加増>下総高岡藩1万石「井上政重」+3000石⇒13000石(⇒万治3年(1660)年7月9日、隠居)
1643年7月9日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Fernando de la Riva Aguero y Setien」(~1649年)
1643年7月16日-09:00|日本|島根県大田市|寛永20年6月|<立藩>石見吉永藩1万石「加藤明友」(⇒天和2(1682)年6月19日、近江水口藩2万石に加増移封)
1643年8月 00:00|イギリス| |||<死去>第6代サックス伯「エドワード・ラトクリフ」
1643年8月 04:00|BES諸島| |||<就任>セント・ユースタティウス司令官「Pieter van de Woestijne」(~1647年)
1643年8月7日-01:00|オランダ| |||<死去>ヘンドリック・ブラウエル、オランダの探検家(生年1581年)後にブラウエル・ルート(クリッパールト)とも呼ばれる航路(南アフリカから東へ4,000マイル(6,400km)進み、北へ真直ぐパタゴニア(ジャカルタ)へ行く航路)を発見
1643年8月18日-09:00|日本|福島県会津若松市|寛永20年7月4日|<加増移封>出羽国山形藩20万石「保科正之」⇒陸奥会津藩23万石(⇒寛文9(1669)年4月27日、隠居)
1643年8月18日-09:00|日本|福島県白河市|寛永20年7月4日|<加増移封>上野館林10万石「榊原忠氏」⇒陸奥白河藩14万石(〜慶安2年6月9日播磨姫路に転封)
1643年8月18日-09:00|日本|福島県二本松市|寛永20年7月4日|<移封>陸奥白河藩100700石「丹羽光重」⇒陸奥二本松藩100700石(⇒延宝7(1679)年4月7日、隠居)
1643年8月23日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン國務長官「ジョヴァンニ・バティスタ・スパーダ」(~1644年)
1643年8月26日 00:00|チャンセル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島議会弁務官「Henri Dumaresq」「Michel Lempriere」「Abraham Herault」(~1643年)
1643年8月28日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「アントレ・デ・イラス・ダ・フランカ」(4回目)、「バルタザール・マルティンス・デ・ロレーロ」、「フランシスコ・ロペス・タバレス」、「フランシスコ・バニャ・デ・セウラ」(~16450401)
1643年8月29日 00:00|チャンセル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-知事「Robert Rich」(~11.24)
1643年9月-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||デンマーク、スウェーデンと戦争(~1645)
1643年9月 00:00|イギリス| |||イギリスで東部連合軍が成立
1643年9月5日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランケバル)司令官「ウィレム・ライエル」(~1648年)
1643年9月7日 04:00|グアートルプ/フランス| |||<就任>グアートルプ 知事「Charles Houel」(1期目~1644.8)
1643年9月9日 05:00|エクアトル/スペイン| |||<就任>スペイン領トリス総督・総司令官・大審問院長「フアン・デ・リザラス」(~16441217没)
1643年9月13日-09:00|日本|香川県坂出市|寛永20年8月|高松藩主「松平頼重」、白峯寺を再興
1643年9月15日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ヨーク伯「リチャード・ホイル」
1643年9月15日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ヨーク伯「リチャード・ホイル」(⇒16640320兼初代ハートリントン伯~16980115死去)
1643年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代カーナヴァン伯「ロバート・ドーマー」
1643年9月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代サタラント 伯「ヘンリー・スペンサー」
1643年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代カーナヴァン伯「チャールズ・ドーマー」先代の孫(~17091129死去断絶)
1643年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代サタラント 伯「ロバート・スペンサー」(~17020928死去)
1643年9月21日-08:00|中国| |||清・崇徳8年8月9日|<死去>清の第2代皇帝「太宗ホジャイ」51歳(生年1592)
1643年9月24日-09:00|日本|京都府京都市|寛永20年8月12日|<死去>京都の画家「俵屋宗達」風塵雷神図屏風ほか
1643年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メルキオレ・マッジョ・ベッルツィ」「エヴァンジェリスタ・ベッルツィ」
1643年10月3日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国大蔵卿兼主席アトバ イザ-「ハンワースのコッティントン男爵フランス・コッティ

1660迄 (2492件)

ントン」(~16490130)
1643年10月8日-08:00|中国| ||清・崇徳8年8月26日|<就任>清摂政「ルイ公トウエルゲン」(~16501031)、「鄭公ジエルラン」(~1647年)
1643年10月8日-08:00|中国| ||清・崇徳8年8月26日|<即位>清皇帝「順治帝」5歳(~16610205没)実権は叔父の執政トロンが掌握
1643年10月8日 11:00|日本|長崎県長崎市|寛永20年8月26日|夜、長崎西中町より出火し町の半数を焼失、恵美須町に延焼し3分の1を焼亡
1643年10月13日-08:00|中国| ||明・崇禎16年9月|李自成軍が河南の襄城で明軍を大破
1643年10月20日-09:00|日本|奈良県天理市|寛永20年9月8日|<死去>大和柳本藩1万石「織田長種」⇒12月7日、長男「織田秀一」が継ぐ(⇒貞享4(1687)年8月3日、死去)
1643年10月21日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦10月11日|国王側と議会側のウインズビエの戦いが行われる
1643年10月27日 00:00|イギリス| ||<昇格>初代ニューカッスル=オン=タイン伯「ウィリアム・キャヴェンディッシュ」⇒初代ニューカッスル=オン=タイン侯(⇒16650316初代ニューカッスル=アホーン=タイン公~16761225死去)
1643年11月-01:00|フランス/ドイツ| ||フランス軍はドイツのトゥットリンゲンで敗北/これ以後、帝国軍は小さな戦闘をのぞくと、連戦連敗を繰り返す
1643年11月6日-09:00|日本| ||寛永20年9月25日|「寛永諸家譜図伝」372巻が完成
1643年11月8日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永20年9月27日|幕府、初の組織的な火消制度「大名火消」創設
1643年11月9日 00:00|イギリス| ||<死去>第9代ケント伯「アンソニー・グレイ」
1643年11月9日 00:00|イギリス| ||<就任>第10代ケント伯「ヘンリー・グレイ」(~16510328死去)
1643年11月11日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・福泰1年10月|<譲位>後黎朝(大越)後期第6代皇帝「神宗黎維祺」
1643年11月11日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・福泰1年10月|<即位>後黎朝(大越)後期第7代皇帝「真宗黎維祐」(~16491002死去)福泰と改元(~1649年)
1643年11月13日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ヘンリー・ティッホー・ン卿」主席判事(~16440121)
1643年11月13日-09:00|日本|東京都台東区|寛永20年10月2日|<死去>南光坊天海/108歳(誕生:天文5(1536))天台宗の僧で3代の将軍に仕えた
1643年11月14日 00:00|イギリス| ||<死去>ハンティンドン伯「ヘンリー・ヘイステインクス」
1643年11月14日 00:00|イギリス| ||<就任>ハンティンドン伯「フェルディナント・ヘイステインクス」(~1655年)
1643年11月14日-09:00|日本|京都府京都市|寛永20年10月3日|<譲位>109代「明正天皇」
1643年11月14日-09:00|日本|京都府京都市|寛永20年10月3日|<踐祚>110代「後光明天皇」/10月21日即位(~16540920)
1643年11月24日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ジャージー知事「Thomas Jermyn卿」(2期目~16490130)
1643年11月24日 04:00|アンティガ・ア・バ・ブータ/イギリス| ||<就任>カリブ諸島総督・中将「トマス・ワナー卿」(~16450912)
1643年11月27日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||カイエンヌでのフランス人の入植地(Compagnie de Rouenの下で16531227まで)
1643年11月29日-01:00|イタリア| ||<死去>クラウディオ・モンテヴェルディ、イタリアの作曲家(生年1567年)
1643年12月24日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Pierre de Beauvoir」(1期目~1651年)
1643年12月25日-07:00|クリスマス島/イギリス| ||英国東インド会社のウィリアム・マイノースがオーストラリア領島に到達し「クリスマス島」と命名
1644年-05:45|ネパール| ||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Jagat Prakasha Malla」(~1673年)
1644年-05:30|インド| ||<就任>トルコ国統治者(タル・サヒブ)「カランダール1世ハンチャング」(~1706年)
1644年-05:30|インド| ||ファルタン国をヒンジャールが占領(~1651年)
1644年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダット・ワリス「テリ・フセイン・ハッシャ」⇒「モハメッド・ハッシャ」(~1645年)
1644年-03:00|スーダン| ||<即位>ファン王国 سلطان「Badi2世」(~1681年)
1644年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ベルナルド・モロシーニ」(~1646年)
1644年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「エラブ・ハッシャ」(~1646年)
1644年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gurcu Mehmed Pasha2世」(1期目~1645年)
1644年-02:00|ウクライナ| ||<即位>クリミア・ハン国ハン「イスラム3世ギレイ」(~16540710死去)
1644年-01:00|オランダ/ベルギー/スペイン| ||<就任>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「カステル・ロドリゴ 侯爵エマニュエル・デ・モウラ・イ・コルテレアル」(~1647年)
1644年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズニア総督「ヴォイェク・アフメド・ハッシャ」⇒「ヴァルヴァル・アリ・ハッシャ」(~1645年)
1644年-01:00|ドイツ| ||<即位>アレンベルク公「フィリップ・フランツ」(アレンベルク侯から昇格~16741217死去)
1644年-01:00|フランス| ||フランスの哲学者デカルトが「哲学原理」を発表
1644年 00:00|フェロ諸島| ||<死去>フェロ諸島領土執達吏(トースハウン)「Mads Christenson Gullandsfar」
1644年 00:00|イギリス| ||<就任>2代リバーデイン伯「ジェームズ・マレー」(~1670年)
1644年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>カチュー司令官代行「パウロ・ハラダス・ダ・シルバ」⇒司令官「コンサゴ・ガノン・ア・テ・アヤラ」(2回目~1649年)
1644年 00:00|イギリス| ||<就任>ヨーク公「ジェームズ・ステュアート」(~16850206イギリス国王ジェームズ2世)
1644年 00:00|イギリス| ||<昇格>第5代モントローズ伯「ジェームズ・グラハム」⇒初代モントローズ侯(~16500521死去)
1644年 04:00|キューソー/オランダ| ||<就任>オランダ植民地キューソー指導者代理「Lucas Rodenburch(vice-director)」(⇒1

1660迄 (2492件)

647年指導者~1655年死去)

1644年 04:00|ホリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フ・ラ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「フランスコ・デ・ソッサ」(~1647年)
1644年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「デ・イエコ・デ・オロスコ」(1回目~1645年)
1644年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(2期目~1645年)
1644年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ファン・デ・シャベス・イ・メントーサ」(~1650年12月)
1644年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマケグア県総督「メルチョル・アロンソ・タマヨ」(~1647年)
1644年 06:00|アメリカ| |||ホーハトン族の最後の蜂起が鎮圧され、ホーハトン戦争が終焉
1644年1月16日 04:30|ベネズエラ| |||ヴェネズエラ・サンクリストバル地震(M7.0)死者多数
1644年1月19日 00:00|イギリス| |||スコットランド軍が議会派をむすび、イングランドに侵攻
1644年1月21日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「オーモント・伯ジェイムズ・バトラー」(1回目~16470728)
1644年1月24日 00:00|イギリス| |||<就任>カンバーランド公「ルパート・オブ・ザ・ライン」フ・ファルツ選帝侯フリードリヒ5世とジェームズ1世の娘エリザベスの3男(~16821129死去)
1644年1月26日 00:00|イギリス| |||<昇格>第2代アントリム伯「ランダル・マクトネル」⇒初代アントリム侯(~16830203死去アントリム侯爵廃絶)
1644年1月31日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「スルタンザード・メフメト・パシャ」(~16451217)
1644年2月-01:00|オランダ/オーストラリア| |||オランダ人のタスマンがオーストラリア北岸の探検航海に出航
1644年2月8日-08:00|中国| ||清・順治1年1月1日|清・順治と改元
1644年2月8日-08:00|中国| ||明・崇禎17年1月1日|李自成が西安で大順国を樹立、永昌(-1645)と建元
1644年2月18日-09:00|日本|山形県山形市|寛永21年1月11日|<加増移封>越前大野藩5万石「松平直基」⇒出羽山形藩15万石(⇒慶安元(1648)年6月14日、姫路藩15万石へ移封)
1644年2月29日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督「Marcos Gedler Calatayud y Toledo」(~16490424)
1644年3月4日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「Charles Poncet中將」(~16450614死去)
1644年3月12日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのペイルベイ「ミラール・オスマン・パシャ」(~10月)
1644年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「リビオ・ベリチェリ」「ケレコ・リオ・チェッコリ」
1644年4月5日-09:00|日本|群馬県館林市|寛永21年2月28日|<加増移封>遠江浜松藩36000石「松平乗寿」⇒上野館林藩6万石(⇒承応3年2月1日(16540319)死去)
1644年4月5日-09:00|日本|静岡県浜松市|寛永21年2月28日|<移封>三河西尾藩35000石「太田資宗」⇒遠江浜松藩35000石(⇒寛文11(1671)年12月19日、隠居)
1644年4月14日-09:00|日本|新潟県村上市|寛永21年3月8日|<加増移封>遠江掛川藩7万石「本多忠義」⇒越後村上藩10万石(⇒慶安2(1649)年6月9日、陸奥白河藩12万石へ加増移封)
1644年4月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪瑞鳳」(~5.10)
1644年4月21日-09:00|日本|福井県大野市|寛永21年3月15日|<加増移封>越前勝山藩35000石「松平直良」幕府領となり福井藩に預けられる⇒越前大野藩5万石(⇒延宝6(1678)年6月26日、死去)
1644年4月24日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永21年3月18日|<移封>駿河田中藩25000石「松平(藤井)忠晴」⇒遠州掛川藩25000石(⇒正保5(1648)年間正月、丹波亀山藩38000石へ加増移封)
1644年4月24日-09:00|日本|静岡県藤枝市|寛永21年3月18日|<加増移封>下総関宿藩2万石「北条氏重」⇒駿河田中藩25000石(⇒正保5(1648)年間1月21日、遠江掛川藩3万石へ加増移封)
1644年4月24日-09:00|日本|千葉県野田市|寛永21年3月18日|<加増移封>武蔵石戸藩11000石「牧野信成」⇒下総関宿藩17000石(⇒正保4(1647)年11月26日、隠居)
1644年4月24日-08:00|中国| ||明・崇禎17年3月18日|李自成軍が北京を占領
1644年4月25日-08:00|中国| ||明・崇禎17年3月19日|李自成軍に攻められ明の毅宗崇禎帝が紫禁城の裏手の煤山で首吊り自殺/34歳(誕生:1610)/明朝最後の皇帝、これで明朝は滅亡
1644年5月1日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永21年3月25日|<死去>播磨姫路藩18万石「松平(奥平)忠明」⇒5月18日、長男「松平忠弘」が継ぐ(弟「清道」に3万石し分知15万石⇒慶安元(1648)年6月14日、出羽山形藩15万石へ移封)
1644年5月1日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永21年3月25日|<分封>播磨姫路新田藩3万石「松平(奥平)清道」(⇒正保元(1644)12月26日、死去無嗣改易)
1644年5月6日 03:00|ブラジル/オランダ| |||<就任>オランダ領ブラジル総督「評議員:ヘンドリック・ハメル/デイルク・コット・ファン・デル・ハーグ」(同年没)⇒ピーテル・ヤンセン・バス/アドリアン・ファン・プレストレート(~16451118)
1644年5月6日-08:00|中国| ||清・順治1年4月|山海関を守備する明の猛将呉三桂が清軍に寝返り、李自成の遠征軍を撃破
1644年5月10日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金リュウ」(~16450104)
1644年5月16日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|寛永21年4月10日|<改易>陸奥三春3万石「松下長綱」藩主発狂により/子孫は旗本
1644年5月25日 00:00|イギリス| |||<就任>初代セックス伯「トマス・サイル」(~1659年死去)
1644年5月29日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・エンデコット」(~16450514)
1644年6月3日 00:00|イギリス| |||<就任>初代チェスター伯「フランス・リー」(~16531221死去)
1644年6月5日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領フロリダ植民地総督「エドワード・ウィンロー」(~16450604)
1644年6月6日-08:00|中国| ||清・順治1年5月2日|執政トルゴンに率いられた清軍が北京に入る/清朝が始まる
1644年6月9日-09:00|日本|新潟県五泉市|寛永21年5月5日|<陣屋移転>越後安田藩3万石「堀直吉」⇒越後村松藩3万石(⇒延宝4年10月29日(16741204)死去)

1660迄 (2492件)

1644年6月11日-01:00|イタリア| |||イタリアの物理学者トリチェリは、水銀柱の実験を行い「水銀は真空の働きによってでなく、大気によって押し上げられている」と手紙に書き、この日リッチイ宛に出す

1644年6月19日-08:00|中国| ||南明・崇禎17年5月15日|<即位>南明皇帝「安宗弘光帝(朱由崧)」(~16450615) 万暦帝の孫/南京において亡命政権(南明)発足(~隆武2年4月9日(16460523))

1644年7月 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Pedro Carrillo de Guzman」(~1650年)

1644年7月12日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦7月2日|イギリス、マーストームアの戦い/クロムウェルの「鉄騎兵隊」の働きにより議会軍が勝利/これ以降、議会軍が優勢となる

1644年7月17日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Haydar Agazade Mehmed Pasha」(~同月)

1644年7月21日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ルカ・ギウステニアーニ」(~16460721)

1644年7月22日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦7月12日|マーストームアの戦いで勝利したクロムウェルの議会軍がイングランド北部をおさえる

1644年7月25日 00:00|イギリス| |||<就任>17代クロフォート伯「ジョン・リンジー」初代リンジー伯(~1678年死去)

1644年7月25日 00:00|イギリス| |||<剥奪>16代クロフォート伯「ルトヴィック・リンジー」

1644年7月29日-01:00|バチカン| |||<死去>第235代ローマ教皇「ウルバヌス8世」/76歳(誕生1568年)

1644年8月-01:00|フランス/ドイツ| ||フランス軍、フライブルクの決戦でバリエル軍に完勝

1644年8月 04:00|ゲアトルプ/フランス| |||<就任>ゲアトルプ 暫定知事「Marivet」(~1645. 5)

1644年8月1日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Ibrahim Pasha」(~同年)

1644年8月3日-09:00|日本|京都府京都市南区|寛永21年7月|<再建>京都東寺(教王護国寺)五重塔

1644年8月9日-01:00|ドイツ/フランス| |||<フライブルクの戦い>(3日・5日)ドイツ南西部のフライブルク・イム・ブライスガウ周辺で行われた3日の戦闘で、フランス軍がバリエル選帝侯軍を主力とした神聖ローマ帝国軍を破る

1644年8月11日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「デ・イエゴ・ファバルト」(~16530725)

1644年8月12日-09:00|日本|茨城県古河市|寛永21年7月10日|<死去>下総国古河藩16万石(大老)「土井利勝」⇒長男「土井利隆」が継ぐ(弟「利長」「利房」に1万石ずつ、弟「利直」に5000石を分与し13万5000石⇒万治元(1658)年9月7日、隠居)

1644年9月-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿國務長官「ジョヴァンニ・ジャコモ・パンチローリ」(~1651年)

1644年9月15日-01:00|バチカン| |||<就任>第236代ローマ教皇「インノケンティウス10世」(~16550107死去)

1644年9月29日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アム・アイヤト・ムハンマド」1世

1644年9月29日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「al-Mutawakkil Isma'il」(~16760815死去)

1644年10月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバリエル「テリ・フェイン・バシヤ」(~16450811)

1644年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ/共和国執政「ジュリアーノ・ベルツツィ」「ビエール・レオネ・コルベッリ」

1644年10月1日-09:00|日本|栃木県足利市|寛永21年9月1日|<立藩>下野足利藩1万石「土井利長」(父利勝の遺領を分与⇒万治元(1658)年9月7日、兄「利隆」から1万石を再分与され2万石)

1644年10月1日-09:00|日本|栃木県足利市|寛永21年9月1日|<立藩>下野足利藩1万石「土井利房」(父利勝の遺領を分与⇒万治元(1658)年、1万石加増され2万石)

1644年10月9日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Dervish Mehmed Pasha」(~1645年)

1644年10月18日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|寛永21年9月18日|由利本荘地方に大地震、余震が翌月20日まで続く。本荘城の櫓門堀が大破、象潟で津波死者117名

1644年10月30日-08:00|中国| ||清・順治1年10月|清朝三代目の順治帝が北京に遷都し漢族の皇帝として即位、満漢蒙三族の帝となる

1644年11月 00:00|イギリス| |||<就任>ノーリッチ伯「ジョージ・ゴリング」(~16630106死去)

1644年11月10日-09:00|日本|群馬県太田市|寛永21年10月11日|<創建>世良田東照宮(徳川氏発祥の地)

1644年11月24日 00:00|イギリス| |||<刊行>「ミルトン・アレバ・ジティカ(言論の自由)」

1644年11月27日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|寛永21年10月28日|<死去>但馬豊岡藩25000石「杉原重長」29歳⇒翌年閏5月26日、養子「杉原重玄」が継ぐ(末期養子のため1万石に減封⇒承応2(1653)年10月14日、死去無嗣断絶)

1644年12月4日-08:00|中国| ||清・順治1年11月6日|張獻忠、成都で大西国王と称し大順(-1646)と建元

1644年12月5日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<統合>イギリス領セイロン植民地⇒コチカット植民地

1644年12月6日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Fernando de Arguello」(~16470504)

1644年12月11日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョージ・ジェムソン、スコットランドの肖像画家(生年1587年)

1644年12月12日-09:00|日本|沖縄県|寛永21年11月13日|<死去>儀間親方真常、琉球の五偉人の一人(生年1557年) 野国総管が中国から持ち帰ったサツマ芋を琉球各地に広めたほか、薩摩藩から木綿種を持ち帰り、その栽培と木綿織りを始めさせ、琉球絣の基礎を築き、砂糖(ただし当時の砂糖は黒砂糖を意味する)の製法を広めたことなどが業績に挙げられる

1644年12月17日 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領トリスチア暫定総督・総司令官・大審問院長「アントニオ・ロドリゲス・デ・サン・イシドロ・マンリケ」(2回目~16460322)

1644年12月19日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦12月9日|イギリスで辞退条例が成立/議員は軍務から退き、長老派が軍隊指揮権を失う

1644年12月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン・アイトナ侯「Albrecht」ザクセン・コータとザクセン・ヴァイマルで分割

1645年-08:00|インドネシア| |||<死去>マタラム君主「スルタン・アゲン」

1645年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>パトナム大統領「Aaron Baker」(2期目~1649年)

1645年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Nasir ud-Din2世」(~1648年)

1645年-08:00|インドネシア| |||<即位>ブランバンガン君主「Prabhu Tawangalun2世(Mas Senepo)」(~1691年)

1660迄 (2492件)

1645年-05:45|ネーデル| |||<即位>ゴッホ・ラジヤ「クリシュナ・シャハ」(~1661年)
1645年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「マヌエル・マスカレニヤス・ホメム」(~1653年)
1645年-05:30|インド| |||<就任>ホンチ国ラジヤ「ファテ・ムハンマト・カーン」(~1700年没)
1645年-05:30|インド| |||ウイジヤナガル王国がアーデル・シャーヒー朝に敗北
1645年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国ジャン朝ハン「アブドゥル・アズィズ・ハーン」ナードイル・ムハンマトの長男(~1680年)
1645年-05:00|モルデイヴ/オランダ| |||マレはオランダ領セイロンからのオランダ保護下に置かれる(~17960216)
1645年-04:00|モーリシャス/オランダ| |||<就任>オランダのモーリシャス植民地司令官「ヤコブ・ファン・デル・メルシュ」(~1648年9月)
1645年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「ムサ・パシャ」(~1646年)
1645年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Ibrahim Pasha I」(~同年)⇒「Mehmed Pasha Salami」(~1646年)
1645年-02:00|モザンビーク/ブラジル| |||ポルトガル領モザンビークからブラジルへ奴隷の輸出が開始
1645年-01:00|ベナン| |||<死去>アグボムのファン王国国王「ダコヌ」
1645年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「アリ・ビ・チン・パシャ」(~同年)⇒「マフムド・フルサリ・パシャ」(~1647年)
1645年-01:00|ポーランド| |||<就任>ポーランド公「ポーランド王ウラディスワフ4世」(~16480520死去)
1645年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Luis de Lencastre」(~1646年)
1645年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ジャヒンズ・オメル・パシャ」(~1646年)
1645年-01:00|ベナン| |||<即位>アグボムのファン王国国王「ガニエ・ヘス」⇒「ウエガヤ」(~1685年没)
1645年-01:00|オランダ/モルデイヴ| |||オランダがモルデイヴを保護領とする
1645年 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>オランダ西インド会社サントメ司令官「Johan Mulder」(~1648.9死去)
1645年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Jeronimo Correia de Carvalho」(~16560928)
1645年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>フェロー諸島領土執達吏(トスハウ)「Hans Selmer」(~1648年)
1645年 00:00|カナ/オランダ| |||オランダ東インド会社がゴールドコーストの内陸部に侵入
1645年 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<死去>イギリス領セントクロア総督代理「Thomas Brainsby」
1645年 04:00|米領ヴァージン諸島/オランダ| |||<死去>オランダ領セントクロア総督「Louys Capoen」
1645年 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督「ジョサイア・フォスター」(2期目~1646.4)
1645年 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<設立>セントクロアのイギリス植民地(~1650.8)
1645年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「セバスチャン・フェルナンデス・デ・ガンボア」(~1646年)
1645年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ファン・デ・ヘガ・バザン・イ・ベラル」(2回目~1647年)
1645年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(4期目~1646年)
1645年1月7日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪瑞鳳」(~2.28)
1645年1月13日-09:00|日本| ||正保1年12月16日|改元され正保元年となる
1645年1月20日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1645/1/10|ウイリアム・ロートが処刑される/71歳(誕生:15731007)ピュリタンを弾圧したため長期議会で弾劾されたカサバリ大司教
1645年1月23日-09:00|日本|兵庫県姫路市|正保1年12月26日|<死去改易>播磨姫路新田藩3万石「松平清道」無嗣
1645年1月28日-09:00|日本|千葉県銚子市|正保2年|<創業>大新旅館
1645年1月28日-08:00|中国| ||南明・弘光1年1月1日|南明・安宗弘光帝が弘光元年に改元
1645年2月8日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||スウェーデンとデンマークがブロンセボロ講和条約を締結(トルステンソン戦争)/デンマークはスウェーデンにルウェー領のイエムランド、ハルヘターレン、ハランドを割譲しデンマーク本領からはエーランド海峡の自由通航権及びゴットランドを割譲、神聖ローマ帝国の司教区であるブレーメンとフェルデンもこの時失った/スウェーデンはスカンディナヴィア半島南端スウェーデン地方を占領していたが返還された
1645年2月17日 00:00|イギリス| |||イギリスでニュー・モデル軍条令が制定
1645年2月26日-08:00|中国| ||清・順治2年2月|清軍が李自成軍を討伐し李自成が西安以西へ敗走中に没、大順国が消滅
1645年2月28日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金リウ」(~16460419)
1645年3月7日-09:00|日本|愛知県岡崎市|正保2年2月10日|<死去>三河岡崎藩55000石「本多忠利」46歳で病死⇒六男「本多利長」が継ぐ(兄「助久」と弟「利朗」に1万石分与し45000石⇒6月27日、遠江横須賀5万石へ移封)
1645年3月8日-01:00|オランダ/ポルトガル/ブラジル| |||ジョアン・フェルナンデス・ビエイラ, Andre Vidal de Negreirosらペルナンブコのエンジェニョ、バアの総督府と組みオランダに対し反乱、姉妹島の戦いでオランダ軍に初めて勝利
1645年3月29日-09:00|日本|茨城県石岡市|正保2年3月2日|<死去>常陸府中藩18000石「皆川隆庸」⇒5月21日、長男「皆川成郷」が継ぐ(弟「秀隆」に5000石分与し13000石⇒同年6月4日、死去無嗣断絶、5千石を弟に分知)
1645年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「スフォルツァ・ジョーニ」「ウインチェンツォ・フランチェニ」
1645年4月8日-05:30|インド| |||ムガル朝シャー・ジャハーンがアグラーから新都へ遷都
1645年4月10日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー・島弁務官「John Poley」「John Nicholas Vaughan」「Henry Janson」(~5月)
1645年4月10日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ベニート・ルイス・デ・サラサル・バレラ」(~16460411)
1645年4月11日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マデイラ総督「Manuel de Sousa Mascarenhas」(~1648.5)
1645年4月16日 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・ヒューム、イングランドの作曲家、ヴァイオリン奏者(生年1569年)
1645年4月16日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「カエターノ・コウチーニ」(~16491120)
1645年4月16日-09:00|日本|兵庫県姫路市|正保2年3月20日|<改易>播磨赤穂藩35200石「池田輝興」突如発狂して

1660迄 (2492件)

正室と侍女2名を殺害したため、備前岡山に幽閉

- 1645年4月19日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ領東インド総督「アントニオ・ヴァン・デル・イマン」
- 1645年4月19日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Cornelis van der Lijn」(~16500426)
- 1645年4月26日-08:00|中国| ||清・順治2年4月|清軍が揚州を占領し、10日間の虐殺
- 1645年4月30日-01:00|イタリア/トルコ| |||クレタ島領有をめぐりオスマンとヴェネチアが戦争開始
- 1645年4月30日-09:00|日本|石川県|正保2年4月5日|<死去>加賀・能登・越中102万5千石「前田高光」(生年1616年)
⇒長男「前田綱紀」が継ぐ(~享保8(1723)年5月6日、隠居)
- 1645年5月12日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝摂政「サル・タキ」(~16451011没)
- 1645年5月14日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「トマス・ダドリー」(~16460506)
- 1645年5月23日-09:00|日本|愛媛県西条市|正保2年4月28日|<死去>伊予小松藩1万石「一柳直頼」⇒長男「一柳直治」が継ぐ(⇒宝永2(1705)年閏4月15日、隠居)
- 1645年5月25日-09:00|日本|岐阜県海津市|正保2年4月30日|<死去>美濃今尾藩3万石「竹腰正信」(名古屋藩附家老)⇒5月26日、次男「竹腰正晴」が継ぐ(⇒延宝5(1677)年1月19日、死去)
- 1645年5月29日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Charles Houel」(2期目~16540708)
- 1645年6月4日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領フロリダ植民地総督「ウィリアム・ブラッドフォード」(~16570509死去)
- 1645年6月6日-09:00|日本| ||正保2年5月12日|剣法の極意を地・水・火・風・空の5巻に説いた宮本武蔵の「五輪書」が脱稿
- 1645年6月11日-09:00|日本|京都府京都市|正保2年5月17日|京都大火、御幸町二条上ル町より失火、二条辺11町300/150余戸焼失
- 1645年6月13日-09:00|日本|熊本県熊本市|正保2年5月19日|<死去>剣術家・画家・宮本武蔵/62歳(誕生:天正12(1584))「五輪書」
- 1645年6月14日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<死去>ギニア知事「Charles Poncet中將」
- 1645年6月17日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||ホーホルム島がスウェーデンに占領される(~10.29)
- 1645年6月17日-08:00|中国| ||清・順治2年;南明・弘光1年5月24日|トド率いる清軍が南京を占領
- 1645年6月21日-08:00|中国| ||清・順治2年;南明・弘光1年5月28日|南明・弘光帝は清軍に捕らえられ残存の南明勢力は福州に逃れる
- 1645年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「エインス・ソフレンソン」(~16480623)
- 1645年6月24日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦6月14日|クロムウェル率いる議会軍が、ノーサンプトン州ネズビーの戦いで王党軍を壊滅させる
- 1645年7月14日 06:00|カタール/フランス| |||カタールでフランスとイロコイ五族同盟の和平成立
- 1645年7月17日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット伯「ロバート・カー」消滅
- 1645年7月21日-08:00|中国| ||南明・弘光1年6月28日|<即位>南明皇帝「紹宗隆武帝(唐王朱聿鍵)」洪武帝の8世の孫(~隆武2年8月28日(16461006))
- 1645年7月22日-01:00|スペイン| |||<死去>オリバーズ公「カスパー・ル・テ・グスマン・イ・ヒメンタル」
- 1645年7月22日-01:00|スペイン| |||<就任>オリバーズ公「エンリケ・フェリペ・デ・グスマン」(~1646年)
- 1645年7月23日-04:00|ロシア| |||<死去>ロシア・ツァーリ「ミハイル・フョードロヴィチ」
- 1645年7月23日-04:00|ロシア| |||<即位>ロシア・ツァーリ「アレクセイ・ミハイロヴィチ」(~16760130没)、摂政「ツァリツァ・イ・ウエリカヤ・クニャギニャ・エフトキヤ・ルキヤヴナ・ストレシュネワ」(~8.18)
- 1645年7月26日-09:00|日本|茨城県石岡市|正保2年6月4日|<死去改易>常陸府中藩13000石「皆川成郷」無嗣断絶/5千石を弟に分知
- 1645年8月6日-01:00|オランダ/ポルトガル/ブラジル| |||反乱軍、セリニエンの砦を攻略。オランダ人守備兵は降伏
- 1645年8月6日-08:00|中国| ||清の順治2年6月15日|清朝が、全男子に辮髪を命じる薙髪令を発する
- 1645年8月11日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルンバイ「カシュ・ムスタファ・パシャ」(~16460909)
- 1645年8月12日-08:00|中国| ||南明・弘光1年閏6月21日|魯王朱以海、監国と称して紹興に亡命政権を立てる(-1653年)/紹宗(唐王)と対立
- 1645年8月13日-01:00|オランダ/ポルトガル/ブラジル| |||Cabo de Santo AgostinhoのPontal de Nazare要塞がポルトガル人部隊の手に落ちる
- 1645年8月13日-01:00|ルウェー/スウェーデン| |||イエムランドとハーゼンタールはスウェーデンに譲渡
- 1645年8月13日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|正保2年6月22日|<移封>常陸笠間藩53500石「浅野長直」⇒播磨赤穂藩53500石(⇒寛文11(1671)年3月5日、隠居)
- 1645年8月14日-09:00|日本|愛知県西尾市|正保2年6月23日|<加増移封>上野安中藩3万石「井伊直好」⇒三河西尾藩35000石(⇒万治2(1659)年正月28日、遠江国掛川藩35000石に移封)
- 1645年8月15日-09:00|日本|愛媛県西条市|正保2年6月24日|<死去>伊予西条藩30000石「一柳直重」⇒12月1日、長男「一柳直興」が継ぐ(5000石を弟「直照」に分与し25000石⇒寛文5(1665)年7月29日、役目不行届などで改易)
- 1645年8月18日-09:00|日本|茨城県笠間市|正保2年6月27日|<移封>遠江横須賀藩47500石「井上正利」⇒常陸笠間藩5万石(⇒寛文9(1669)年6月、隠居)
- 1645年8月18日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|正保2年6月27日|<移封>三河岡崎藩45000石「本多利長」⇒遠江横須賀藩5万石(⇒天和2(1682)年2月23日、不行跡や過酷な藩政を布いたとして改易)
- 1645年8月18日-09:00|日本|東京都|正保2年6月27日|幕府が江戸市中での鉄砲の使用を禁じる
- 1645年8月19日-09:00|日本|群馬県安中市|正保2年6月28日|<加増移封>三河新城藩15000石「水野元綱」廃藩⇒上野安中藩2万石(⇒寛文4(1664)年10月26日、隠居)
- 1645年8月21日-08:00|中国| ||清・順治2年7月|清軍が江南を攻略し、住民を大量虐殺

1660迄 (2492件)

1645年8月21日-08:00|中国| ||南明・隆武1年7月1日|南明・紹宗隆武帝(朱聿鍵)が隆武と改元
1645年8月23日-01:00|デンマーク/エストニア/スウェーデン| ||ユリウス暦:1645/8/13|スウェーデンがデンマークから撤退/スウェーデンはバルト海の覇権を握る/エーゼルはデンマークからスウェーデンに割譲され、スウェーデンに従属
1645年8月28日-01:00|オランダ| |||<死去>「国際法の祖」・「近代自然法の父」と呼ばれるオランダの自然法学者ユ・ゴ・ウ・ロティウス(1583-、62歳)
1645年8月31日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|正保2年7月10日|<加増移封>常陸奥戸藩5万石「秋田俊季」⇒陸奥三春藩55000石(⇒慶安2(1649)年1月3日、死去)
1645年9月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ対立総督「フランシス・デ・ソウト・マイオール」(マッサンガノで~1646年5月)
1645年9月4日-09:00|日本|愛知県岡崎市|正保2年7月14日|<加増移封>三河吉田藩45000石「水野忠善」⇒三河岡崎藩5万石(⇒寛文4(1664)年、弟「忠久」に5000石分与し4万石⇒延宝4年8月29日(16761006)死去)
1645年9月4日-09:00|日本|愛知県豊橋市|正保2年7月14日|<加増移封>豊後杵築藩4万石「小笠原忠知」⇒三河吉田藩45000石(⇒寛文3(1663)年7月29日、65歳で死去)
1645年9月4日-09:00|日本|大分県杵築市|正保2年7月14日|<移封>豊後高田藩32000石「松平英親」廃藩⇒豊後杵築藩32000石(⇒元禄5(1692)年12月4日、隠居)
1645年9月8日-09:00|日本| ||正保2年7月18日|幕府が、大小刀の寸法および頭髪に関する法度を出す
1645年9月11日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パ拉丁代行「ヤノス・ゲロ・ド・トルゲス・ホナ」(~11.22没)
1645年9月17日-01:00|オランダ/ポルトガル/ブラジル| |||ポルトガルのオランダ軍が降伏。翌日にはサンフランシスコ河のマリッツ砦も降伏
1645年9月20日-09:00|日本|福井県福井市|正保2年8月1日|<死去>越前福井藩52万5280石「松平忠昌」(生年1598年)⇒10月、嫡男「松平光通」が継ぐ(弟「昌勝」に5万石、「昌親」に25000石分知し45万石⇒延宝2(1674)年3月24日、自殺)
1645年9月22日-01:00|オーストリア/フランス/ドイツ| |||ネトリンゲン近郊で決戦。フランス軍がオーストリア・バイエルン軍を撃破
1645年9月24日 00:00|イギリス| |||<死去>ウィリアム・ローズ、イングランドの作曲家(生年1602年)
1645年9月24日-09:00|日本|東京都|正保2年8月5日|幕府、辻番所を江戸市中と近郊の武家地に増設させる
1645年9月25日-09:00|日本| ||正保2年8月6日|<死去>陸奥高月藩2万石「内藤政晴」⇒翌年2月28日、長男「内藤政親」が継ぐ(⇒寛文8(1668)年2月1日、陸奥泉藩2万石に移転)
1645年10月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリス(総督)「Gurcu Mehmed Pasha」(~同年)
1645年10月 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<死去>カーボベルデ総督「ジョアン・セラン・ダ・クーニャ」
1645年10月 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「フレイ・ローレンス・ガロ」、「ホセ・デ・アラウ・ジョ・デ・モンヘス」(~16461101)
1645年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ボネッティ」(「オットア・イ・ジ・ヤンニニ」)
1645年10月11日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝摂政「ハリファ・ソルタン」(~1653年没)
1645年10月14日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ハリファ・ソルタン・アル・ウラマ」(2回目~16540305)
1645年10月27日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラジル公(王位継承者、ポルトガル公を改称)・ブラザンサ公・4代バルセロス公・8代グイラウメ・イ・サ・侯・13代オレム伯・10代アライオス伯・10代ネイヴァ伯「テオドジョ」(~16530513死去)ポルトガル王子
1645年10月29日-09:00|日本|山形県米沢市|正保2年9月10日|<死去>出羽米沢藩30万石「上杉定勝」(生年1604年)⇒嫡男「上杉綱勝」が継ぐ(⇒寛文4年閏5月7日(16640630)急死)
1645年11月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事代理「Laforet」(~12月死去)
1645年11月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Noel Patrocle de Thoisy」(~1647.1)
1645年11月18日 03:00|ブラジル/オランダ| |||<就任>オランダ領ブラジル総督「評議員:ガウター・ファン・シェネボルフ(大統領)/ミヒル・ファン・ゴッホ(1653年まで)/ホーモントのサイモン(1649年まで)/アブラム・トルゲルス(1646年没)/ヘントリック・ヘックス」(~16540128)
1645年11月22日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パ拉丁代行「イシュトヴァーン・ゲル・サキ・キョレシュ・ギ・エス・アトル・ジ・ヤニ」(~16460206)
1645年12月 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<死去>ギアナ知事代理「Laforet」
1645年12月7日-09:00|日本|福井県鯖江市|正保2年10月19日|<分与立藩>越前吉江藩25000石「松平昌親」宗家福井藩から分知(⇒延宝2(1674)年3月24日、宗家福井藩を相続し領土統合)
1645年12月7日-09:00|日本|福井県福井市|正保2年10月19日|<分与>越前福井52万石「松平光通」弟昌勝へ5万石(松岡藩)、昌親へ2万5千石(吉江藩)⇒45万石(⇒延宝2(1674)年3月24日、自殺)
1645年12月7日-09:00|日本|福井県吉田郡永平寺町|正保2年10月19日|<分与立藩>越前松岡藩5万石「松平昌勝」宗家福井藩から分知(⇒元禄6(1693)年7月27日、58歳で死去)
1645年12月10日 00:00|イギリス| |||<就任>リッチフィールド伯「チャールズ・スチュワート」(⇒16600810兼リッチモンド公・レノックス公~1672.12死去)
1645年12月13日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウ・ウー国王「サド」(~1652年5月)
1645年12月17日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ネズィン・サリフ・パシャ」(~16470916)
1645年12月18日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ヤコフ・ファン・デル・ウェル」(~16500409)
1645年12月19日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリス(総督)「Ibrahim Pasha」(~1647年)
1645年12月23日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「ミランダ・デ・アンタ侯爵ファン・フェルナンデス・デ・コルトバ・イ・コアラ」(~1654年)
1645年12月30日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「フィリペ・マスカニャス」(~16510531)
1646年-08:00|インドネシア| |||<即位>マタラム君主「アマンクラット1世」(~1677年)

1660迄 (2492件)

1646年-05:30|インド| |||<就任>チャンドリ国ラジャ「デビ・シン」(~1714年)
1646年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「イブラヒム・パシャ」(~1647年)
1646年-03:00|エチオピア| |||<設立>ハル首長国
1646年-03:00|エチオピア| |||<即位>オサ・イマム国イマム「Imam Ahmed Abram」(~1647年)
1646年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「チロリアーノ・チウラーノ」(~1648年)
1646年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハイダル・サード・メフメド・パシャ」(~1647年)
1646年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「ニコロ・トルフィン」(~1648年2月)
1646年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gurcu Mehmed Pasha II」(2期目~同年)⇒「Silihada r Yusuf Pasha」(2期目~1647年)
1646年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモタパ 総司令官「フェルナン・デ・イアス・バ・イアン」(~1649年)
1646年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||オスマン帝国がクレタ島西部を征服し、ギリット(クレタ島)エヤイトを設立
1646年-01:00|アンゴラ/オランダ| |||<就任>オランダ領西アフリカ監督「アドリアン・ランズ」(~1648年)
1646年-01:00|スペイン| |||<就任>オリバーレス公「ガスパール・フェリペ・デ・グスマン」(~1648年)
1646年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Juan Suarez de Alarcon y Melo」(~1653年)
1646年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「カベリ・イブラヒム・パシャ」(~1647年)
1646年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「ルイ」(~16861111死去)
1646年-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘンシュタイン王(ラウスタ・ハプスブルグ家)フェルディナント4世(~16540709)
1646年-01:00|オランダ/インドネシア| |||マタラム王国:第4代アマンクラット1世がオランダ東インド会社と和約を結ぶ
1646年 00:00|イギリス| |||<就任>3代キング・ヘンリー「ハトリック・ライオン」先代の息子(⇒16770701爵位名がストラスモア=キング・ヘンリーに變更~16950515死去)
1646年 00:00|イギリス/バハマ| |||イギリス、バハマ諸島を占領
1646年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「ニコラス・デ・ベラスコ・アルタミラノ」(~1649年3月)
1646年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「ペドロ・カバレロ」(~1650年)
1646年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ミランダ・デ・アウタ侯爵アン・フェルナンデス・デ・コルト・バ・イ・コアラ」(~1649年)
1646年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(3期目~1647年)
1646年 06:00|アメリカ| |||ヴァージニア植民地とチャロキー族が平和条約を締結
1646年1月3日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「フランチェスコ・エリツォ」
1646年1月15日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官代行「ストロツィ侯アロンソ」(~11月)
1646年1月18日-09:00|日本|熊本県|正保2年12月2日|<死去>細川忠興、豊前国小倉藩初代藩主・肥後細川家初代(生年1563年)織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に仕えた大名
1646年1月20日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「フランチェスコ・モリン」(~16550227死去)
1646年1月27日-09:00|日本|京都府京都市北区|正保2年12月11日|<死去>臨済宗僧侶・沢庵宗彭/73歳(誕生:天正1(1573)1201)
1646年1月31日-09:00|日本|東京都中央区|正保2年12月15日|江戸富沢町から出火、吉原に大被害
1646年2月 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1646/2|この月、後見裁判所および軍役保有が廃止される
1646年2月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク暫定知事「Jerome du Sarrat」(~1647.1)
1646年2月6日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラチン代行「バル・グロフ・パルフィ・エルデディ」(1回目~9.25)
1646年2月16日-08:00|中国| ||清・順治3年|紫禁城の太和殿が再建
1646年3月6日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1646/2/24|イギリスで後見裁判所が廃止
1646年3月9日-01:00|スペイン| |||<死去>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「ハルサル・カルロス」
1646年3月22日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領トコロメ暫定総督・総司令官・大審問院長「アロンソ・フェレル・デ・アヤラ」(~1647年)
1646年3月24日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「ジョン・マツカー」(~16500225)
1646年4月-01:00|チェコ/スウェーデン| |||スウェーデン軍がブダペストを占領
1646年4月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督「トマス・ターナー大佐」(~16490925)
1646年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・ロリ」(「ウインチェンツォ・ロレンツォーニ」)
1646年4月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ドナールのフィリップ・シドニー」(議会在任~16470415)
1646年4月10日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>ホーエムス・ガラ・ファット・ウツ伯「ヤコブ・ハンニバル2世」
1646年4月10日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ホーエムス・ガラ・ファット・ウツ伯「カール・フリードリヒ」(~1655年)、「フランツ・ヴィルヘルム1世」(~16620919没)
1646年4月11日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督代理「フランシスコ・メンドース・マルケス」(「ペドロ・ホルティエル・ベネイト」)(~16480108)
1646年5月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「三頭政治委員会:バルトロメウ・デ・ウァスカンセロス・ダ・ケニヤ(評議会議長)/アントニオ・テイセイラ・デ・メンドンサ/ジョアン・スザル・デ・アントニオ(司令官)」(~16480824)
1646年5月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「マルタン・デ・ムジカ・イ・ビクトロ」(~1649年4月)
1646年5月2日-09:00|日本| ||正保3年3月17日|幕府が農民訴訟規則を布令
1646年5月6日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・ウインスロップ」(~16490326死去)
1646年5月11日-09:00|日本|奈良県奈良市|正保3年3月26日|<死去>大和柳生藩12500石「柳生宗矩」(76歳、生年157

1660迄 (2492件)

1年)徳川将軍家兵法指南役/長男の柳生三厳に8300石,三男の柳生宗冬に4000石,四男の六丸に200石と分知されたため柳生氏は大名から旗本となった

1646年5月12日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金自點」(~16490731)

1646年5月12日 00:00|イギリス| |||<死去>2代キング・ホン伯「ジョン・ライオン」

1646年5月12日 00:00|イギリス| |||<就任>3代キング・ホン伯「パトリック・ライオン」先代の息子(⇒1677年ストラモア=キング・ホン伯爵に爵位名変更~16950515死去)

1646年5月15日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦5月5日|イングランド 国王チャールズ1世が、スコットランド 軍に投降/第1次内乱が終る

1646年5月18日-09:00|日本|京都府京都市|正保3年4月4日|出水町より失火、二条辺150余戸焼亡

1646年5月20日-09:00|日本|東京都|正保3年4月6日|幕府が消防の制を布令

1646年5月20日-09:00|日本|長崎県長崎市|正保3年4月6日|林吉左衛門がキリシタンの疑いで処刑される/門下生中第1の小林義信(謙貞)も連座、21年の禁固に

1646年5月21日-09:00|日本|鹿児島県|正保3年4月7日|薩摩藩の島津光久が犬追物を再興

1646年6月 00:00|イギリス| |||<死去>初代ボリングブルック伯「オリバー・シジモン」

1646年6月 00:00|イギリス| |||<就任>2代ボリングブルック伯「オリバー・シジモン」初代伯爵の次男ボレーットの息子(~16880318死去)

1646年6月9日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ジャン・デ・ラリス・イ・ビロダス」(~16530219)

1646年6月9日-09:00|日本| ||正保3年4月26日|陸奥地方で大地震。青葉城や日光東照宮の石垣が崩壊する。家屋倒壊多数

1646年6月23日-01:00|チェコ| |||<即位>ホーヘミヤ王「フェルディナント4世」(~16540709死去)ローマ王(帝位継承前に死去)

1646年6月24日-09:00|日本|岐阜県恵那市|正保3年5月11日|<死去>美濃岩村藩2万石「丹羽氏信」⇒11月11日、長男「丹羽氏定」が継ぐ(⇒弟「丹羽氏春」に1000石を分与し19000石⇒明暦3(1657)年4月16日、死去)

1646年6月25日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1646/6/15|イギリス国王軍がオックスフォードで投降し、第1次内乱が終わる

1646年6月30日-01:00|イタリア/トルコ| |||イブラヒム・パシャ、ノヴィグラードを包囲。フランチスコ・ロレタンの防衛失敗

1646年7月 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大蔵卿兼首席アドバイザー代理「フォード・ウィッチのフィンチ男爵ジョン・フィンチ」(~16490130)

1646年7月2日-09:00|日本|福井県坂井市|正保3年5月19日|<交替>越前丸岡藩4万石「本多成重」隠居⇒長男「本多重能」が継ぐ(⇒慶安4(1651)年12月7日、62歳で死去)

1646年7月13日-08:00|中国| ||南明・隆武2年6月|南明・魯王朱以海、清軍に追われ、鄭成功の所へ逃れる

1646年7月23日-09:00|日本|熊本県宇土市|正保3年6月11日|<分与立藩>肥後宇土藩3万石「細川行孝」(⇒元禄3(1690)年6月4日、54歳で死去)

1646年7月23日-09:00|日本|熊本県熊本市|正保3年6月11日|<分与>肥後熊本藩54万1169石「細川光尚」、従弟「細川行孝」に宇土藩3万石を分与立藩し51万石(⇒慶安2(1649)年12月26日、31歳で死去)

1646年7月24日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国トージェ「ジョヴァンニ・パチタ・ロメリニ」(~16480724)

1646年8月4日 00:00|イギリス| |||<就任>初代セルカーク伯「ウィリアム・ダグラス=ハミルトン」(⇒16600920兼ハミルトン公・クライスターール侯・アラン=ラナー=セルカーク伯⇒16881006初代セルカーク伯返上~16940418死去)

1646年8月9日-09:00|日本|岐阜県郡上市|正保3年6月28日|<死去>美濃八幡藩27000石「遠藤慶利」38歳⇒長男「遠藤常友」が継ぐ(3千石分知24000石⇒延宝4(1676)年5月4日、49歳で死去)

1646年9月9日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「エリク・アクセルソン・オクセンスティアナ・ア・セーデルメーレ」(~1653年)

1646年9月9日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルン「ムルツァ・パシャ」(~16471102)

1646年9月11日-01:00|イタリア| |||<即位>パルマ公「ラヌッチョ2世」オットーアルト1世の息子(~16941211死去64歳)

1646年9月14日 00:00|イギリス| |||<死去>エセックス伯「ロバート・デ・ウァール」消滅

1646年9月24日 00:00|ポルトガル| |||<死去>トウアルテ・ロホ、ポルトガルの作曲家(生年1565年頃)

1646年9月25日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのバン代行「ペトル・ペレティッチ、ザグレバチキ・ビスクップ」「ガシパル・オルホヴァチキ」(~16490114)

1646年9月25日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラチン「ヤンシュ・ゲロフトラスコグ・イチ・トラスチャニ」(~16480805没)

1646年9月30日-09:00|日本|栃木県大田原市|正保3年8月21日|<死去>下野黒羽2万石「大関高増」⇒嫡男「大関増親」(~寛文2年4月1日(16620518)死去)

1646年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クラウディオ・ベルツィ」「パオロ・アントニオ・オフリ」

1646年10月4日 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯・サリ伯「トマス・ハワード」

1646年10月4日 00:00|イギリス| |||<就任>アランデル伯・サリ伯「ヘンリー・ハワード」(~16520417死去)

1646年10月6日-08:00|中国| ||南明・隆武2年8月28日|南明・紹宗隆武帝(朱聿鍵)が清軍に捕らわれ殺される

1646年10月10日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド 総督「Cornelis van der Lijn」(~16501007)

1646年11月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ 軍、マリッツ砦をふたたび制圧/しかし半年後に維持が困難となり放棄

1646年11月 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ 西インド 会社がブラジル北東部ペトロを占領(~1647年4月)

1646年11月1日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「上院議会」(~16480510)

1646年11月2日-09:00|日本|山形県鶴岡市|正保3年9月25日|庄内藩のお家騒動(長門一件)に絡み、家老高力喜兵衛の一族縁者が酒井忠勝の怒りに触れて処罰される/永暇が13人、切腹が11人

1646年11月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク=ルードルシュタット伯「ルートヴィヒ・ギンター1世」

1646年12月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ツイードデール伯「ジョン・ヘイ」(~1653年)

1646年12月11日-08:00|中国| ||南明・隆武2年11月5日|<即位>南明皇帝「紹武帝」隆武帝の弟(~隆武2年12月15日

1660迄 (2492件)

(16470120))唐王

1646年12月18日 00:00|イギリス| |||<死去>ウスター侯「ヘンリー・サマセット」
1646年12月18日 00:00|イギリス| |||<就任>ウスター侯「エドワード・サマセット」先代の子(〜16670403死去)
1646年12月24日-09:00|日本|京都府京都市東山区|正保3年11月18日|祇園社火災
1646年12月24日-08:00|中国| |||南明・隆武2年11月18日|<即位>南明皇帝「昭宗永曆帝(朱由榔)」万曆帝の孫(桂王朱常瀛の7男)(〜永曆16年04月15日(16620601))/永明王
1646年12月26日-01:00|フランス| |||<死去>モンモランシー公「アンリ1世」兼ダマルタン伯「アンリ2世」
1647年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Arnout de Vlamingh van Oudtshoorn」(〜1650年)
1647年-08:00|インドネシア| |||<即位>パンテン王国 سلطان「スルタン・アフマド・ラマトゥラー」(〜1651年)
1647年-08:00|中国| |||清・順治4年|クルムはトルファンのハン国から分離し、清(清)支流となる
1647年-08:00|インドネシア| |||マタラム王国:第4代アマンクラット1世が旧都カヂの北東に煉瓦作りの新都「プレット」を造営
1647年-06:30|ミャンマー/イギリス| |||イギリスがはじめてビルマで商館を建設
1647年-05:30|インド| |||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・ムハンマド・アリ2世」(〜1655年)
1647年-05:30|インド| |||<即位>ラダック国王(チョス・ギヤル・チェン・ポ)「デルダ・ナムギヤル」(〜1694年)
1647年-03:00|エチオピア| |||<就任>ハラ首長国エミール「アリ・イブン・ダウト」(〜1662年)
1647年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ムサ・セミス・ハッシャ」
1647年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「アリ・ハッシャ・オグル・フセイン・ハッシャ」(〜1656年)
1647年-03:00|エチオピア| |||<即位>オサ・イマム国イマム「Imam 'Umaridin Adan」(〜1672年)
1647年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Sufi Murteza Pasha」(〜同年)
1647年-02:00|エジプト| |||エジプトでマムルークの2大派閥が内紛
1647年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラフィナ公「Felicia Maria Orsini」
1647年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのハッシャ「ユースフ3世ハッシャ」(〜1650年)
1647年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「シルフィウス1世ニムロート」カル・ベジツの娘エリシュカ・マリアと結婚(〜16640424死去)
1647年-01:00|オランダ/ベルギー/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「レオポルト・ヴィルヘルム・エルツヘルツォーク・フォン・オステルライヒ」(〜1656年)
1647年-01:00|リトベシタイン| |||<就任>ファトウツ執行官「ハンス・ヤコフ・サントホルツァー・フォン・ツツナー・ベルク」(〜16541003)
1647年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「テクリ・ムスタファ・ハッシャ」(〜1648年)
1647年-01:00|フランス| |||<即位>ジョユース公「Louis de Lorraine」(〜16540927死去)
1647年 00:00|イギリス| |||ジョージ・フォックスがイギリスでクエーカー教を創始
1647年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラータ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「フランシスコ・デ・ネストラス・マリン」(〜1660年没)
1647年 04:00|アルバ/オランダ/キュラー/BES諸島| |||アルバ島、キュラー、ボネールはニューネーデルラント植民地の一部(〜16640908)
1647年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(5期目〜1648年)
1647年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「バルタザール・デ・ラ・クルス」(〜1650年)
1647年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州市長兼副司令官「ファン・マルティネス・テレス・デ・ロス・リオス」(〜1652年)
1647年1月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Philippe de Longvilliers」(2期目〜1660. 4)
1647年1月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Jacques Dyeu du Parquet」(2期目〜1658年)
1647年1月3日-09:00|日本|長崎県長崎市|正保3年11月28日|長崎新高麗町川端の地に伊勢宮社殿が竣工
1647年1月6日-08:00|中国| |||清・順治3年12月|張献忠軍が成都をすて敗走し、張献忠が戦死/残党は南明へ吸収
1647年1月6日-08:00|中国| |||南明・隆武2年12月|鄭成功が抗清で挙兵(南明の年号を使用)、洪承疇の誘いで清に投降した父の鄭芝龍と袂を分かち
1647年1月20日-08:00|中国| |||南明・隆武2年12月15日|清軍の攻撃を受け南明・文宗紹武帝(朱聿鐫)が自害
1647年1月27日-01:00|イタリア/トルコ| |||47隻のガレ船に攻撃されたトマーズ・モロシニの艦隊は果敢に戦って切り抜ける。モロシニとムッサ・ハッシャ共に戦死
1647年2月 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ西インド会社がブラジル北東部イパリカを占領(〜12. 14)
1647年2月2日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<死去>パラグアイ総督「ゲロリア・デ・ヒネストサ」
1647年2月2日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ディエゴ・デ・エブレ・オリオ」(〜16490226没)
1647年2月5日-08:00|中国| |||清・順治4年|<就任>清摂政「ユクトド」(〜16490429没)
1647年2月5日-08:00|中国| |||南明・永曆1年1月1日|南明・昭宗永曆帝、永曆と改元
1647年2月7日-09:00|日本|愛知県田原市|正保4年1月3日|<死去>三河田原藩1万石「戸田忠能」⇒8月21日、甥の「戸田忠治」が継ぐ(〜寛文4(1664)年5月、肥後富岡藩2万石へ加増移封)
1647年2月9日-09:00|日本|京都府京都市|正保4年1月5日|<就任>摂政「九条道房」(⇒10日、死去)
1647年2月14日-09:00|日本|京都府京都市|正保4年1月10日|<死去>摂政「九条道房」39歳
1647年2月26日 04:00|アンティグア・ババーダ/イギリス| |||<就任>カリビ諸島中将「パーラムのウィロビー」男爵「フランシス・ウィロビー」(〜16520117)
1647年3月12日-09:00|日本|滋賀県長浜市|正保4年2月6日|<死去>近江小室藩12460石「小堀政一」茶人(生年1579年)⇒8月21日、次男「小堀正之」が継ぐ(⇒延宝2(1674)年8月24日死去)
1647年3月14日-01:00|オランダ| |||<死去>ネーデルラント連邦共和国総督・総司令官・提督「オラニエ公・ナッソー伯爵フレデリック・ヘンドリック」(63歳、生年1584年)
1647年3月14日-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国オラント州、ゼーラント州、ユトレヒト州、オファーアイセル州・ヘルダーラント州・フロニンゲン州総督「ナッソー伯爵オラニエ公ウィルヘルム2世」オラニエ公フレデリック・ヘンドリックの子(〜16501106死去24歳)

1660迄 (2492件)

1647年3月29日-09:00|日本|長野県長野市|正保4年2月23日|<死去改易>信濃松代新田藩17000石「真田信重」無嗣、本家に吸収

1647年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カッロ・トシーニ」「ピエール・マリノ・ジョーニ」

1647年5月2日-09:00|日本|京都府京都市|正保4年3月28日|<再任>関白「一条昭良」

1647年5月4日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Luis de Guzman y Figueroa」(~1649年)

1647年5月13日 04:00|刊| |||刊、サンチアゴ 沖で地震(M8.5) 死者1400人

1647年5月16日 03:00|日本|宮城県仙台市|正保4年4月12日|<仙台正保4年の大火>昼近い午上刻(午前12時ごろ)、小人町から出火/常禅寺通りから南材木町まで広瀬川の河岸に沿った形で燃え広がり、夕方鎮火するまで、侍屋敷425軒、名懸組(下級家臣)屋敷20軒、足軽屋敷245軒、職人屋敷72軒、町屋敷(町家)822軒、寺10か所を焼失/死者110名を出した

1647年6月7日 00:00|イギリス| |||<就任>初代クランブル伯「ジェームズ・ハミルトン」(~16590620死去)

1647年6月9日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド 植民地総督「トマス・グリーン」(~16490426)

1647年6月10日-01:00|オランダ/フィリピン| |||オランダ 艦隊が最後の大規模なフィリピン攻撃を行う

1647年6月13日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦6月3日|イギリス、軍隊内に軍評議会が設置される/アズターマス、将校、連隊長などにより構成

1647年6月16日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー国王「フェルディナント4世」フェルディナント3世の長男(~16540709死去)

1647年6月16日-09:00|日本| |||正保4年5月14日|丹沢で地震(M6.5±1) 江戸城の石垣や大名屋敷など破損、上野大仏破損、小田原城に大きな被害

1647年6月30日-09:00|日本|長野県松本市|正保4年5月28日|<死去>信濃松本藩7万石「水野忠清」⇒8月、次男「水野忠職」が継ぐ(⇒寛文8(1668)年6月26日、56歳で死去)

1647年7月6日-09:00|日本|東京都中央区|正保4年6月4日|<正保の大水害>大洪水がおこり酒屋町の橋、袋町の橋、本古川町(本紺屋町)の橋が流れ落ち、濱町大橋は半ばより折れる

1647年7月7日-01:00|イタリア| |||ナポリで、魚小売商マゼニエロ(27)を中心とする民衆がスペイン総督府の重税に対して反乱を起こす(マゼニエロの一揆)

1647年7月26日-09:00|日本/ポルトガル| |||正保4年6月24日|ポルトガル修好使節乗組みのポルトガル船2隻が来航(6.26港内に入り通商を請う⇒8.6、2隻が帰帆)

1647年7月27日-01:00|オランダ/スペイン/フィリピン| |||フィリピンでオランダ・ムスリム連合軍とスペイン軍が衝突

1647年7月28日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「議会議員:アーサー・アンズリー/ロバート・キング 卿/ロバート・メルティス卿/ジョン・ムア/マイケル・ジョーンズ」(~16490815)

1647年8月5日-09:00|日本|埼玉県川越市|正保4年7月5日|<加増>武蔵川越藩6万石「松平(大河内)信綱」+15000石⇒75000石(⇒寛文2年3月16日(16620504)死去)

1647年8月5日-09:00|日本|埼玉県行田市|正保4年7月5日|<加増>武蔵忍藩5万石「阿部忠秋」+1万石⇒6万石(⇒寛文3(1663)年2月8日、2万石加増され8万石)

1647年8月14日 05:00|エアドール/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督・総司令官・大審問院長「マルティン・デ・アリオ・イ・ベラルテ」(~16530130没)

1647年8月27日-09:00|日本|京都府京都市|正保4年7月27日|<就任>関白「一条昭良」(~慶安4年9月27日)

1647年8月27日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦8月17日|軍隊がロンドンへ進軍/長老派と国王との妥協が阻止される/クロムウェルは軍を議会に入れる

1647年9月8日 03:00|ブラジル| |||サンパウロのバンデイランテス、ヌエストラ・セニョーラ・デ・トレのミッションを襲撃、ムンボイを戦ったガアラニ族部隊を殲滅

1647年9月11日-09:00|日本|長野県小諸市|正保4年8月13日|<死去改易>信濃小諸藩45000石「松平憲良」無嗣

1647年9月16日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カラ・ムサ・パシャ」(~21日)

1647年9月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ヘザル・レ・アット・パシャ」(~16480808)

1647年9月27日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「カホ 侯爵デ・イコ・デ・ビジャルバ・イトレ」(~16530328)

1647年9月27日 06:00|アメリカ/オランダ| |||<死去>オランダ 領ニューネーデルラント指導者「ウィレム・キフト」

1647年9月27日 06:00|アメリカ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ニューネーデルラント指導者「ピーター・ストイフェサント」(~16640906イギリスが占領)

1647年9月28日-09:00|日本|静岡県富士宮市|正保4年9月|重須本門寺垂迹堂再建

1647年10月 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地(エリュセラ島) 総督「ウィリアム・セイル」(~1657年3月)

1647年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメオ・ベルツィ」「マリノ・ガブリエリ」

1647年10月18日-09:00|日本|京都府亀岡市|正保4年9月21日|<死去改易>丹波亀山藩38000石「菅沼定昭」無嗣断絶

1647年10月19日-09:00|日本|沖縄県|正保4年9月22日|<死去>琉球国王「尚賢」[1625年生~](享年23)

1647年10月21日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Mehmed Pasha」(~同年)⇒「Acem Hasan Pasha」(~1648年)

1647年10月25日-01:00|イタリア| |||<死去>エヴァンジェリスタ・トリチェリ(39歳、16081015生)トリチェリの真空を発見したイタリアの物理学者

1647年11月1日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ノーセク伯「ジョン・カーネギー」(~16670108死去)

1647年11月2日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルベイ「ハムザ・パシャザード・マフメット・パシャ」(1回目~5日)

1647年11月5日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルベイ「ファジール・パシャ」(~同月)⇒「ハムザ・パシャザード・マフメット・パシャ」(2回目~16480330)

1647年11月13日-09:00|日本|山形県鶴岡市|正保4年10月17日|<死去>出羽庄内藩14万石「酒井忠勝」⇒12月11日、

1660迄 (2492件)

- 長男「酒井忠当」が継ぐ(弟「忠恒」に出羽松山藩2万石、「忠解」に出羽大山藩1万石分知し10万8千石⇒万治3(1660)年2月9日死去)
- 1647年12月10日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|正保4年11月14日|<死去>武蔵岩槻藩86000石(大坂城代)「阿部正次」(79歳、生年1569年)⇒次男「阿部重次」が家督を継ぐ(99000石⇒慶安4(1651)年4月20日、将軍「徳川家光」に殉死)
- 1647年12月14日-09:00|日本|佐賀県唐津市|正保4年11月18日|<死去改易>肥前唐津藩85000石「寺沢堅高」自殺、無嗣断絶
- 1647年12月22日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ウイラ・ホウカ・デ・アギアル伯爵アントニオ・テレス・デ・メゼス」(~16500310)
- 1647年12月22日-09:00|日本|千葉県野田市|正保4年11月26日|<交替>下総関宿藩17000石「牧野信成」隠居⇒次男「牧野親成」が嗣ぐ(承応3(1654)年、1万石加増され27000石)
- 1647年12月26日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ケンカデーイン伯「エドワード・ブルース」(~1662年死去)
- 1647年12月30日-09:00|日本|神奈川県|正保4年12月5日|<拝領>相模国高座郡内1万石「増山正利」(⇒万治2(1659)年2月3日、三河西尾藩2万石に加増移封)
- 1647年12月31日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョヴァンニ・マリア・トラバーチ、イタリアの作曲家、オルガニスト(生年1575年頃)
- 1648年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Gaspar van den Bogaerde」(~1653年)
- 1648年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Mandar Shah」(~1650年)
- 1648年-08:00|インドネシア| |||<即位>パンカラン君主「Cakraningrat 2世」(~1707年)
- 1648年-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランカバル)司令官「ホル・ハンセン・コルソール」(~16550907没)
- 1648年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ケーム朝スルタン「Ibrahim Iskandar 1世 Kula Ran Meeba Katthiri Bavana」(~1687年)
- 1648年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ヤコポ・バルバロ」(~1649年)
- 1648年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「モスリ・ムスタファ・パシャ」(~すぐに解雇された)⇒「アロン・アハメド・パシャ」(~1651年)
- 1648年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「アルヴィーゼ・モチエーゴ」⇒「アントニオ・リッポマーノ」(~1650年)
- 1648年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Sofu Mehmed Pasha」(~1649年)
- 1648年-02:00|ウクライナ| |||ポグダン・フメリニツキーの指導するウクライナ・コサックとポーランドの間に戦争が始まると同時に、ウクライナ農民によるユダヤ人の虐殺(ポグロム)も行われた
- 1648年-01:00|ルクセンブルク/スペイン| |||<死去>スペイン領ルクセンブルク総督兼総司令官「ジャン・ド・ベック」
- 1648年-01:00|ドイツ| |||<就任>カレンベルク侯「ゲオルク・ヴィルヘルム」クリスティアン・ルートヴィヒの弟(~1665年第のヨハン・フリードリヒにカレンベルク侯領を譲る~1705年死去)
- 1648年-01:00|ルクセンブルク/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルク総督兼総司令官「アブレ公フィリップ・フランソワ・ド・クロイ」(~16500619没)
- 1648年-01:00|ポズナń・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナń総督「テルグィス・メフメト・パシャ」⇒「ハサン・パシャ」(~1650年)
- 1648年-01:00|ドイツ| |||<即位>ホルシュタイン公(オルデンブルク家)フレデリク3世(~1670年)
- 1648年-01:00|オランダ| |||ゲルトをオランダが占領(~16620624)
- 1648年-01:00|スウェーデン| |||スウェーデンで紙幣が発行
- 1648年 00:00|ギリシア/ポルトガル| |||<就任>ガチー司令官代行「ペルティエラ・カラル」(~1649年)
- 1648年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ペーシャ公「ペドロ2世」(~16940525)ポルトガル王ジョアン4世の息子
- 1648年 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||ブラジルのバンデイラカパラグアイ川を遡上し探検
- 1648年 04:00|セントクリストファー・ネビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「ロランド・リッチ」(~1650年)
- 1648年 04:00|BES諸島| |||<就任>セント・ユスティウス司令官「Abraham Adriaensen」(2期目)
- 1648年 04:00|サン・バルテルミー/フランス| |||<就任>フランス植民地サン・バルテルミー島司令官「Jacques Gente」(~1656年)
- 1648年 04:00|サン・マルタン/サン・バルテルミー/フランス| |||サン・バルテルミー、サン・マルタンはフランス領アンティルの一部(~1762年)
- 1648年 04:00|英領ヴァージン諸島/オランダ| |||トルトゥー島にオランダ植民地(ニウエルト・レン)(アネグダ島とバーゲンコール島には1680年まで)
- 1648年 06:00|カナダ/フランス/アメリカ| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「ルイ・ダユブスト・ド・クロンツェ」(~1651年)
- 1648年1月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Debbag Ahmed Pasha」(~8月)⇒「Vesir Ibshir Mustafa Pasha」(1期目~1651年)
- 1648年1月1日 07:00|メキシコ| |||サンチェスが「グアタカルベ」聖母の画像」刊
- 1648年1月5日-09:00|日本|山形県鶴岡市|正保4年12月11日|<立藩>出羽松山藩2万石「酒井忠恒」出羽庄内藩より分与(~延宝3(1675)年8月6日、死去)
- 1648年1月5日-09:00|日本|山形県鶴岡市|正保4年12月11日|<立藩>出羽大山藩1万石「酒井忠解」出羽庄内藩より分与(~寛文8(1668)年11月28日、死去無嗣断絶)
- 1648年1月8日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ベニート・ルイス・デ・サラサル・バレラ」(~16510514)
- 1648年1月8日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|正保4年12月14日|<加増移封>近江朽木藩2万石「朽木植綱」⇒下野鹿沼藩25000石(⇒慶安2(1649)年2月19日、常陸土浦藩3万石に加増移封)
- 1648年1月25日-09:00|日本|沖縄県|正保5年|<即位>琉球国王「尚質」(~16681220死去)
- 1648年1月25日-09:00|日本|京都府京都市|正保5年|松永尺五、尺五堂を開塾
- 1648年1月25日-09:00|日本|広島県福山市|正保5年|水野勝成、備後一の宮吉備津神社を再建
- 1648年1月25日-09:00|日本|広島県福山市|正保5年|水野勝成、鞆祇園社の沼名前神社を再建

1660迄 (2492件)

1648年1月25日-08:00|中国| ||南明・永暦2年1月|降清の将軍金声桓が江西で清にそむき、南明・桂王の永歴政権に帰順

1648年1月30日-01:00|オランダ/スペイン| |||オランダ独立戦争の終結/ミンスターとの和議でオランダとスペインの戦争が終わる

1648年2月14日 04:00|シント・マルテン/オランダ| |||<就任>オランダ領シント・マルテン司令官「Martin Thomas」(~1650年)

1648年2月28日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ| |||<死去>ノルウェー・デンマーク王・シュレーズヴィヒ公「クリスチャン4世」70歳(誕生1577 0412)

1648年2月28日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「ヨフ・フィッツ・グレーヴェ・アフ・ウルフェルト」(~5. 8)

1648年2月28日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ| |||<即位>ノルウェー・デンマーク王・シュレーズヴィヒ公「フレデリク3世」クリスチャン4世とアンナ・カタリナ・フォン・ブランデンブルクの三男(~16700209死去60歳)

1648年3月9日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「クリスチン・トーマセン・セヘステッド」(~7. 16)

1648年3月9日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー宰相「イエンス・アーゲソン・ビェルク」(~5. 18)

1648年3月13日-09:00|日本|長野県小諸市|正保5年閏1月19日|<拝領>信濃小諸藩3万石「青山宗俊」(⇒寛文2(1662)年3月29日、大阪城代(摂津国・河内国・和泉国・遠江・相模・武蔵など)5万石へ加増移封)

1648年3月14日-09:00|日本|栃木県大田原市|正保5年閏1月20日|<再興>下野国那須藩1万石「松平康尚」(⇒慶安2(1649)年2月28日、伊勢長島藩1万石へ移封)

1648年3月15日-09:00|日本|京都府亀岡市|正保5年閏1月21日|<加増移封>遠州掛川藩25000石「松平(藤井)忠晴」⇒丹波亀山藩38000石(⇒寛文7(1667)年閏2月9日、隠居)

1648年3月15日-09:00|日本|静岡県掛川市|正保5年閏1月21日|静岡県藤枝市<加増移封>駿河田中藩25000石「北条氏重」⇒遠江掛川藩3万石へ加増移封(⇒万治元(1658)年10月1日、64歳で死去⇒12月22日、無嗣改易)

1648年3月16日-09:00|日本|山形県新庄市|正保5年閏1月22日|<死去>出羽新庄藩68200石「戸沢政盛」⇒慶安3年8月7日、次男「戸沢正誠」が継ぐ(⇒宝永7(1710)年2月16日)

1648年3月19日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・福泰6年2月26日|<死去>広南国主「上主・阮福瀾」

1648年3月19日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・福泰6年2月26日|<即位>広南国主「賢主・阮福瀨」(~16870430死去)

1648年3月23日 04:00|シント・マルテン/サン・マルタン| |||コンコルディア条約(モン・デ・アコード)によってフランスのサン・マルタン(北)とオランダのシント・マルティン(マルティン)(南、シント・ユスティウス植民地の一部)の部分に分かれた

1648年3月24日-09:00|日本|島根県出雲市|正保5年2月|本住院日就出雲下ノ庄に本住寺を創す

1648年3月24日-09:00|日本|東京都|正保5年2月|江戸市中諸法度を定める

1648年3月30日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペイルバエイ「シヤグ・シュ・パ・シヤ」(~16500806)

1648年3月31日-02:00|トルコ| |||トルコ・ヴァン地震(M6. 7)死者2千人

1648年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ジヤコモ・ベルツツィ」「ジ・ヨウ・アンニ・セラフィニ」

1648年4月3日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|正保5年2月11日|<死去>近江仁正寺藩18000石「市橋長政」⇒6月4日、長男「市橋政信」が継ぐ(弟「政直」に1000石分知し17000石⇒元禄17(1704)年1月1日、82歳で死去)

1648年4月7日-09:00|日本| ||慶安1年2月15日|改元され慶安元年となる

1648年4月8日-05:30|インド| |||シャー・ジャハーン・アーグラーより新都シャー・ジャハーン・パートに遷都

1648年4月15日-09:00|日本|長野県長野市|正保5年2月23日|<死去>信濃埴科藩17000石「真田信重」継子なく、宗家に返上

1648年4月19日-01:00|オランダ/ブラジル| |||レフィネ近郊のグアラペスで2500の反乱軍が、5千のオランダ軍を撃破

1648年4月20日-09:00|日本|東京都|慶安1年2月28日|幕府が、江戸市中を対象に、道路・下水・服飾など幅広い範囲で日常生活を細かく規制した「市中法度」を出す/観進相撲、博打、かるた、的射、吉原以外の遊女禁止、役者衣装、絹禁止

1648年4月23日-09:00|日本|島根県出雲市|慶安1年3月|本正院日正出雲大津来原に妙仙寺を創す

1648年5月 00:00|ポルトガル| |||<就任>マデイラ総督「Manuel Lobo da Silva」(~16511016)

1648年5月2日-02:00|ウクライナ/ポーランド/リトアニア| |||ヘーチマン国でポーランド、リトアニアに対する反乱開始

1648年5月9日-09:00|日本|香川県丸亀市|慶安1年3月17日|<死去>讃岐国丸亀藩53000石「山崎家治」55歳⇒6月14日、嫡男「山崎俊家」が継ぐ(⇒慶安4(1651)年10月26日、死去)

1648年5月10日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ総督「ロケ・デ・パロス」(~11. 15)

1648年5月11日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1648/5/1|イギリスの議会派内の内乱に乗じて、王党派が各地で蜂起し、スコットランド軍がイングランドに侵入して第2次内乱が起こる

1648年5月11日-09:00|日本|岡山県岡山市|慶安1年3月19日|<拝領>備前児島藩2万石「池田恒元」(⇒慶安2(1649)年10月、播磨山崎藩3万石へ加増移封)

1648年5月13日-05:30|インド| |||インドのムガル帝国時代の城塞「デリーの赤い城」完成(2007年世界文化遺産)

1648年5月13日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ暫定副王「カタン・コサ・デ・トラス・イ・エルタ」(~16490422没)

1648年5月15日-01:00|オランダ/スペイン| |||30年戦争を終結させたウェストファリア条約の一部であるミンスター条約でスペインはネーデルラント連邦共和国の独立を正式に承認

1648年5月17日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/スウェーデン| |||ツスマルシャゼンの戦い>ドイツのアクスブルク近郊でテレンズ子爵率いる「フランス・スウェーデン連合軍」が、「神聖ローマ皇帝・ハインリッヒ連合軍」に勝利

1648年5月20日-02:00|リトアニア/ポーランド/スウェーデン| |||<死去>ポーランド王・リトアニア大公・シモン・レコ「ウラディスワフ4世」兼称号のみのスウェーデン王「ウラディスワフ2世」

1648年5月20日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<即位>リトアニア大公「アレクサンドラス・リタヴィナス・ラトヴィーナス」大元帥(~16490117)

1648年5月20日-01:00|ポーランド| |||<就任>シモン・レコ「カール・フェルディナント・ヴァザ」(~16550509死去)

1648年5月23日-09:00|日本| ||慶安1年4月|湯屋の女、禁止、以後何回も出される

1660迄 (2492件)

1648年5月23日-09:00|日本|北海道|慶安1年4月|東部で反松前のマシクル(十勝方面のアイヌ)と、親松前のシュムクル(日高方面のアイヌ)が衝突

1648年5月26日-01:00|フランス| |||<死去>グイサント・ガオチユル、フランスの詩人(生年1597年)

1648年5月27日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶安1年4月5日|幕府が、大坂に金銀互商、質物、宅地売買、商人相続などの市中法度を出す

1648年6月-04:00|ロシア| |||モスクワで塩一揆

1648年6月8日-09:00|日本|栃木県|慶安1年4月17日|<日光杉並木>松平正綱が日光東照宮参道に杉20万本の植樹を完了

1648年6月9日-09:00|日本| ||慶安1年4月18日|天海による日本初の木活字による経典「大蔵經(寛永寺版)」完成

1648年6月18日-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「パー・ブラエ・ティル・ウイジング・スホリ」(2回目~1651年9月)

1648年6月21日-09:00|日本|東京都|慶安1年5月1日|幕府が、江戸市中に節句の奢侈禁制を出す

1648年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「ヘンリック・ビェルケ・ティル・エリカート・ミル・ネース・ビホルム」(~16620728)

1648年7月6日-01:00|デンマーク/トイツ/ノルウェー| |||<即位>デンマーク=ノルウェー二重王国国王(オレンボーク朝)兼シュレースヴィヒ公(オレンボーク家)「フレデリク3世」クリスチャン4世とアンナ・カリーナ・フォン・ブランデンブルクの三男(~16700209死去60歳)

1648年7月24日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶安1年6月5日|幕府が再度大坂市中法度を出す

1648年7月30日-09:00|日本| ||慶安1年6月11日|幕府が農民の土地貸借を禁止

1648年8月1日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジャコモ・デ・フランキ」(~16500801)

1648年8月2日-09:00|日本|島根県浜田市|慶安1年6月14日|<改易>石見浜田藩55000石「古田重恒」家内混乱

1648年8月2日-09:00|日本|兵庫県姫路市|慶安1年6月14日|<移封>出羽山形藩15万石「松平直基」⇒播磨姫路藩15万石(⇒同年8月15日(16481001)死去)

1648年8月2日-09:00|日本|山形県山形市|慶安1年6月14日|<移封>播磨姫路藩15万石「松平忠弘」⇒出羽山形藩15万石(⇒寛文8(1668)年8月3日、下野宇都宮藩へ移封)

1648年8月5日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン代行「ハル・ゲロフ・ハルフィ・エルデディ」(2回目⇒16490324ハライン~16531126)

1648年8月7日 00:00|イギリス| |||<死去>7代モートン伯「ウィリアム・ダークラス」

1648年8月7日 00:00|イギリス| |||<就任>8代モートン伯「ロバート・ダークラス」(~16491112死去)

1648年8月8日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ソファ・メフメト・ハッシャ」(~16490521)

1648年8月8日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第19代スルタン「メフメト4世」先代の子(~16871109廃位~16930106死去)

1648年8月8日-02:00|トルコ| |||<廃位>オスマン帝国第18代スルタン「イブラヒム」(~16480818常備歩兵軍団イエニチェリに暗殺される)

1648年8月10日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|慶安1年6月22日|<死去>相模玉縄藩23000石「松平(大河内)正綱」⇒7月20日、次男「松平正信」が継ぐ(弟「正朝」に3千石分知し2万石⇒元禄3(1690)年4月27日、隠居)

1648年8月14日-09:00|日本|千葉県|慶安1年6月26日|<改易>内藤信広:上野国内等1万5000石⇒8千石(キリスト教検査懈怠)会津に幽閉

1648年8月14日-09:00|日本|千葉県富津市|慶安1年6月26日|<立藩>上総飯野藩17000石「保科正貞」(⇒寛文元(1661)年11月1日、死去)

1648年8月18日-02:00|トルコ| |||<死去>イブラヒム、オスマン帝国第18代スルタン(生年1615年)常備歩兵軍団イエニチェリに暗殺される

1648年8月19日-09:00|日本|広島県広島市東区|慶安1年7月|広島藩主の浅野光晟が広島東照宮創建

1648年8月20日-01:00|フランス/スペイン| |||<ランスの戦い>フランス軍、フランス北部のアルピ地方のランスを攻撃していた「トイツ・スハイン連合軍」と戦い撃破

1648年8月24日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「サルバドール・コレア・デ・サ・ベネデス」(~1651年)

1648年8月24日-01:00|アンゴラ/オランダ/ポルトガル| |||オランダのコレア・デ・サを中心とするクオ・ジヨ、15隻1500人の軍勢をもってアンゴラに上陸。オランダからアンゴラを奪回

1648年8月26日-01:00|フランス| |||<フロントの乱>(~27日)数百人のパリ民衆が「シ島」の「高等法院」(1区)法官とともに蜂起/千あまりのパリキートが築かれ「パリキート事件」とも呼ばれる(「フロント」は投石玩具のこと)

1648年8月27日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ国王「タルン」

1648年8月27日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ王「ピン・テール・ミン」(~16610603没)

1648年9月-04:00|モリシャス/オランダ| |||<就任>オランダのモリシャス植民地司令官「ライナー・ボーク」(~1653年没)

1648年9月 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<死去>オランダ西インド会社サントメ司令官「Johan Mulder」

1648年9月5日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|慶安1年7月18日|<加増>武蔵岩槻藩59000石「阿部重次」父の遺領をあわせる⇒99000石(⇒慶安4(1651)年4月20日、将軍「徳川家光」に殉死)

1648年9月19日-01:00|フランス| |||パスカルと義兄ペリエは実験により大気圧の存在を証明

1648年9月20日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「サルバティエラ伯爵ガルシア・サルメント・デ・ソトマヨール・エンリケス・イ・ルナ」(~16550224)

1648年10月-01:00|トイツ| |||<就任>フランク選帝侯「カール1世ルートヴィヒ」(~16800828死去62歳)

1648年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「ピエール・レオーネ・コルベッリ」

1648年10月1日-09:00|日本|兵庫県姫路市|慶安1年8月15日|<死去>播磨姫路藩15万石「松平直基」⇒17日、長男「松平直矩」が継ぐ(⇒翌年6月9日、越後村上藩15万石に転封)

1660迄 (2492件)

1648年10月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「オーモント 伯ジェームス・バトラ」国王が任命 (2回目~16501211)

1648年10月4日 00:00|サントメ・プリンシペ/オランダ| |||<就任>オランダ 西インド会社サントメ司令官「Laurens Jacobsen + Reijner Doltkens」(~16490106)

1648年10月6日-09:00|日本|京都府福知山市|慶安1年8月20日|<死去改易>丹波福知山45700石「稲葉紀通」発狂、自刃

1648年10月11日-02:00|ルーマニア| |||<死去>トランシルヴァニア大公「ジェルジ 男爵ラコッチ・フェル・オウ・ヴァダージ」

1648年10月11日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「ラコッチ男爵ジェルジ 2世フェル・オウ・ヴァダージ」(1回目~16571102)

1648年10月11日-09:00|日本|滋賀県高島市|慶安1年8月25日|<死去>中江藤樹(41歳、生年1608年)近江国出身の江戸時代初期の陽明学者で近江聖人と称えられた

1648年10月11日-09:00|日本|北海道|慶安1年8月25日|<死去>蝦夷松前藩(無高)「松前氏広」27歳(生年1622年)⇒長男「松前高広」が継ぐ(⇒寛文5(1665)年7月5日、23歳で死去)

1648年10月17日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶安1年9月|<就任>大坂城代「(越後三条藩主)稲垣重綱」(⇒慶安2(1649)年10月25日)

1648年10月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯(フアルツ・ジ・ンメルン家系選帝侯)「カール1世ルトヴィヒ」(~16800828)

1648年10月24日-01:00|オランダ/スイス| |||ウエストファレン条約(ウエストファリア条約)でオランダ(ネーデルラント連邦共和国)、スイスの独立承認(神聖ローマ帝国からの離脱を確認)

1648年10月24日-01:00|フランス/ドイツ/オランダ/スウェーデン/スイス| |||ミュンスターでウエストファリア条約締結し30年戦争終結/フランスはアルザス地方とロレーヌ地方のメッツ、トゥール、ヴェルダンを獲得(神聖ローマ帝国からの離脱を確認)/スウェーデンは賠償金500万ライヒターラー、フアホ・ンメルン公位(ンメルン西半:オデル川河口、ヴェーザー川河口を含む)、ヴィスマル市、ブレーメン公位(旧大司教)、フェルデン公位(旧司教)などを獲得/ブランデンブルク選帝侯はヒンター・ンメルン公位(ンメルン東半)を獲得/アウクスブルクの和議の内容を再確認、カヴァン派を新たに容認/神聖ローマ帝国内の領邦は主権と外交権を認められた/皇帝は法律の制定、戦争、講和、同盟などについて帝国議会の承認を得なければならなくなった/議会及び裁判所におけるカトリックとプロテスタントの同権が規定された/ハインリッヒ公マクシミリアン1世は、与えられた選帝侯位はそのまま認められた/フアルツ選帝侯カール1世ルトヴィヒは選帝侯位を新たに与えられた/旧フアルツ領は両者で分割されハインリッヒ選帝侯はオバー・フアルツを獲得

1648年11月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリースラフ伯「Ulrich2世」

1648年11月1日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラフ伯「Juliana of Hesse-Darmstadt」(1651年~16590115死去)

1648年11月8日 04:00|グアドループ/フランス| |||マリ・ガランがフランスに併合され、グアドループに組み込まれた

1648年11月15日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「商工会議所上院:デ・イゴ・サンチェス・デ・オバンド/カルロス・メンドンサ・デ・アルマダ/ハレンティム・フェルナンデス・ルカス/バルトロメウ・ロドリゲス・マチャド/ルカス・デ・アブレウ/シヨアン・ゴメス・エンリケス/カルロス・メンドンサ・デ・アルマダ/ハレンティム・フェルナンデス・ルカス/シヨアン・ゴメス・エンリケス/マヌエル・フィゲロ・ダ・コスタ」(~16490629)

1648年11月20日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<即位>ポーランド王・リトアニア大公「ヤン2世ガジミェシュ」ウラディスワフ2世の弟(~16680916退位)兼称号のみのスウェーデン王(~1660年)16721216死去63歳

1648年12月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>リュネブルグ侯「フリードリヒ」

1648年12月10日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=ヴァイテンブルグ公・リュネブルグ侯「クリスティアン=ルトヴィヒ」先代の公の甥(~16650315死去)

1648年12月16日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦12月6日|イギリス、革命を目的とした独立派のフライド大佐が兵を率いて議会を取り囲み、長老派を追い出し独立派の支配を確立させる(フライドのパージ)

1648年12月22日-09:00|日本|静岡県三島市|慶安1年11月8日|三島で大火/民家600戸と三島神社などが焼失

1649年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バタヴィア大統領「トマス・Peniston」(~1650年)

1649年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「ラジャ・ロヨル・ビン・ラジャ・サケティ」(~1663年)

1649年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Salahud-Din Bakhtiar」(~1680年)

1649年-08:00|インドネシア| |||<即位>バカン・スルタン「Muhammad Ali」(~1660年)

1649年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ第11代スルタン「アブドゥル・ジャイル・ジャハール」(~1652年)

1649年-08:00|フィリピン| |||フィリピンのサマル島でスモイの反乱

1649年-05:30|インド| |||南インドの最後のヒンズー王朝「ヴィジャナガル王国」がビジャプル王国に滅ぼされた

1649年-04:00|ロシア| |||ロシアで1649年法典が制定され、農民の農奴化が完成する

1649年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「エンジェル・アフマト・ハシヤ」⇒「ノガイザデ・アルスラン・ハシヤ」(~1650年)

1649年-03:00|イラク| |||<即位>ハバニヤ首長「Faqi Ahmad」(~1670年)

1649年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ルカ=フランチェスコ・バルバロ」(~1650年)

1649年-02:00|ラトヴィア| |||<就任>ケルラント=ゼムガレン公国政府議長「フリードリヒ・ヨハン・フォン・デア・レック」(~1671年没)

1649年-02:00|シリア=アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Damad Ibshir Mustafa Pasha」(~同年)⇒「Mehmed Pasha2世」(~1650年)

1649年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアム、モノモタパ 総司令官「アルバロ・デ・ソウザ・デ・タヴァラ」(~1650年)

1649年-02:00|ラトヴィア| |||トングレンはメテール家に引き継がれる

1649年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリダ総督「Luis de Sotomayor」(~5.6死去)

1649年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=ラインフェルス方伯「エルスト1世」ヘッセン=カッセル方伯モーリッツの五男(⇒1658年ローテンブルグ方伯領と合邦~16930502死去、ヴァンフリート方伯領と合邦)

1649年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ヴァシリアン1世」(~1659年)

1660迄 (2492件)

1649年-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン/ポルトガル| |||コンゴ 王国はポルトガルの属国(〜1861年)
1649年 00:00|イギリス| |||<死去>初代ウィームズ 伯「ジョン・ウィームズ」
1649年 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ウィームズ 伯「デヴィッド・ウィームズ」(〜1679.7死去)
1649年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官代行「カスパル・ボガト」(〜1650年)
1649年 00:00|セカル/フランス| |||<就任>セカルビアのルマン商会総督「ス・フィー」(〜1650年没)
1649年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島領土執達吏(ト・スハウ)「Christen Madson」(〜1655年)
1649年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サントマリア島ナタリオ長官「Branca de Gama」(〜1654年)
1649年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<死去>イギリス植民地モントセラト総督「Anthony Brisket」
1649年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「ルーク・ストークス」(2度目〜1657年)
1649年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト総督代理「Roger Osborne」(⇒1654年総督〜1662年)
1649年 04:00|グレナダ/フランス| |||<就任>グレナダ 総督「ジャン・ル・コント」(〜1654年7月)
1649年 04:00|グレナダ/マルティニーク/グアドループ/サン・マルタン/サン・バルテルミー/フランス| |||グレナダはフランス領アンティルの一部(〜1762年)
1649年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ファン・バルバ・デ・バジエシジョ」(〜1650年)
1649年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(4期目〜1650年)
1649年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Hernando de Ugarte y la Concha」(〜1653年)
1649年 07:00|メキシコ| |||タラウマ族の反乱
1649年1月-02:00|ウクライナ/ロシア| |||キエフがコサックによって占有
1649年1月 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯・モンゴメリー伯「フィリップ・ハーバート」(〜1669.12.11死去)
1649年1月4日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国議会議長「ウィリアム・レントル」(1期目〜1653.04.20)
1649年1月13日-09:00|日本|神奈川県|慶安1年12月|浦賀と三崎に燈明堂が置かれる
1649年1月13日-09:00|日本|栃木県さくら市|慶安1年12月|<交替>喜連川藩4500石(10万石格)「喜連川尊信」隠居
⇒長男「喜連川昭氏」が継ぐ(⇒正徳3(1713)年11月12日、死去)
1649年1月14日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのバン「ニコラ・シュビッチ・グロフ・ス・リンスキ」(〜1664.11.18)
1649年1月17日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<即位>ポーランド 王・リトアニア大公「ヤン2世ガミシユ・ヴァサ」ジグムント3世の息子(〜1668.09.16退位し僧侶となった)
1649年1月28日-09:00|日本|大阪府|慶安1年12月16日|幕府が、大坂三郷に関する法度を出す
1649年1月30日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国務院議長「オリヴァー・クロムウェル」(〜1649.02.15) Mi I
1649年2月6日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦1月27日|イギリス、チャールズ・ステュアート1世に死刑判決が下る
1649年2月9日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦:1649/1/30|<即位>イングランド 王「チャールズ2世」チャールズ1世とヘンリエッタ・マリアの男子(〜1685.02.06死去54歳)兼スコットランド 王(〜1651.01.01)
1649年2月9日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦:1649/1/30|<死去>イングランド 王・スコットランド 王「チャールズ1世(聖チャールズ 殉教王)」斬首刑/48歳(誕生1600.11.29)
1649年2月11日-08:00|中国| |||南明・永暦3年1月|清軍の反攻により南明永暦政権の金声桓、李成棟ら将軍が戦死
1649年2月14日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|慶安2年1月3日|<死去>陸奥三春藩5500石「秋田俊季」⇒5月14日、長男「秋田盛季」が継ぐ(弟「季久」に5千石分知し5万石⇒延宝4年1月13日(1676.02.26)死去)
1649年2月19日-01:00|オランダ/ブラジル| |||オランダ 軍、グアラペスでふたたび反乱軍との戦いに敗北
1649年2月20日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会期成同盟代表「オリヴァー・クロムウェル」(1期目) Mi I
1649年2月22日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会期成同盟代表「オリヴァー・クロムウェル」(2期目) Mi I
1649年2月23日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会期成同盟代表「オリヴァー・クロムウェル」(3期目) Mi I
1649年2月24日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会期成同盟代表「デントン・バーバジル・フィールド・インク」(1期目)
1649年2月26日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<死去>パラグアイ総督「ディエゴ・デ・エブラ・レオリオ」
1649年3月 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンコ 総裁・総司令官「ファン・メルカレホ・ポンセ・デ・レオン」(〜1650年)
1649年3月3日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会期成同盟代表「デントン・バーバジル・フィールド・インク」(2期目)
1649年3月4日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督代行「フレイ・バルタザール・デ・カルデナス・イ・ポンセ」(〜10.1)
1649年3月6日-09:00|日本|兵庫県三田市|慶安2年1月23日|<死去>摂津三田藩36000石「九鬼久隆」⇒長男「九鬼隆昌」が継ぐ(⇒寛文9年6月28日(1669.07.25)、23歳で死去)
1649年3月7日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会期成同盟代表「アーサー・ハミルケ 卿」、ウィリアム・マサム卿
1649年3月9日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハミルトン公・初代クライズ・デール侯・5代アラン伯・初代アラン=ケンブリッジ 伯「ジェームズ・ハミルトン」処刑される
1649年3月9日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハミルトン公・3代ケンブリッジ 伯「ウィリアム・ハミルトン」初代ナーク伯(〜1651.09.12死去) クライズ・デール侯・アラン=ケンブリッジ 伯
1649年3月10日 03:00|ブラジル| |||ブラジル総合貿易会社が特許会社として設立される
1649年3月12日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国国家評議会議長「ジョン・ブラット・ショー」(1期目〜1650.02.15)
1649年3月13日-09:00|日本| |||慶安2年2月|検地条目制定
1649年3月17日 06:00|カタラ| |||イエズス会神父二人がイロコイ族に殺害される
1649年3月22日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ハントリー侯「ジョージ・ゴートン」
1649年3月22日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ハントリー侯「ルイス・ゴートン」(〜1653.12死去)

1660迄 (2492件)

1649年3月23日-09:00|日本|静岡県藤枝市|慶安2年2月11日|<加増移封>常陸土浦藩2万石「西尾忠昭」⇒駿河国田中藩25000石(⇒承応3年10月26日(16541204)死去)

1649年3月26日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・ウィンズロップ」

1649年3月27日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1649/3/17|イギリスで貴族院(上院)が廃止される

1649年3月30日-09:00|日本|京都府福知山市|慶安2年2月18日|<加増移封>三河刈谷藩3万石「松平忠房」⇒丹波福知山45000石(⇒寛文9(1669)年6月8日、肥前島原藩65900石へ加増移封)

1649年3月31日-09:00|日本|茨城県土浦市|慶安2年2月19日|<加増移封>下野鹿沼藩25000石「朽木植綱」⇒常陸土浦藩3万石(⇒万治3年12月13日(16610113)、死去)

1649年4月-01:00|オランダ/フランス| |||Mathias Beckの率いるオランダ人部隊、43年に放棄したセアをふたたび占領。Schonenburgh砦を建設

1649年4月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「アロンソ・フイゲロア・イ・コルトバ」(~1650年5月)

1649年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ボネッティ」「イノセント・ボネリ」

1649年4月7日-09:00|日本| ||慶安2年2月26日|慶安御触書制定

1649年4月7日-09:00|日本| ||慶安2年2月26日|幕府が農民に忍従を強要する「農民法度」を出す

1649年4月9日-09:00|日本| ||慶安2年2月28日|<加増立藩>伊勢長島7千石「松平(久松)定政」⇒三河刈谷2万石(⇒慶安4年改易)

1649年4月9日-09:00|日本|三重県桑名市|慶安2年2月28日|<移封>下野国那須藩1万石「松平康尚」⇒伊勢長島藩1万石(⇒貞享2(1685)年10月7日、隠居)

1649年4月14日-04:00|オマーン| |||<死去>ヤーリハ王朝イマム「ナースイル・イブン・ムリト」

1649年4月14日-04:00|オマーン| |||<即位>ヤーリハ王朝イマム「スルタン・イブン・サイフ」(~1688年)

1649年4月17日-09:00|日本| ||慶安2年3月6日|幕府が、諸大名に倭約令を布達

1649年4月22日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「(アウグスティンシア大統領)マティス・デ・ペラルタ・デ・カベサ・デ・パカ」(~16500628)

1649年4月24日 04:30|ペネラ・エラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ペネラ・エラ総督「Pedro de Leon Villarroel」(~16510714死去)

1649年4月26日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・インデコット」(~16500522)

1649年4月26日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メーランド植民地総督「ウィリアム・ストーン」(~1656年)

1649年4月29日-08:00|中国| ||清・順治4年|<死去>清摂政「ユグトド」

1649年4月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶安2年3月18日|幕府が大坂駅舎条令を出す

1649年5月4日-09:00|日本| ||慶安2年3月23日|関東地方で大地震。家屋に被害、死者多数。日光でも被害

1649年5月6日-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領メーラ総督「Luis de Sotomayor」

1649年5月6日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メーラ暫定総督「Andres del Carte y Murisabal」(~同年)⇒総督「Jordan Jerez」(~16501205死去)

1649年5月19日 00:00|チャンド諸島/イギリス| |||<制定>イギリス連邦が「ンジ-島、ジャージ-島」(~16600508)

1649年5月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カラム・ト・パシャ」(~16510805)

1649年5月24日 04:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>ポルトガル知事兼提督「Diego de Aguilera y Gamboa」(~1655年)

1649年5月29日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦5月19日|イギリス、議会が共和政宣言(モンウェルズ宣言)を発する

1649年6月17日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治6年5月8日|<死去>李氏朝鮮国王「仁祖」

1649年6月22日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治6年5月13日|<即位>李氏朝鮮国王「孝宗」(~16590623死去)

1649年6月22日-09:00|日本| ||慶安2年5月13日|八王子・川越などで大雪、雹などが降り、人馬多数死傷

1649年6月29日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ総督「ゴンサロ・デ・カンホア・アヤ」(~16501009没)

1649年7月18日-09:00|日本|新潟県村上市|慶安2年6月9日|<移封>播磨姫路藩15万石「松平直矩」⇒越後村上藩15万石(⇒寛文7(1667)年8月19日、姫路藩15万石に復帰)

1649年7月18日-09:00|日本|兵庫県姫路市|慶安2年6月9日|<加増移封>陸奥白河14万石「榊原忠次」⇒播磨姫路藩15万石(⇒寛文5年3月29日(16650514)死去)

1649年7月18日-09:00|日本|福島県白河市|慶安2年6月9日|<加増移封>越後村上藩10万石「本多忠義」⇒陸奥白河藩12万石(⇒寛文2(1662)年11月25日、隠居)

1649年7月30日-07:00|日本| ||慶安2年6月21日|<慶安2年武蔵、下野地震>丑の刻(2時頃)、下野国武蔵国をマグニチュード7.0とされる地震が襲った/川越で町屋700軒ばかり大損壊、江戸では江戸城二ノ丸の石垣、堀が破損/松平(島津)薩摩守などの大名屋敷の長屋や町屋が倒壊したり破損して、少なからぬ死傷者が出た

1649年8月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||オバークロムウェルとヘンリー・アイアトン下のイギリス連邦がアイルランド再征服(~16530427)

1649年8月2日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「アントニオ・デ・ラ・イ・モグロ・グェロ」(~1654年)

1649年8月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>アングラ・ド・ナリア長官「Afonso de Portugal」

1649年8月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラ・ド・ナリア長官「Luis de Portugal」(~1655.4死去)

1649年8月11日-09:00|日本|大阪府高槻市|慶安2年7月4日|<加増移封>山城長岡藩2万石「永井直清」⇒摂津高槻藩36000石(⇒寛文11(1671)年1月9日、死去)

1649年8月11日-09:00|日本|佐賀県唐津市|慶安2年7月4日|<加増移封>播磨明石藩7万石「大久保忠職」⇒肥前唐津藩83000石(⇒寛文10(1670)年4月19日、死去)

1649年8月11日-09:00|日本|兵庫県明石市|慶安2年7月4日|<加増移封>丹波篠山藩5万石「松平忠国」⇒播磨明石藩7万石(⇒万治2年2月20日(16590411)死去)

1660迄 (2492件)

1649年8月11日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|慶安2年7月4日|<加増移封>摂津高槻藩36000石「松平康信」⇒丹波篠山藩5万石(⇒寛文9(1669)年9月29日、隠居)

1649年8月15日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 総督・最高司令官「オリバー・クロムウェル」議会によって任命(〜16520622)

1649年8月19日-09:00|日本|東京都|慶安2年7月12日|江戸町奉行、町中の橋の上、橋のもと、街角での商売を禁じる

1649年8月25日 00:00|アイルランド/イギリス| ||ユリウス暦:1649/8/15|クロムウェル率いるイングランド軍がアイルランドに侵攻

1649年9月1日-09:00|日本| ||慶安2年7月25日|川崎・江戸で地震/民屋が破倒し、人畜の死傷多数

1649年9月10日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李景佐」(〜16500411)

1649年9月11日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<トロヘダ 攻城戦>クロムウェルのアイルランド 侵略でイングランド 議会軍が駐留軍を虐殺

1649年9月17日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|慶安2年8月11日|<移封>下総小見川藩1万石「内田正信」⇒下野鹿沼藩15000石(⇒慶安4(1651)年4月20日、徳川家光に殉死)

1649年9月18日-09:00|日本|島根県浜田市|慶安2年8月12日|<移封>播磨山崎藩5万石「松平(松井)康映」⇒石見浜田藩5万石(⇒延宝2(1675)年12月30日、死去)

1649年9月19日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス連邦ジャージー 島知事「Henry Jermyn」(1期目〜16500213)

1649年9月25日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス領バミューダ 総督「ジョン・トリシガム」(〜1650年)

1649年10月 00:00|イギリス| ||ユリウス暦10月|リバーンが国外に追放される

1649年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フルゲンツィオ・マッジョーニ」「フェデリコ・トシニ」

1649年10月1日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>パラグアイ総督「セバスティアン・デ・レオン・サラテ」(〜16501010)

1649年10月2日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・慶徳1年8月26日|<死去>後黎朝(大越)後期第7代皇帝「真宗黎維祐」

1649年10月2日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・慶徳1年8月26日|<復位>後黎朝(大越)後期第8代皇帝「神宗黎維祺」(〜16621102死去)

1649年10月6日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|慶安2年9月|高野山学侶らの法度を定める

1649年10月9日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ギョウエイ伯「アレクサンダー・ステュアート」

1649年10月9日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ギョウエイ伯「ジェームス・ステュアート」(〜1671.6死去)

1649年11月-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・慶徳1年|<即位>後黎朝(大越)後期8代「神宗」(2期目〜16621102)慶徳と改元(〜1653)

1649年11月5日-09:00|日本|埼玉県深谷市|慶安2年10月|<立藩>武蔵岡部藩19250石「安部信盛」(⇒寛文2(1662)年3月6日、隠居)

1649年11月5日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|慶安2年10月|<加増移封>備前児島藩2万石「池田恒元」⇒播磨山崎藩3万石(⇒寛文11(1671)年9月4日、61歳で死去)

1649年11月12日 00:00|イギリス| ||<死去>8代モートン伯「ロバート・ダグラス」

1649年11月12日 00:00|イギリス| ||<就任>9代モートン伯「ウィリアム・ダグラス」(〜16811101死去)

1649年11月20日 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール首長「アルム・イット男爵ルイス・ロサ」(〜1653年1月)

1649年11月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶安2年10月25日|<就任>大坂城代「内藤信照」(⇒承応元(1652)年5月15日)

1649年11月30日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|慶安2年10月26日|宇和島地方大風、城廻りの塀が残らず破損し、家中の侍屋敷30軒余り吹き潰される

1649年12月-04:00|レユニオン/フランス| ||サン・ポール島はフランスに併合され、フルベゾン島と改名

1649年12月4日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ブリッジウォーター伯「ジョン・エジヤートン」

1649年12月4日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ブリッジウォーター伯「ジョン・エジヤートン」(〜16861026死去)

1650年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ 総督代理「Simon Cos」(1期目〜1651年)

1650年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>バントム大統領「Aaron Baker」(3期目〜1652年)

1650年-08:00|インドネシア| ||<即位>チルボン君主「Pangeran Giri Laya」(〜1662年)

1650年-08:00|インドネシア| ||<即位>テルナテスルタン「Manilha」(〜1655年)

1650年-05:30|インド| ||<建国>ハリサワン国(ザミナリ)

1650年-05:30|インド/オランダ| ||<就任>オランダ 領インド 総督「ローレンス・ビッット・ド・ウート」(1回目〜1651年)

1650年-05:30|インド| ||<就任>ジャファラバード 国タタール「ファト・カーン」建国(〜不明)⇒「サンボル・ヤクト・カーン」(〜1678年)

1650年-05:30|インド| ||マドゥライのミナケーシ寺院が建造

1650年-04:00|オスマン/ポルトガル| ||ヤーリハ 王朝イマム「スルタン・イブン・サイフ」によりポルトガル人はマスカットから追放された

1650年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「カフラン・ムスタファ・パシャ・メルツィオコル」(1回目)⇒「シヤイル・フサイン・パシャ」(〜1651年)

1650年-03:00|マダガスカル| ||<即位>メリナ王国君主「King Andriantsimitoviaminandriandehibe」(〜1670年)

1650年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジュゼッペ・モロシニ」(〜1653年)

1650年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>カンデリア王国総督「ジョルジョ・モロシニ」(〜1652年)

1650年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silihdar Murteza Pasha」(1期目〜同年)⇒「Shivas i Mustafa Pasha」(〜1651年)

1650年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モノモタパ 総司令官「フランシスコ・デ・マスカレニャス」(〜1653年)

1650年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのパシャ「メフメド・パシャ」(〜1653年)

1650年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「メフメド・パシャ」⇒「ファティル・アフメド・パシャ」(1回目〜1651年)

)
 1650年-01:00|フランス| |||サン・キット島に植民
 1650年-01:00|フランス/セントルシア| |||サン・ルシアに植民が行われた
 1650年-01:00|フランス/グレナダ| |||フランス人がグレナダ島にセント・ジョージズを建設し植民開始
 1650年 00:00|イギリス| |||<死去>ウィグ・タウン伯「ジョン・フレミング」
 1650年 00:00|トゴ| |||<就任>アグバ・ナンキン摂政「ロ・ネンクンモン」(1700年)
 1650年 00:00|イギリス| |||<就任>ウィグ・タウン伯「ジョン・フレミング」(1665年死去)
 1650年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「ジョアン・カレロ・フィゲロ」(1654年)
 1650年 00:00|モリタニア| |||<就任>ブラナ連合エミール「ルマシュ」
 1650年 00:00|アイルランド/イギリス| |||アイルランドはイングランド連邦の一部(16600425)
 1650年 00:00|イギリス| |||オックスフォードにイギリス最初のコーヒーハウスが開店
 1650年 00:00|ポルトガル/オマーン| |||オマーンのヤリーハ朝がポルトガルを破りマスカトから追い出す
 1650年 03:00|スリナム/イギリス| |||<就任>ウィロビー＝ランド総督「アンソニー・ロウ」(1654年)
 1650年 03:00|ウルグアイ| |||この頃ウルグアイ地方の先住民チャ族が絶滅
 1650年 03:00|スリナム/イギリス| |||ウィロビー男爵ウィリアム・ウィロビーの下でウィロビー＝ランド(現在のパラマリボ)にイギリス人が入植(16670306)
 1650年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「デナム・ホ・イツ」(1651年)
 1650年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総裁・総司令官「ルイス・フェルナンデス・デ・コルドバ」(16510316)
 1650年 04:00|米領ヴァージン諸島/フランス| |||サンクトワはフランス領アンティルの一部(1733年)
 1650年 04:00|マルティニーク/フランス| |||マルティニークはダ・イェル(D'Yel)寄木細工家に付与(1664年)
 1650年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ジャシント・セデノ・バスロフ」(2回目)⇒「フランスコ・デ・プロエンツァ」(1回目1651年)
 1650年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院暫定総督・長官「フアン・デ・ビトリアン・ナバラ・イ・ビアモンテ」(1651年)
 1650年 05:00|コロンビア| |||カルタヘナとマグダレナ河を結ぶデ・イェ運河開通
 1650年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(6期目1651年)
 1650年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「フアン・デ・ス・アゾ」(1668年)
 1650年 06:00|アメリカ| |||北アメリカ東海岸で捕鯨産業が勃興
 1650年1月-01:00|フランス| |||宰相マザランがコンテ親王らを投獄/これに対して反マザラン運動が起こる
 1650年1月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガル勢力がペルシア湾から撤退
 1650年1月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Louis」
 1650年1月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「William Louis」(16650413死去)
 1650年1月18日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ロクスバラ伯「ロバート・カー」
 1650年1月18日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ロクスバラ伯「ウィリアム・カー」(16750702死去)
 1650年1月28日-09:00|日本|熊本県熊本市|慶安2年12月26日|<死去>肥後熊本藩51万石「細川光尚」31歳⇒長男「細川綱利」が継ぐ(⇒寛文2(1662)年3月、弟「利重」に5000石分与し50万5千石)
 1650年2月1日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶安3年|松山藩主松平定行、和気郡祝谷村に常信寺を建立
 1650年2月1日-09:00|日本|沖縄県|慶安3年|琉球史「中山世鑑」が成立
 1650年2月1日-09:00|日本|奈良県桜井市|慶安3年|<再建>大和国長谷寺本堂
 1650年2月11日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの哲学者で数学者ルネ・デカルト(53歳、15960331生)
 1650年2月13日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー島知事「James」(8.21)
 1650年2月17日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ジョン・ブラッドショー」(2期目16511229)
 1650年2月25日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン総督「ヤコフ・ファン・キッテンシュテイン」(16521011)
 1650年3月 06:00|ホンジュラス/イギリス/スペイン| |||スペインがイギリスのベイス諸島入植地を破壊
 1650年3月10日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「カステロ・メルホル伯爵ジョアン・ロドリゲス・デ・ヴァスコセロス・エ・ス・ザ」(16540106)
 1650年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルキオ・レ・マッジョ・ベッルツィ」(「ジローモ・モラッチ」)
 1650年4月9日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ヘンリー・ド・テンス」(6.11)
 1650年4月11日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李敬輿」(16510220)
 1650年4月21日-09:00|日本|京都府相楽郡南山城村|慶安3年3月21日|<死去>柳生三厳(柳生十兵衛)、剣術家(44、生年1607年)狩猟中に急死
 1650年4月22日 00:00|ガーナ/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・ゴールドコースト監督「ハインリヒ・カーロフ」(1655年)
 1650年4月22日 00:00|ガーナ/スウェーデン| |||<設立>スウェーデン・ゴールドコースト(カールスバーグ[ケープ・キャッスル:16500422~16580127&16601210~16630422]、アポロニア砦[ベイン:1655~1657]、クリスチャンスバーグ砦/フレデリクスバーグ砦[オース:1652~1658]、バテンシュタイン砦[ブトリ:1650~1656]、ウィッセン/タコリ砦[タコレイ:1653~1658]、およびウィリアム/アマブ砦[アマブ:1650~1657])
 1650年4月23日-09:00|日本|秋田県秋田市|慶安3年3月23日|<出羽久保田慶安3年の大火>秋田藩城下久保田の外町五丁目から出火/上は隣接する四丁目から茶町、通町、保戸野足軽町まで延焼/下は隣接する六丁目から十人衆町、鉄砲町まで延焼/2000軒余を焼失
 1650年4月26日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Carel Reyniersz」(16530519死去)
 1650年4月29日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<死去>イギリス領バルバドス総督「Philip Bell」
 1650年4月29日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「Francis Willoughby」(1期目165110)

1660迄 (2492件)

1650年5月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ヘンリー・アイルトン」議会により任命(〜16511120没)
1650年5月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「フランシスコ・アントニオ・デ・アケニャ・カブレラ・イ・バヨンス」(〜1655年1月)
1650年5月21日 00:00|イギリス| |||<死去>初代モントローズ 侯「ジェームズ・グラハム」
1650年5月21日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代モントローズ 侯「ジェームズ・グラハム」(〜16690223死去)
1650年5月22日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「トマス・タドリ」(〜16510507)
1650年5月30日-09:00|日本|広島県|慶安3年5月1日|<死去>上田宗箇、茶人・造園家/88歳
1650年6月 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Alfonso Davila y Guzman」(〜1659年)
1650年6月5日-09:00|日本|愛知県名古屋市|慶安3年5月7日|<死去>尾張名古屋藩56万3206石「徳川義直」(51歳、生年1600年)⇒長男「徳川光義」が継ぐ(⇒寛文11(1671)年61万9500石)
1650年6月11日 00:00|ガナ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールト＝コースト総督「アレト・コック」(〜16510315)
1650年6月15日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>フロレス島・コルヴォ島トナリ長官「Brites de Mascarenhas」(〜1657年死去)、「Joao de Mascarenhas」(〜1657年)
1650年6月15日-09:00|日本|兵庫県丹波市|慶安3年5月17日|<死去改易>丹波国柏原藩36000石「織田信勝」無嗣断絶/叔父の子孫が旗本
1650年6月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>クリストフ・シャイナー、神聖ローマ帝国の天文学者(生年1575年)太陽の黒点を観測した最初期の学者の一人
1650年6月19日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<死去>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官「アブレ公フィリップ・フランソワ・デ・クロイ」
1650年6月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>マテウス・メーリアン、ドイツの版画家・製図家(生年1593年)
1650年6月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>リッパ＝デ・モルト伯「ジーン・フィリップ」
1650年6月19日-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官代行「ムーリンギン侯ゾル」(〜同年)
1650年6月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>リッパ＝デ・モルト伯「ヨハン・ベルンハルト」(〜16520610死去)
1650年6月20日 04:00|グレタ/フランス| |||<設立>フランス植民地グレタ
1650年6月23日 00:00|イギリス| |||イギリスがエジプトと大部分のスコットランドを占領
1650年6月24日-09:00|日本|長崎県大村市|慶安3年5月26日|<死去>肥前大村藩21427石「大村純信」⇒養子「大村純長」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年27973石に高直し)
1650年6月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ジャン・ロトル、フランスの詩人・劇作家(生年1609年)
1650年6月28日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「ダニエル・デ・ロドリゲス・エンリケス・デ・グスマン・イ・コレマ」(〜16530814)
1650年7月8日-09:00|日本|山口県周南市|慶安3年6月10日|<藩庁移転>周防下松藩45000石「毛利就隆」⇒野上館(⇒9月28日、野上を徳山と改称し、徳山藩が成立⇒延宝7(1679)年8月8日、死去)
1650年7月9日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|慶安3年6月11日|<死去改易>大和国郡山新田藩4万石「本多勝行」16歳、無嗣断絶(本家大和国郡山藩に収公)
1650年7月18日-09:00|日本|東京都|慶安3年6月20日|江戸で大地震。城櫓倒壊。大名町家も破損
1650年7月20日-09:00|日本| ||慶安3年6月22日|<死去>岩佐又兵衛、絵師(生年1578年)
1650年7月28日-08:00|中国| ||南明・永暦4年7月|明の遺臣の鄭成功(国姓爺)が廈門、金門の2島を占領し、清朝への抵抗を本格的に始める
1650年8月-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ 総督兼総司令官代行「ストロツィ侯アルフォンソ・デ・ロレンツォ」(〜1652年)
1650年8月 04:00|米領ヴァージン諸島/フランス| |||<就任>フランス領セントクロア総督「de Vaugalan」(〜同年)
1650年8月 04:00|米領ヴァージン諸島/フランス/イギリス/スペイン| |||スペインはイギリスのセントクロア植民地を占領(〜同月)⇒サンクロア(サンタクルス)に対するフランスの支配
1650年8月6日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルベイ「カラムラート・パシャ」(〜16530909)
1650年8月6日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|慶安3年7月9日|<死去>上野小幡藩2万石「織田信昌」⇒養子「織田信久」が継ぐ(⇒正徳4(1714)年7月8日死去)
1650年8月21日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー-島知事代理「Georges de Carteret卿」(〜16510602)
1650年8月23日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国「ジョー・アゴスティーノ・セントウリオネ」(〜16520823)
1650年8月25日-01:00|イタリア| |||ベネチア、サン・シルベストロ教会の再建
1650年8月25日 00:00|イギリス| |||<死去>リチャード・クラショー、イギリスの詩人(生年1613年頃)
1650年8月27日-09:00|日本|愛媛県松山市|慶安3年8月|松山藩主「松平定行」阿沼美神社を再建
1650年9月7日-09:00|日本|秋田県|慶安3年8月12日|<慶安3年九州大水害>九州に大風雨が襲い田畑に大損害を与えた/特に肥後国では360人が死亡、家屋4242戸が流失/肥前国の長崎、天草の海岸では高潮が起き民家多数が流された
1650年9月13日-01:00|ベルギー| |||<死去>レージュ公「フェルディナント・フォン・バイエルン」
1650年9月13日-01:00|ベルギー| |||<就任>レージュ公「マクシミリアン・ヘンリー・フォン・バイエルン」(〜16880605死去)
1650年9月13日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1650/9/3|カムウェルがタンバーの戦いでスコットランド軍を破る
1650年9月24日-09:00|日本|秋田県|慶安3年8月29日|<慶安3年東海大水害「寅年の洪水」>(〜9.2)摂津国から山城国、近江国、伊勢国、美濃国にかけて各地で洪水を引き起こした/伊勢では亀山城の城門、堀、櫓などが人馬とともに流されるなど人家450戸が倒壊流失し、200人余が死亡/美濃では木曽・長良・揖斐三川の堤防がともに決壊

1660迄 (2492件)

し、特に大垣では三日間も水が引かず、藩領内だけで1553人が死亡、流出家屋3502軒にのぼった
1650年9月26日-09:00|日本|大分県別府市|慶安3年9月1日|鳥越山(別府)が崩れ、土砂が谷を埋める。死者27人
1650年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・トシーニ」「パオロ・アントニオ・オノフリ」
1650年10月5日-09:00|日本|福井県福井市|慶安3年9月10日|<死去>松平忠直、元越前北ノ庄(福井)藩主(生年1595年)
1650年10月10日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「アントニオ・デ・レオン・ガラビエ・イレスカス」(~16530726)
1650年10月16日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督代行「ペドロ・セメド・カルトーゾ」(~16511224)
1650年11月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督「ジョサイア・フォスター大佐」(3期目~16580630)
1650年11月6日-01:00|オランダ| |||<死去>ネーデルラント連邦共和国ラント州、ゼーラント州、ユトレヒト州、オファーアイセル州・ヘルダーラント州・フーニンゲン州総督・オラニエ(オランジュ)公「ウィレム2世」24歳
1650年11月6日-01:00|オランダ| |||<就任>オラニエ(オランジュ)公「ウィレム3世」ウィレム2世の息子(~17020308死去)オランダ 総督、イングランド 王、スコットランド 王、アイルランド 王
1650年11月6日-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国フーニンゲン州総督「デ・イツ侯ウィレム・フレデリック」「デ・イツ伯エルンスト・カミールの子」(~16641031死去)
1650年11月24日 00:00|ポルトガル| |||<死去>マヌエル・カルトーゾ、ポルトガルの作曲家(生年1566年)
1650年11月26日-09:00|日本|山口県下関市|慶安3年閏10月3日|<死去>長門長府藩6万石「毛利秀元」⇒次男「毛利光広」が継ぐ(⇒承応2(1653)年7月2日、死去)
1650年11月30日-09:00|日本|岐阜県高山市|慶安3年閏10月7日|<死去>飛騨高山藩38000石「金森重頼」⇒長男「金森頼直」が継ぐ(⇒寛文5(1665)年7月18日、病死)
1650年12月 04:00|米領グァージン諸島/フランス| |||<就任>フランス領サンクロア総督「Auger」(~1651年)
1650年12月 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ファン・フェルナンデス・デ・サリナス・イ・ラセルダ」(~16590108)
1650年12月5日-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン領メロ総督「Jordan Jerez」
1650年12月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ケナリカルデ」侯爵「リック・デ・パーケ」国王により任命(~1652年8月)
1650年12月16日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|慶安3年閏10月23日|<死去>大和高取藩25000石「植村家政」⇒三男「植村家貞」が継ぐ(⇒明暦4(1658)年7月7日、弟「正春」に3千石分知し22000石)
1651年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督「Willem Verbeek」(~1654年)
1651年-08:00|インドネシア| |||<即位>バタワン王国スルタン「スルタン・アグン・ティルタヤサ」(~1683年廃位)
1651年-07:00|オーストリア| |||<即位>シエンクアーン公「カム・サン」(~1688年死去)
1651年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ 領インド 総督「ヤコブ・ファン・シュート・ウィイス」(~同年)
1651年-05:30|インド| |||<就任>タリヤー国ラジャ「ゴビナート・ビラール・ハリチャンドラン」(~1711年)
1651年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダード・ワリス「カラ・ムスタファ・パシャ」(1回目~1653年)
1651年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Firari Kara Mustafa Pasha」(1期目~1653年)
1651年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「バズム・アフドゥルラフマン・パシャ」(~1652年、解雇)
1651年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gurcu Mehmed Pasha」(3期目~11月)
1651年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Enno Louis」(~16600404死去)
1651年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メロ暫定総督「Juan Penalosa」(~同年)⇒総督「Pedro Palacio y Guevara」(~1655年)
1651年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ヤデ・イカル・ムスタファ・パシャ」⇒「ファテ・イル・アフメト・パシャ」(2回目~1652年)
1651年 00:00|イギリス| |||<就任>初代オモンド 伯「アーチボルト・ダグラス」(~16550115死去)
1651年 00:00|セカール/フランス| |||<就任>セカール・ビエアのノルマン商会総督「シェール・メソノー」(~1658年没)
1651年 00:00|イギリス/インド| |||イギリス東インド 会社がフーグリーに商館を開設
1651年 00:00|イギリス| |||ウィリアム・ハーヴェーが「動物の発生に関する研究」を出版
1651年 00:00|イギリス| |||ホップスが「リヴァイアサン」を刊
1651年 03:00|スリナム| |||バルバドスのイギリス人、ギアナ(現スリナム)に入植
1651年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 副総督「クレメント・エヴァーラード」(~1660年)
1651年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「ファン・ラミレス・デ・アレリャノ」(~16550527)
1651年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「デ・イエゴ・デ・オロスコ」(2回目)⇒暫定総督・長官「フランシスコ・デ・グスマン・デ・トルト」(~1652年)
1651年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(5期目~1652年)
1651年 06:00|カナダ/アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「ジャン・ド・ロソン」(~1657年)
1651年 06:00|アメリカ| |||ブラッドフォードが「プリマス植民史」を完成
1651年1月21日-08:00|中国| ||清・順治7年12月|清の摂政「多尔衮」が死去/38歳、その功勞に順治帝が皇帝位を贈り成宗の諡
1651年1月27日-01:00|オランダ| |||<死去>アブラハム・ブルーマルト、オランダの風景画家(生年1564年)
1651年2月14日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶安3年12月24日|<死去>近江膳所藩7万石「石川忠総」69歳⇒翌年4月4日、嫡孫「憲之」が継ぐ(叔父「総長」に1万石、叔父「貞当」に7千石分与し53000石)
1651年2月20日-09:00|日本|大分県竹田市|慶安4年|<交替>豊後岡藩70440石「中川久盛」隠居⇒長男「中川久清」に家督を譲る(⇒寛文6(1666)年5月29日長男久恒に家督を譲って隠居)
1651年2月20日-09:00|日本|福島県二本松市|慶安4年|<完成>二本松城

1660迄 (2492件)

1651年2月20日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・慶徳3年|<死去>パント・ウナグ王「Po Rome」
1651年2月20日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・慶徳3年|<即位>パント・ウナグ王「Po Nraop」(~1653年)
1651年2月20日-07:00|ベトナム| ||宣教師のローマ語のローマ字表記法を考案
1651年2月20日-07:00|ベトナム| ||アンナン・ホルガール・ラン語辞書が刊
1651年2月20日-08:00|中国| ||清・順治8年1月|清・順治帝が親政を開始
1651年2月24日-09:00|日本|山口県萩市|慶安4年1月5日|<死去>長州藩369000石「毛利秀就」(57歳、生年1595年)⇒
四男「毛利綱広」が継ぐ(⇒天和2(1682)年2月27日、隠居)
1651年3月2日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「金伊」(~16520117)
1651年3月15日 00:00|ガーナ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「ジェイコブ・ライヒャーバー」(2回目~16560124)
1651年3月16日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| ||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総裁・総司令官「フランシスコ・パントハ・デ・アヤラ」
(~1652年)
1651年3月28日 00:00|イギリス| ||<死去>第10代ケント伯「ヘンリー・グレイ」
1651年3月28日 00:00|イギリス| ||<就任>第11代ケント伯「アンソニー・グレイ」(~17020819死去)
1651年4月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン＝フランクフルト方伯「ヨハン」1代で断絶
1651年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「アレックス・ロベールツィ」(「ウ・インツォ・ロレンツォ」)
1651年4月24日-09:00|日本|福島県相馬市|慶安4年3月5日|<死去>陸奥中村藩6万石「相馬義胤」⇒翌年2月8日、養
子「相馬忠胤」が継ぐ(⇒延宝元(1673)年11月2日、死去)
1651年5月1日-01:00|ルウェー/デンマーク| ||<就任>ルウェー総督「ケルグース・クラッペ・ティル・トルスト・ルト」(~16551220没)
1651年5月4日-09:00|日本|広島県福山市|慶安4年3月15日|<死去>水野勝成、備後福山藩初代藩主(生年1565年)
1651年5月7日 06:00|アメリカ/イギリス| ||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・エンデコット」(~16540503)
1651年5月14日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<再任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ニコラス・ホンセ・デ・レオン」(~16511019)
1651年5月20日-09:00|日本|東京都台東区|慶安4年4月|上野国東叡山東照宮社殿できる
1651年5月22日-09:00|日本|滋賀県|慶安4年4月3日|<拝領>近江・美濃・信濃・駿河・上野国内15万石「徳川徳松(綱
吉)」(⇒寛文元(1661)年8月、上野館林藩25万石へ加増移封)
1651年5月22日-09:00|日本|山梨県甲府市|慶安4年4月3日|<拝領>甲斐甲府藩15万石「徳川綱重」家光三男長松(⇒
寛文元(1661)年閏8月9日、10万石加増され25万石)
1651年5月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|慶安4年4月4日|<加増移封>伊勢亀山藩5万石「本多俊次」⇒近江膳所藩
7万石(⇒寛文4(1664)年9月12日、隠居)
1651年5月23日-09:00|日本|三重県亀山市|慶安4年4月4日|<移封>近江膳所藩53000石「石川憲之」⇒伊勢亀山藩5
万石(⇒寛文9(1669)年2月25日、山城淀藩6万石へ加増移封)
1651年5月23日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|慶安4年4月4日|<分与立藩>伊勢神戸藩1万石「石川総長」(⇒万治3(166
0)年、1万石を加増され2万石)
1651年5月24日 04:00|米領ヴァージン諸島/マルタ| ||<就任>サンクロア総督「Philippe de Longvilliers」(~1658年)
1651年5月24日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス/マルタ| ||アメリカ伯爵はサン・クリストフ(およびサン・マルタン、サン・クロア、サン・バル
テルミ)の管理権をマルタ騎士団に譲渡(~16660104)
1651年5月24日 04:00|米領ヴァージン諸島/サン・バルテルミー/サン・マルタン/マルタ| ||マルタ騎士団がサンクロア、サン・バルテルミー島、サン・マル
タン(およびその他の島々)を管理する権利取得(~16660104)
1651年5月31日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド総督「統治委員会(フレイ・フランシスコ・ス・マルティネス/フラン
スコ・デ・メロ・デ・カストロ(1回目)/アントニオ・デ・スザ・コウチニョ(1回目))」(~16520906)
1651年6月2日 00:00|チャネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス連邦ジャージー・島知事「Henry Jermyn」(2期目~12.12)
1651年6月8日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|慶安4年4月20日|<死去>武蔵岩槻藩99000石(老中)「阿部重
次」将軍「徳川家光」に殉死⇒家督は長男「阿部定高」が継ぐ(弟「三浦(阿部)正春」に大多喜新田藩16000石、従兄
の大多喜藩主「阿部正令(正能)」に6000石を分与し9万3000石⇒万治2(1659)年1月23日、25歳で死去)
1651年6月8日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|慶安4年4月20日|<加増>上総大多喜藩1万石「阿部正能(正令)」
+叔父「重次」の遺領6千石分与⇒16000石(⇒承応元(1652)年、叔父「重次」の遺領6千石を重次の子「定高」に返還)
1651年6月8日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|慶安4年4月20日|<分与立藩>大多喜新田藩16000石「三浦(阿部
)正春」(⇒万治2(1659)年1月23日、武蔵岩槻藩を相続し自領と合わせ11万5千石)
1651年6月8日-09:00|日本|千葉県佐倉市|慶安4年4月20日|<死去>下総佐倉藩11万石(老中)「堀田正盛」徳川家光
に殉死(生年1609年)⇒家督を長男「堀田正信」が継ぐ(⇒万治3(1660)年11月3日、幕政不満から無断帰城し改易
除封)
1651年6月8日-09:00|日本|東京都千代田区|慶安4年4月20日|<死去>江戸幕府3代将軍徳川家光[1604年07月17日
生~](享年46)
1651年6月8日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|慶安4年4月20日|<死去>下野鹿沼藩15000石「内田正信」徳川家光に殉死
⇒次男「内田正衆」が継ぐ(⇒元禄12(1699)年2月4日、死去)
1651年6月11日-09:00|日本|東京都千代田区|慶安4年4月23日|江戸城大奥女中3700余人が解雇され、大奥殿舎の
多くが破却される
1651年6月16日-09:00|日本|香川県高松市|慶安4年4月28日|<死去>左甚五郎(57)
1651年7月13日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事代行「クリスチャン・セハステッド・ティル・ストウゴール」(2回目~16521029
)
1651年7月14日 04:30|ペネロペ/スペイン| ||<死去>スペイン領ペネロペ総督「Pedro de Leon Villarroel」
1651年7月14日 04:30|ペネロペ/スペイン| ||<就任>スペイン領ペネロペ大市長「Bernabe Loreto de Silva y Vasconc
elos + Juan del Corro」(~16520101)

1660迄 (2492件)

1651年8月-02:00|トルコ| |||イスタンブールで商工民がオスマン朝に対して反乱
1651年8月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メルケ・アーメト・パシャ」(~21日)
1651年8月6日-09:00|日本|兵庫県たつの市|慶安4年6月20日|<死去>播磨新宮藩1万石「池田重政」⇒次男「池田薫彰」が継ぐ(⇒寛文3(1663)年1月30日、31歳で死去)
1651年8月15日 00:00|マン島| |||<就任>マン島主代理「Charlotte de la Tremoille」(~10.15)
1651年8月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「アハメド・パシャ1世」(1期目~9.27)
1651年9月2日-09:00|日本|愛知県刈谷市|慶安4年7月18日|<改易>三河刈谷藩2万石「松平定政」発狂、伊予松山に幽閉
1651年9月4日-09:00|日本| ||慶安4年7月20日|幕府が、婦女衣服制を出す
1651年9月7日-09:00|日本|東京都|慶安4年7月23日|<慶安の変>由井正雪・丸橋忠弥の乱発覚/丸橋忠弥、捕縛される
1651年9月10日-09:00|日本|静岡県静岡市|慶安4年7月26日|<慶安の変>早朝、由比正雪自害/47歳(誕生:慶長10(1605)0501)
1651年9月12日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ハミルトン公・クライヴ・デール侯・3代ケンブリッジ伯・初代ナーク伯・アラン・ケンブリッジ伯「ウィリアム・ハミルトン」
1651年9月12日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ハミルトン女公・3代クライヴ・デール侯・2代ナーク伯・3代アラン・ケンブリッジ伯「アン・ハミルトン」先代の姪(~16980709)
1651年9月13日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦9月3日|ウスターの戦い/クロムウェル指揮するイングランド軍がスコットランドを征服、チャールズ2世はフランスに亡命
1651年9月19日 00:00|マン島/イギリス| |||<死去>マン島知事「John Greenhalgh」
1651年9月19日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Sir Philip Musgrave」(~10.31)
1651年9月20日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー島知事「James Heane」(~12.17)
1651年9月24日-09:00|日本|東京都品川区|慶安4年8月10日|丸橋忠弥、品川の刑場で磔刑に処される
1651年9月27日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ギョルチュ・メフメト・パシャ」(~16520620)
1651年9月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>バイエルン選帝侯「マクシミリアン1世」
1651年9月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>バイエルン選帝侯「フェルディナント・マリア」マクシミリアン1世の息子(1651年から1654年の間、叔父ロートバルク公アルブレヒトの摂政下に置かれる~16790526死去)
1651年9月28日-02:00|ウクライナ/ポーランド| |||プーラウクとチェルニーヒウの県はポーランドの政権に復帰
1651年10月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ド・リコ・デ・ミランダ・エンリクス」(~1653年没)
1651年10月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「Sir George Ayscue」(~1652年)
1651年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「カルロ・ロリ」「ケレゴ・リオ・チェッコリ」
1651年10月2日-09:00|日本|東京都千代田区|慶安4年8月18日|<就任>第4代征夷大将軍徳川家綱の後見人「保科正之」
1651年10月2日-09:00|日本|東京都千代田区|慶安4年8月18日|<補任>第4代征夷大将軍「徳川家綱」12歳/直轄江戸800万石(~延宝8年)
1651年10月3日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶安4年8月19日|長崎西山郷圓山(松の森)から移る「諏方社」の社殿が旧神宮寺の旧跡、「玉園山」の地に遷宮
1651年10月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治8年8月24日|朝鮮、忠清道に大同法を制定
1651年10月9日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1651/9/29|クロムウェル、航海条例発布/輸入品を積む船を自国船に制限
1651年10月10日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ジョージ・Ayscue卿」(~16520319)
1651年10月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ダービー伯「ジェームズ・スタンレー」
1651年10月15日 00:00|マン島| |||<死去>マン島主「James1世 Stanley」
1651年10月15日 00:00|イギリス| |||<就任>ダービー伯「Charles Stanley」(~16721221死去)
1651年10月15日 00:00|マン島| |||<就任>マン島主「Charles Stanley」(1期目~31日)、代理「Charlotte de la Tremoille」(~31日)
1651年10月16日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Bartolomeu de Vasconcelos da Cunha」(~16550422)
1651年10月19日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ペドロ・ホルティセル・ベネイト」(~16540618)
1651年10月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヤコフ・ブレウリウス、ドイツの作曲家、オルガニスト(生年1586年)
1651年10月22日-09:00|日本|三重県三重郡菰野町|慶安4年9月8日|<死去>伊勢菰野藩12000石「土方雄高」⇒翌年2月8日、甥「土方雄豊」が継ぐ(⇒宝永2(1705)年7月31日、死去)
1651年10月26日 00:00|ガンビア/ラトビア| |||<就任>ケルラント公国セント・アントニウス島総督「ピーター・シュレ」(~16520312)
1651年10月26日 00:00|ガンビア/ラトビア| |||<設立>ケルラント公国植民地(ケルラント・ガンビア)/セント・アントニウス島、セント・メアリー島(現在のバングジュール、バコタ砦)、およびジリフリ砦(現在のガンビア北岸ジュファレ)が含まれる
1651年10月31日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Robert Duckenfield」(~1652年)
1651年10月31日 00:00|マン島/イギリス| |||マン島はイングランド連邦下(~16600508)フェアファックス卿に付与(16520223領有宣言)
1651年10月31日-09:00|日本|愛知県新城市|慶安4年9月17日|鳳来山東照宮創建
1651年11月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Haseki Mehmed Pasha」(1期目~1652年)
1651年11月2日-09:00|日本|愛知県刈谷市|慶安4年9月19日|<移封>越後三条藩23000石「稲垣重綱」⇒三河刈谷藩23000石(⇒承応3(1654)年1月8日、死去)
1651年11月20日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド副卿「ヘンリー・アイルトン」

1660迄 (2492件)

1651年11月20日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>イングランド・アイルランド 最高司令官「エドモンド・ラトロー」(1回目~1652年10月)

1651年11月22日 00:00|イギリス| |||<死去>2代バクル伯「フランス・スコット」

1651年11月22日 00:00|イギリス| |||<就任>3代バクル伯「メアリー・スコット」(~16610311死去)

1651年11月23日-09:00|日本| ||慶安4年10月11日|幕府、諸大名が浪人を抱え置くことを禁じる

1651年11月25日-09:00|日本| ||慶安4年10月13日|<慶安4年江戸湾沿岸部風水害>戸塚宿から神奈川宿、川崎宿を抜け、江戸湾北部をかすめて葛西、行徳あたりに達し、民家が数千軒、大風雨によって傾いたり倒壊

1651年12月8日-09:00|日本|香川県丸亀市|慶安4年10月26日|<死去>讃岐国丸亀藩5万石「山崎俊家」35歳⇒翌年2月8日、長男「山崎治頼」が継ぐ(幼少のため後見役である叔父「山崎豊治」に5000石を与え45000石⇒明暦3(1657)年3月6日、死去無嗣改易)

1651年12月12日-09:00|日本|大阪府|慶安4年10月30日|<河内台(大)ヶ塚村、菅田、慶安4年の大火>(~11.1)河内国台ヶ塚村ならびに菅田で民家九百軒焼失

1651年12月17日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー-島知事「Robert Gibbon」(~16550922以前)

1651年12月24日 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ 総督「ルイス・メスキータ・カストロ・ブランコ」(~1652年)

1651年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ハルストロート・ホワイトロック」(1期目~16520126)

1652年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Pedro Fernandez del Rio」(2期目~同年)⇒「Francesco de Esteybar」(1期目~1656年)

1652年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ第12代スルタン:ムハンマド・アリ(~1660年)

1652年-05:30|インド| |||<建国>ラトナム

1652年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ 領インド 総督「ロレンス・ビッット・ド・ウート」(2度目~1662年)

1652年-03:00|タンザニア/オマーン| |||オマーンがバテ島のポルトガル勢を攻撃し一掃する

1652年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハセキ・メフメド・ハッシャ」(~1656年)

1652年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「ジャコモ・ダ・リヴァ」(~1653年)

1652年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Defterdarzade Mehmed Pasha」(~1653年)

1652年-01:00|ルセングル/スペイン| |||<就任>スペイン領ルセングル 総督兼総司令官代行「フランシスコ・サンチェス・ガリート・バルト」(~1654年)

1652年-01:00|フランス| |||<就任>ヌメル公「アンリ2世・ド・サヴォワ=ヌメル」(~16590104死去、ヌメルは再び王領となった)

1652年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「アハメド・シャウシュ・ハッシャ1世」⇒「ファティル・アフメド・ハッシャ」(3回目~1654年)

1652年-01:00|イタリア| |||<即位>グラーナ公「Domenico 1世Orsini」(~1705年)

1652年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー-島管理人「Pierre de Beauvoir」(2期目~1653.10)

1652年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島副知事「Samuel Smith」(~1652.6死去)

1652年 00:00|イギリス/キューバ| |||英国の清教徒、レディ・オズ襲撃

1652年 00:00|アイルランド/イギリス| |||クロムウェル(後、護国卿)がアイルランド 平定/事実上の植民地化

1652年 00:00|カーナタ/スウェーデン| |||スウェーデン人が西アフリカのゴールド・コーストに要塞を建設

1652年 04:00|アンティグア・ババーター/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「クリストファー・キーセル」(~1660年)

1652年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「Daniel Searle」(~1660.7)

1652年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「ペニャルバ 伯ベルナルデ・イノ・デ・メネス・ブラカモンテ・イ・サバタ」(~1656年)

1652年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ペドロ・カリージョ・デ・グスマン」(~1657年)

1652年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(7期目~1653年)

1652年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州市長兼副司令官「ルイス・ポルトアル・デ・アルタビラ」(~1657年)

1652年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア大市長「Agustin Gutierrez de Lugo + Tomas de Aguirre y Guezala y Plasencia」(~5.13)

1652年1月9日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶安4年11月28日|<交替>美濃大垣藩10万石「戸田氏鉄」隠居⇒長男「戸田氏信」が継ぐ(⇒寛文11(1671)年11月、隠居)

1652年1月17日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭太和」(~16541015)

1652年1月17日-09:00|日本|福井県坂井市|慶安4年12月7日|<死去>越前丸岡藩4万石「本多重能」62歳⇒翌年2月8日、長男「本多重昭」が継ぐ(⇒延宝4(1676)年1月14日、死去)

1652年1月18日-09:00|日本|京都府京都市|慶安4年12月8日|<就任>関白「近衛尚嗣」(~承応2年07月17日)

1652年1月21日-09:00|日本| ||慶安4年12月11日|大名・旗本の末期養子を緩和

1652年1月26日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「アーサー・ヘッリケ 卿」(1期目~2.23)

1652年1月30日-01:00|フランス| |||<死去>ジョルジュ・ド・ラ・トゥール、ロレーヌ公国の画家(生年1593年)

1652年2月4日-09:00|日本|三重県桑名市|慶安4年12月25日|<死去>伊勢国桑名藩11万石「松平(久松)定綱」⇒翌年2月23日、次男「松平定良」が継ぐ(⇒明暦3年7月18日(16570827)、死去)

1652年2月7日-01:00|イタリア| |||<死去>ゲオルギオ・アレグリ、イタリアの司祭、作曲家(生年1582年)

1652年2月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「フィリップ・クリストフ」

1652年2月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「カール・カスパール」(~16760601死去)

1652年2月10日-09:00|日本|長崎県大村市|慶安5・承応1年|大村純長、旧円融寺庭園完成

1660迄 (2492件)

1652年2月10日-09:00|日本| ||慶安5年1月|かぶき者のお抱え禁止、幕府
1652年2月19日-09:00|日本|香川県高松市|慶安5年1月10日|高松城西下浜より出火。百間町・塩屋町・東浜町まで
罹災する。武家屋敷22軒、町家481軒焼失
1652年2月23日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ライル子爵フィリップ・シドニー」(~3. 22)
1652年2月23日 00:00|マン島| ||<就任>マン島主「Thomas Fairfax」(~16600529)
1652年3月 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ知事「Huet」(~16520930)
1652年3月8日-01:00|クロアチア| ||<即位>ホーリツァ大公「ステパン・ホーベティッチ」
1652年3月12日 00:00|ガンビア/ラトビア| ||<就任>ケールラント公国セント・アントリュース島総督代行「ハインリヒ・フォック」(1回目~1653
年)
1652年3月18日-09:00|日本|和歌山県|慶安5年2月9日|<慶安5年「紀伊大風」新宮湊の停泊船遭難>熊野川大水、川
口へ大船48艘流れ200余人水死
1652年3月19日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス総督「ダニエル・Searle」(~16600716)
1652年3月22日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ジョン・ライル」(~4. 19)
1652年4月-08:00|インドネシア/オランダ| ||オランダ人は、カン(カン)を押ししコンコレイ岩に名前を変更
1652年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「オットー・オ・ジャンネーニ」「バルトロメオ・チェッリ」
1652年4月6日-02:00|南アフリカ/オランダ| ||<就任>オランダ 領ケープ 植民地司令官(オランダ 東インド 会社)「ヤン・アントニズ・ファン・フ
ン・リーベック」(~16620506)
1652年4月6日-02:00|南アフリカ/オランダ| ||オランダ 人がケープ に上陸し、喜望峰周辺に入植(オランダ 領ケープ 植民地、オランダ
東インド 会社が管理)
1652年4月17日 00:00|イギリス| ||<死去>アランデル伯・サリ伯「ヘンリー・ハワード」
1652年4月17日 00:00|イギリス| ||<就任>アランデル伯・サリ伯「トマス・ハワード」(⇒16601229兼ノーク公に復権~16771213
死去)
1652年4月19日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ローレ」(1期目~5. 17)
1652年4月22日-09:00|日本|新潟県佐渡市|慶安5年3月14日|<佐渡一揆>佐渡奉行伊丹勝長、下役人辻藤右衛門ら
の乱を鎮圧
1652年5月-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウケウ国王「サタ・トゥタ・ンマ」(~16740611)
1652年5月11日-09:00|日本|東京都中央区|慶安5年4月4日|村山座、三代目一村宇左衛門に売る、市村座に改称
1652年5月11日-09:00|日本|徳島県徳島市|慶安5年4月4日|<死去>阿波徳島藩25万7千石「蜂須賀忠英」⇒長男「蜂
須賀光隆」が継ぐ(⇒寛文6年5月27日(16660629)死去)
1652年5月13日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア大市長代理「Diego Francisco de Quero y Fi
gueroa」(~16531229)
1652年5月14日-09:00|日本|東京都|慶安5年4月7日|<死去>村山又三郎/48才(村山座初代座元)
1652年5月17日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ベーン・ジュニア卿」(1期目~6. 14)
1652年5月18日 06:00|アメリカ| ||ロード・アイランド 植民地でアメリカ初の奴隷制違法法が制定
1652年5月19日-01:00|オランダ/イギリス| ||トーヴァー沖でオランダ 艦隊41隻と、イングランド 艦隊22隻が遭遇戦、オランダ 側が
艦艇2隻を失った/第一次英蘭戦争開始
1652年6月 00:00|マン島/イギリス| ||<死去>マン島副知事「Samuel Smith」
1652年6月 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島副知事「Philip Eyton」(~1653年)
1652年6月10日-01:00|ドイツ| ||<死去>リッペ=テートルト伯「ヨハン・ヘルムハルト」
1652年6月10日-01:00|ドイツ| ||<就任>リッペ=テートルト伯「ヘルマン・アドルフ」(~1666年死去)
1652年6月14日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ローク=モンゴメリー伯フィリップ・ハーバート」(
~7. 12)
1652年6月20日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「タホク・アーメド・パシャ」(~16530321)
1652年6月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶安5年5月15日|<就任>大坂城代「水野忠職」(⇒承応3(1654)年3月3日
)
1652年6月21日 00:00|イギリス| ||<死去>ニコージョーンズ、イングランド の建築家(生年1573年)
1652年6月21日-09:00|日本|福井県小浜市|慶安5年5月16日|<松本長操一揆>若狭、小浜藩領内の熊川・新道村の農
民が年貢の引き上げに反対して越訴
1652年7月-01:00|オランダ/イギリス| ||第一次イギリス・オランダ 戦争が勃発
1652年7月 05:00|ハイチ/フランス| ||<就任>フランスのタートル島総督「フォント騎士団ルイ・ダッシュ」(~16540218)
1652年7月2日-01:00|フランス| ||故アンリ4世の3男がストントルアン伯の娘モンパンスエ、バステューの大砲の砲火を開かせ、「サン・タ
ントワヌ門」(4区)を開いて「コンテ 大公」に勝利をもたらす/国王軍を破りパリに入城
1652年7月12日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「デニス・ボント」(1期目~8. 9)
1652年7月13日-08:00|中国| ||清・順治9年6月8日|中国・雲南省弥渡地震(M7. 0)死者3千人
1652年7月17日 00:00|イギリス| ||<死去>ドーセット伯「エドワード・サックヴィル」
1652年7月17日 00:00|イギリス| ||<就任>ドーセット伯「リチャード・サックヴィル」(~16770827死去)
1652年7月30日-01:00|フランス| ||<死去>オマル公・ヌムル公「シャルル・アメデ・ド・サヴォワ=ヌムル」
1652年7月30日-01:00|フランス| ||<就任>ヌムル公「アンリ2世・ド・サヴォワ=ヌムル」シャルル・アメデ の弟(~1657年)
1652年7月30日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|慶安5年6月25日|<領土分与>上総大多喜藩16000石「阿部正能
(正令)」叔父「重次」の遺領6千石を重次の子「定高」に返還⇒1万石(⇒寛文11(1671)年5月25日、武蔵忍藩を相続)
1652年8月9日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ウィリアム・ヒュアフォイ」(~9. 7) Mil
1652年8月16日-01:00|オランダ/イギリス| ||ブリス沖でオランダ 艦隊36隻が、イングランド 艦隊45隻に勝利

1660迄 (2492件)

1652年8月17日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島統治弁務官「James Chaloner」「Robert Dinley」「Jonathan Wighton」「John Sharples」(~1653年)

1652年8月24日-09:00|日本| ||慶安5年7月21日|若衆歌舞伎禁止公布

1652年9月2日-01:00|スペイン| |||<死去>セルベ・ラベ・ラ、スペインの画家(生年1591年)

1652年9月4日-09:00|日本|東京都|慶安5年8月2日|<死去>村田九郎右衛門/31才(二代目市村羽左衛門)

1652年9月6日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ホセ・デ・アスコ・マスカレニャス」(~16531022)

1652年9月7日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ジェームズ・ハリントン卿」(1期目~10.5)

1652年9月8日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「シローモ・デ・フランキ」(~16540908)

1652年9月16日-09:00|日本| ||慶安5年8月14日|幕府が回船救護規則を出す

1652年9月17日-09:00|日本|住友商事|慶安5年8月15日|<死去>住友政友、商人、住友家初代(生年1585年)

1652年9月18日-01:00|オランダ/イギリス| |||オランダ 艦隊59隻は、ケンティシュ・ノックの海戦でイングランド 艦隊68隻に、捕獲2隻、将兵約2000の損害を受けて敗北

1652年9月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治9年8月19日|朝鮮、禁酒令を制定

1652年9月30日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ知事「sieur de Bragelonne」(~16531227)

1652年10月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>イングランド・アイルランド 最高司令官「チャールズ・フリートウッド」(⇒16540802、アイルランド 総督~1657年11月)

1652年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジャコモ・ベルツィ」「イノセント・ボネリ」

1652年10月3日-09:00|日本|東京都新宿区|慶安5年9月|徳川幕府三代将軍徳川家光の側室であったお振の方の霊廟自証院霊屋完成(江戸東京たてもの園へ移築)(東京都)

1652年10月4日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「リジャレ・イン・ムハンマド・シャー」

1652年10月4日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「ムヒディン・マンスール・シャー」(~16620104死去)

1652年10月5日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ウィリアム・コンスタブル卿」(1期目~25日)

1652年10月11日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ 領セイロン総督「アドリアン・ファン・デル・メーデン」(1期目~16600512)

1652年10月13日-01:00|フランス| |||「コンデ 大公」、パリ市民の反発を受けてパリを去り、スペイン領オランダに逃れる/「フロンツの乱」は分裂する

1652年10月15日-09:00|日本|東京都港区|慶安5年9月13日|<承応事件>浪人、別木庄左衛門らが増上寺における崇源院法要での老中襲撃を計画するが発覚

1652年10月20日-09:00|日本| ||承応1年9月18日|改元され承応元年となる

1652年10月23日-09:00|日本|東京都台東区|承応1年9月21日|承応事件の別木庄左衛門ら、浅草で磔となる

1652年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ウィリアム・マサム卿」(~11.22)

1652年10月29日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ヨアヒム・ゲルスト・ルフ・ティル・トゥンベ・ホルム」(⇒16601026総督~16610419没)

1652年11月22日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ウィリアム・コンスタブル卿」(2期目~12.1)

1652年11月30日-01:00|オランダ/イギリス| |||オランダの88隻の艦隊が、ダンジ・叔沖の海戦で、イギリスの42隻の艦隊に撃沈3隻、捕獲2隻の損害を与える勝利

1652年12月3日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿国務長官「ファビオ・キージ」(~16550107)

1652年12月15日-09:00|日本|静岡県沼津市|承応1年11月15日|日典駿河井出蓮興寺を再建

1652年12月21日-09:00|日本|東京都|承応1年11月21日|幕府、火事が多いため江戸市中の風呂屋に営業時間制限令

1652年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ローレ」(2期目~16530126)

1652年12月31日-09:00|日本|岡山県津山市|承応1年12月|<立藩>美作宮川藩18700石「関長政」津山藩から分与(⇒元禄2(1689)年6月6日、隠居)

1653年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「ムザ・ファル・シャー2世」

1653年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Jacob Hustaert」(~1656.5)

1653年-08:00|中国| ||南明・隆武2年12月15日|<即位>ジュンガル・ホンタイジ「センゲ」(~1671年、死去)

1653年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「マフムド・イスカンダル・シャー」(~1720年没)

1653年-05:30|インド| |||<就任>タスハラ国ラジャ「チャクラタル・デ・オ・ハニ」(~1701年)

1653年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「フランシスコ・デ・メロ・エ・カストロ」(~1655年)

1653年-04:00|モーリシャス/オランダ| |||<就任>オランダのモーリシャス植民地司令官「ヨースト・ファン・デル・グー・オトベーク」(~1654年)

1653年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「ムルタザ・パシャ」(~1655年)

1653年-03:00|スーダン| |||<即位>ダルフール・スルタン国スルタン「ラム・サム」(~1684年頃)

1653年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Firari Kara Mustafa Pasha」(2期目~同年)⇒「Vesir Ibshir Mustafa Pasha」(2期目~1654年)

1653年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジョヴァンナント・レ・パ・スクアーリコ」(~1655年)

1653年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「マルコ・モリン」(~1654年)

1653年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Haliczade Mehmed Pasha」(~1655年)

1653年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クア、モノモタパ 総司令官代行「フランシスコ・デ・リマ」(⇒1654年総司令官~1657年)

1653年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領西アフリカ総督「ロドリゴ・デ・ミランダ・エンリケス」

1653年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「アフマド2世バシャ」(1回目~1655年)

1653年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領エクアドル総督「Jose Fernandez de Sotomayor y Lima」(~1661年)

1653年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「バルトロメウ・デ・ウ・アスコセロス・ダ・クーニャ」(~1655年10月)

1660迄 (2492件)

)

1653年-01:00|ベルギー| |||<即位>ベルギー公フィリップ・ガイルヘルム(~1679年)
1653年-01:00|オランダ/インド| |||オランダがチンソーに商館を設置
1653年-01:00|ドイツ| |||プロシヤ選帝侯グイルヘルムと領内のユコが相互利益協定
1653年-01:00|スイス| |||ツェルン、ベルン、ゾットゥルン、バーゼルに属する共同支配地の農民たちが通貨の切り下げに反発して蜂起/反乱軍はツェルンとベルンを囲んだが、やがて和解
1653年 00:00|イギリス| |||<死去>ハントリー侯「ルイス・ゴートン」
1653年 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ツィートデール伯「ジョン・ヘイ」(⇒16941217初代ツィートデール侯~16970811死去)
1653年 00:00|カンピニア/ラトヴィア| |||<就任>ケルラント公国セント・アントリュース島総督「フリート・リヒ・グイルヘルム・フォン・トロツ」(~1654年没)
1653年 00:00|イギリス| |||<就任>ハントリー侯「ジョージ・ゴートン」(⇒16841101兼ゴートン公~17161207死去)
1653年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Matthew Cadwell」(~1656年)
1653年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・コメロ伯「Gaspar 2世 de Ayala y Rojas」(~1662年)
1653年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(6期目~1654年)
1653年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Juan de Samaniego y Xaca」(~1656年)
1653年-08:00|中国| ||南明・隆武2年12月15日|<死去>ジュンガル・ホンタイシ「エルデニ・ハトゥール」
1653年1月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「ロドリゴ・デ・ランカスター」(~16560307)
1653年1月14日-01:00|ポーランド| |||<死去>レグニツァ公「ジョージ・ルトルフ」
1653年1月14日-01:00|ポーランド| |||<就任>レグニツァ公「ジョージ3世」(~1654年),「ルイ4世」(~16631124死去),「クリスチャン」(~1654年)
1653年1月20日-09:00|日本|東京都|承応1年12月21日|江戸歌舞伎興行停止、幕府、人形浄瑠璃も三座、小芝居も
1653年1月26日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ジョン・ブラッドショー」(3期目~2.23)
1653年1月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治10年|朝鮮で太陰暦と太陽暦を結合した時憲暦が施行される
1653年1月29日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・盛徳1年|大越後黎朝8代・神宗が盛徳と改元(-1658)
1653年1月29日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・盛徳1年|大越グエン氏がチャンパを攻め、カンホア(庚和)を併合
1653年1月29日-09:00|日本|北海道|承応2年春|マシクルのヌタインとシュムクルのオニビシが戦い、ヌタインが殺され、マシクル側は大敗。副将ジャクシャイン、松前藩の調停を受け入れてオニビシと和解
1653年2月3日-01:00|フランス| |||宰相マザランがドイツからパリへ帰還し、5年に及ぶフロントの乱が終結
1653年2月5日-09:00|日本|岐阜県可児市|承応2年1月8日|<死去改易>美濃徳野藩1万石「平岡頼資」庶子の新十郎と世子頼重の間に相続争いが起り所領没収/子孫は旗本
1653年2月18日-01:00|オランダ/イギリス| |||ポーランド沖の海戦/トーガー海峡でトロンプ艦隊80隻とブレイク艦隊70隻が3日間にわたって激突/イングランド側が自沈1隻、戦死約300、オランダ側が艦艇17隻を失い、戦死約2000でオランダ大敗
1653年2月19日-01:00|イタリア| |||<死去>ルイジ・デ・ロッシ、イタリアの作曲家(生年1597年頃)
1653年2月19日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ペドロ・ロリス・バゴリ」(~16600526)
1653年2月23日-02:00|トルコ| |||トルコ・イズミル地震、死者1万5千人
1653年2月23日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「トマス・チャーナ」(~3.23)
1653年3月4日 00:00|イギリス| |||<死去>4代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」
1653年3月4日 00:00|イギリス| |||<就任>5代マリ伯「アレクサンダー・ステュアート」先代の息子(~17011101死去)
1653年3月6日-09:00|日本| ||承応2年2月7日|参勤交代の従者の人数を制限
1653年3月21日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国大宰相「タリク・ユ・アフメト・パシャ」財政改革に対する反発から暗殺される
1653年3月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コカ・テルグ・イッシュ・メメト・パシャ」(~16541028)
1653年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「デニス・ボント」(2期目~5.2)
1653年3月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザムエル・シャイト、ドイツの作曲家(生年1587年)
1653年3月28日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「フランシスコ・セルダ・イ・カラタト」(~16540623没)
1653年3月29日-09:00|日本| ||承応2年3月|幕府、歌舞伎興行の再開を許可。野郎歌舞伎始まる
1653年3月29日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|承応2年3月|<開業>中之芝居(道頓堀、→中座)
1653年4月-05:30|インド| |||アグワ城内のモティ・マシットが完成
1653年4月 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハートフェル伯「ジェームズ・ジョンストン」
1653年4月 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハートフェル伯「ジェームズ・ジョンストン」(⇒1661年兼初代アナンデイル=ハートフェル伯~1672年死去)
1653年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロドヴィコ・ベルツィ」
1653年4月3日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ゲオルゲ・シュテファン・ドゥミトラシュク」(1回目~28日)
1653年4月21日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ペドロ・フェリス・バレット」(~1658年)
1653年4月28日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ヴァシレ・ニコラエ・ル」(2回目~7.8)
1653年4月28日-09:00|日本|三重県鳥羽市|承応2年4月23日|<死去>志摩鳥羽藩35000石(老中)「内藤忠重」→家督を長男「内藤忠政」が継ぐ(⇒寛文13(1673)年7月12日、死去)
1653年4月30日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦4月20日|クロムウェルがラング議会を武力解散し、指名議会が開会される
1653年5月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「グイルヘルム・ウルリッヒ」(1回目~8.16)
1653年5月1日-09:00|日本|栃木県日光市|承応2年4月4日|3代將軍徳川家光の霊廟である大猷院廟落成
1653年5月2日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ジョン・ランバート」(~9日)

1660迄 (2492件)

1653年5月9日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ギルバート・ヒュッカリグ卿」(1期目~13日)Mil
1653年5月13日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ブラジル公(王位継承者、ポルトガル公を改称)・ブラガンサ公・4代バルセロス公・8代ヴィラ・ウイソザ侯・13代オレム伯・10代アラヨロス伯・10代ネイヴァ伯「テオドシオ」
1653年5月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラジル公(王位継承者)・ブラガンサ公・5代バルセロス公・9代ヴィラ・ウイソザ侯・14代オレム伯・11代アラヨロス伯・11代ネイヴァ伯「Afonso」国王ジョアン4世の三男(~16561106国王即位~16830912死去)
1653年5月18日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ 領東インド 総督「Carel Reyniersz」
1653年5月18日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド 総督「Joan Maetsuycker」(~16780104)
1653年5月19日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<死去>オランダ 領東インド 総督「Carel Reyniersz」
1653年5月19日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド 総督「Joan Maetsuycker」(~16780104死去)
1653年5月19日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「エルズビエタ・ルクツィア」
1653年5月19日-01:00|ポーランド| |||<就任>チェシ公「ホヘミヤ王フェルディナント」(~16540709死去)
1653年5月27日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ジョン・デ・スホー」(~6. 10)
1653年5月31日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・ドイツ王・イタリア王「フェルディナント4世」フェルディナント3世の子、フェルディナント3世の共治王(~16540709死去)
1653年6月2日-01:00|オランダ/イギリス| |||(~3日)オランダ 艦隊92隻は、ガバート沖の海戦で、イギリス艦隊105隻と来援した艦隊18隻の攻撃で、沈没10隻、捕獲11隻の損害を受けて敗退
1653年6月14日-01:00|ベルギー| |||<即位>ベルグ公「フィリップ・ヴィルヘルム」フアルツ=ノイブルク公、ユーリ公(~1679年)
1653年6月24日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「フィリップ・ジョンズ」(~7. 5)Mil
1653年6月27日-09:00|日本|山梨県甲州市|承応2年6月3日|<死去>甲斐徳美藩12000石「伊丹康勝」⇒長男「伊丹勝長」が継ぐ(⇒寛文2年3月27日(16620515)、殺害される)
1653年6月30日-09:00|日本| |||承応2年6月6日|<承応2年尾張・伊勢・紀伊風水害>夜半より7日朝まで大風吹き、家々破損し、所々の大木、根を横たえ、或いは中より吹き折れる/御殿主白土(名古屋城天守閣の白壁)落ち、矢蔵(倉)多門大分破損、犬山の御殿主(犬山城天守閣)は鮑落ち、門々のかんぬき吹き折れ、堀矢蔵破損多し/御領国中にて、在々所々の民家、二万二千軒つぶれ家あり、人馬あやまち其の数多く、死する者は僅かなり/隣国の、紀州熊野浦にかかりし貢米(江戸の幕府に収める上納米)の船五艘、その外、浦々の船二百五十艘が破損、材木六万千八百本流失し、伊勢民家千五百三十(軒)崩れ、各河川出水し堤防四千五百五十間(約8. 3km)壊れ、27人が死亡/尾張も含め2万4000軒に及ぶ民家が倒壊した大災害
1653年7月-01:00|オランダ| |||ヤン・デ・ウィットが、事実上のオランダ 共和国首相にあたるホント州法律顧問に満場一致で選出された
1653年7月 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領土暫定総督・総司令官・大審問院長「ファン・モリス・デ・アランプル」(~1655年7月)
1653年7月5日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国最高権力機関総裁「フランス・ラウス」(~6日)
1653年7月6日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国議会議長「フランス・ラウス」(~12. 12)
1653年7月8日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ゲオルゲ・シュテファン・ド・ウミトラシュ」(3回目~16580303)
1653年7月8日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ギルバート・ヒュッカリグ卿」(2期目~21日)Mil
1653年7月14日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦7月4日|クロムウェルが「聖者の議会」を召集
1653年7月17日-09:00|日本|京都府京都市上京区|承応2年6月23日|禁裏炎上、官殿悉く焼亡
1653年7月18日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|承応2年6月24日|宇和島藩主伊達宗利、和霊神社を創建
1653年7月20日-01:00|フランス| |||フランス王の親王はフロント派として戦い続けていたがベズナスの和睦により全ての軍を退き、これによりフロントの乱は終結
1653年7月21日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「エドワード・モンタギュー」(1期目~8. 4)Mil
1653年7月25日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「サニャ・マンリケ・デ・ラウ」(~16630908)
1653年7月26日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「クリストバル・デ・ガライ サベドラ」(~16560825)
1653年7月29日-09:00|日本|東京都千代田区|承応2年閏6月5日|<就任>老中「酒井忠清」(~1666年3月29日)
1653年7月31日-01:00|オランダ/イギリス| |||オランダ 艦隊85隻はテル水道に閉じ込められていた31隻と合流し、イングランド 艦隊104隻と決戦/トロンプは戦死し、オランダ 艦隊は約30隻を失って港へと逃げ帰った
1653年8月1日-09:00|日本|山形県鶴岡市|承応2年閏6月8日|<死去改易>出羽丸岡藩1万石「加藤忠広」無嗣により断絶
1653年8月15日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「アルブルカキ公フランシスコ・フェルナンド・デ・ラ・ケバ」(~16600915)
1653年8月16日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ハインリヒ・フォン・トゥールン=ヴァルサツナ」(~1655年)
1653年8月17日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「アンソニー・アシュリー・ケパー卿」(~31日)
1653年8月21日-09:00|日本| |||承応2年閏6月28日|秤座、設置
1653年8月24日-09:00|日本|山口県下関市|承応2年7月2日|<死去>長門長府藩6万石「毛利光広」⇒10月、長男「毛利綱元」が継ぐ(叔父「毛利元知」に清末藩1万石を分与立藩し5万石⇒宝永6(1709)年3月1日、60歳で死去)
1653年8月31日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ロバート・ティッチボーン」(~9. 14)
1653年9月9日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルン「サリ・ケナン・パシャ」(~16550911没)
1653年9月14日-01:00|ドイツ/ベルギー/オランダ| |||<死去>ユーリ=クレフェ=ベルグ連合公・フアルツ=ノイブルク公「ヴォルフガング・ヴィルヘルム」
1653年9月14日-01:00|ドイツ/ベルギー/オランダ| |||<即位>ユーリ=クレフェ=ベルグ連合公・フアルツ=ノイブルク公「フィリップ・ヴィルヘルム」(~1679年~16900902死去)
1653年9月21日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|承応2年7月30日|大坂の青物市場が手狭になったため、京橋北詰

1660迄 (2492件)

片原町から天満に移転

- 1653年9月23日-09:00|日本|広島県広島市|承応2年8月2日|暴風雨により安芸で洪水が起こり広島城郭破損、9橋、5140軒が流出
- 1653年9月26日-09:00|日本| ||承応2年8月5日|<承応2年西日本暴風雨>肥後、長門、安芸各藩に大被害/肥後藩が台風が運んできた潮風や高潮によって田畑が大損害を負い、その損耗石高は8万4160石余、暴風雨により41人が死亡、倒家(住家倒壊)6万4547軒、破船(船舶損壊)142隻の被害を負った/長州藩が、倒家1万1220軒、死人106人、破損舟(船舶損壊)447艘、倒塩屋(塩田の塩加工所の倒壊)620軒、6万1878石の田が損害/芸州藩の被害は、民家流没(住家流失)5100余軒、人民の溺死数え切れないほど多い、特に広島城内の損害は大きく、西白島御材木場四角堀と白島東町の堤防が太田川の氾らんで破壊され、河水が城中に流れ込み邸宅を浸すこと7尺(約2m)、二重櫓1基、平櫓1基崩壊し、京口御門の如きは、其の門柱、扉とともに流失し、石壁櫓台などの破壊するもの93間(約170m)、城壕の壅塞(埋没)するもの3か所、城下の諸橋みな墜つという惨状
- 1653年9月28日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「チャールズ・ハワード」(~16531004) Mil
- 1653年10月 06:00|アメリカ/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン領ニュースウェーデン総督「ヨハン・ハベ・ゴッヤ」(~1654. 5)
- 1653年10月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「マルアントニオ・ホネッティ」「ボン・ペ・イ・ゾリ」
- 1653年10月4日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ウィリアム・デナム」(~16531103)
- 1653年10月22日-05:30|インド/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領インド 総督「ブラステ・カストロ」(~16550823死去)
- 1653年11月3日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「エドワード・モンタギュー」(2期目~12. 6) Mil
- 1653年11月5日-05:30|インド| ||<即位>ゴワ・スルタン「I Mallombassi Daeng Mattawang Karaeng Lakiyung Bonto Mangape Sultan Hasanuddin」(~16690617)
- 1653年11月11日-09:00|日本|京都府京都市|承応2年9月21日|<就任>関白「二条光平」
- 1653年11月20日-09:00|日本|山口県下関市|承応2年10月|<分与立藩>長門清末藩1万石「毛利元知」(⇒天和3(1683)年閏5月14日、死去)
- 1653年11月26日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パタイン代行「ラースロー・ケル・サキ・キョレシュ・ギ・エス・アド・ルジャニ」(~16541014)
- 1653年11月28日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|承応2年10月9日|<分与立藩>大和国郡山新田藩1万石「本多政信」(⇒寛文2年4月20日(16620606)、29歳で死去)
- 1653年11月28日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|承応2年10月9日|<分与立藩>大和国郡山新田藩3万石「本多政長」(⇒寛文11(1671)年10月30日、大和国郡山藩9万石を相続し12万石)
- 1653年12月 00:00|イギリス| ||<死去>3代ハントリー侯「ルイス・ゴートン」
- 1653年12月 00:00|イギリス| ||<就任>4代ハントリー侯「ジョージ・ゴートン」(⇒16841101兼初代ゴートン公~17161207死去)
- 1653年12月3日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|承応2年10月14日|<死去改易>但馬豊岡藩1万石「杉原重玄」無嗣断絶
- 1653年12月6日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ウォルター・ストリックランド」(~10日)
- 1653年12月10日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ローレンス」(~16590519)
- 1653年12月12日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド 共和国提督・最高司令官「オリヴァー・クロムウェル」(2期目⇒16日護国卿~16580903) Mil
- 1653年12月21日 00:00|イギリス| ||<死去>初代チェスター伯「フランス・リー」
- 1653年12月21日 00:00|イギリス| ||<就任>2代チェスター伯「トマス・リス・リー」4代ササンプトン伯(~16670516死去断絶)
- 1653年12月22日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦12月12日|イギリス、軍指令官クロムウェルらのクーデターで議会は解散
- 1653年12月26日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦12月16日|<就任>イングランド 共和国護国卿「オリヴァー・クロムウェル」ロバート・クロムウェルとエリザベス・ステュワートの男子(~16580903死去59歳)
- 1653年12月27日 03:00|仏領ギアナ/オランダ| ||<就任>ギアナのオランダ 知事「Daniel Guerin Spranger」(~1660年)
- 1653年12月27日 03:00|仏領ギアナ/オランダ| ||ギアナをオランダ が占領(~16640515)
- 1653年12月29日 04:30|ベネズエラ/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネズエラ大市長「Gonzalo de los Rios Almendariz de Rebolledo + Melchor de la Riva Herrera y Gamez」(~16540101)
- 1654年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ 総督代理「Simon Cos」(2期目~1656年)
- 1654年-08:00|マレーシア| ||<即位>ペラ・スルタン「マフムド・イスカンダル・シャー・アウリアウッラー」(~1720年没)、摂政「スルタナ・ラトゥ・タジユル・アラム」(~16751009没)
- 1654年-05:30|インド/オランダ| ||サトラスはオランダ の所有物(~1825年)
- 1654年-05:30|インド| ||シャー・ジャハーン時代の正史が成る
- 1654年-04:00|モリシヤス/オランダ| ||<就任>オランダ のモリシヤス植民地総督「マクシミリアン・デ・ヨング」(~1656年)
- 1654年-04:00|レユニオン/フランス| ||フランスがブルボン島(レユニオン)を占領
- 1654年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサンドリア(総督)「Tayyarzade Mustafa Pasha」(~同年)
- 1654年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>カンティニア王国総督「アントニア・コナー」(~1655年)
- 1654年-02:00|ルーマニア| ||<即位>ワキア公「コンスタンチン1世」(~1658年)
- 1654年-02:00|南アフリカ/ポルトガル| ||ナタール州のWise Kings要塞が、ポルトガル軍の手に落ちる
- 1654年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「テラク・ムスタファ・パシャ」(~16560228)
- 1654年-01:00|オランダ/ブラジル| ||オランダ 勢力がブラジルから撃退される
- 1654年-01:00|ドイツ| ||ドイツのゲーリケがマグデブルクの半球実験をおこなう
- 1654年-01:00|フランス/ハイチ| ||フランス人バカニアがイスパニョラ島の北西部に移住開始
- 1654年-01:00|アンゴラ/オランダ/ポルトガル/ブラジル| ||ポルトガル、オランダ との海戦に勝利。ブラジル、アンゴラの植民地を回復
- 1654年 00:00|イギリス| ||<死去>3代マー伯「ジョン・アースキン」
- 1654年 00:00|フェロ諸島| ||<死去>フェロ諸島 首席大臣「Joen Justinussen」

1660迄 (2492件)

1654年 00:00|イギリス| |||<就任>4代マー伯「ジョン・アースキン」(~1668.9死去)
1654年 00:00|カンビア/ラトビア| |||<就任>ケルラント公国セント・アントニウス島総督代行「ハインリヒ・フォック」(2度目~8月)
1654年 00:00|フェロ諸島| |||<就任>フェロ諸島首席大臣「Joen Poulsen」(1期目~1655年)
1654年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サンタマリア島ドナトリオ長官「Joao Falcao de Sousa」(~16571212死去)
1654年 03:00|スリナム/イギリス| |||<就任>ウィロビー=ランド 総督「ウィリアム・バートラム」(~16670227)
1654年 04:00|セントルシア/フランス| |||<死去>フランス領サント・ルーシ副総督「ルイ・ド・クレンコ・アント・ド・ルゼン」
1654年 04:00|セントルシア/フランス| |||<就任>フランス領サント・ルーシ総督「ラ・リグ・イエール」(~同年没)⇒「ジャン・ハケ」(~1656年没)
1654年 04:00|グレナダ| |||グアドループの地主ジャル・ウェルはグレナダを占拠し、カリブ人を皆殺しにする/カリブ族は、マルティニク島、サント島を一時制圧するなど果敢に反撃
1654年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(8期目~1655年)
1654年 06:00|アメリカ| |||イロコイ族とエリ族が毛皮交易をめぐり部族間で戦争
1654年 06:00|エルサルバドル/ポルトガル| |||ポルトガル軍と現地クオ・ジョのゲリラ、オランダ守備隊を打ち破り西インド会社撤退に成功/エルサルバドル・デ・バヤ(現サルバドル)に首都を定める
1654年 06:00|ニカラガ| |||ミスキト族、ヌエボセボ地方を襲撃
1654年1月-01:00|フランス/スペイン/トミカ共和国| |||スペイン人がみたびトルーガ島を奪還。フランス人海賊を駆逐
1654年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア大市長「Luis Arias de Altamirano y Aragon + Pedro Alonso Hurtado de Monasterios y Mendoza」(~6.14)
1654年1月6日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アントニオ・伯爵ジョゼ・モテ・アタイデ」(~16570620)
1654年1月13日-01:00|フランス| |||<死去>ジャック・ルメルシエ、フランスの建築家(生年1585年頃)
1654年1月17日-01:00|フランス| |||<死去>パウル・ホッテル、オランダの画家(生年1625年)
1654年1月21日-09:00|日本|長野県飯田市|承応2年12月3日|<死去>信濃飯田藩55000石「脇坂安元」⇒養子「脇坂安政」が継ぐ(2000石を弟「脇坂安総」に分知し53000石⇒寛文12(1672)年5月、播磨龍野藩53000石に転封)
1654年1月24日-01:00|ルクセンブルク/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルク 総督兼総司令官「シメイとクロイ・ダレンベルク公フィリップ・ド・リーニュ・アレンベルク」(~16750112没)
1654年1月26日-01:00|オランダ/ポルトガル| |||レソフェのオランダ軍、ポルトガル艦隊に降伏。姉妹条約締結。オランダはレソフェのほかParaiba, Ceara, Rio Grande do Norte, Itamaraca, Fernando de Noronhaなどの植民地も手放すこととなる
1654年1月28日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||ポルトガルがレソフェ奪還
1654年2月3日-09:00|日本|広島県広島市|承応2年12月16日|広島藩、キリシタン7人を処刑
1654年2月6日-01:00|イタリア| |||<死去>フランチェスコ・モッキ、イタリアの彫刻家(生年1580年)
1654年2月8日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「ジョン・タルボット」
1654年2月8日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリー伯・ウォーターウード 伯「フランシス・タルボット」先代の息子(~16680316死去)
1654年2月17日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・盛徳2年|<即位>パントウナグ王「Po Saktiraydapagho」(~1657年)
1654年2月18日 05:00|ハイチ/スペイン| |||スペインによるトルーガ島占領(~16550808)
1654年2月24日-09:00|日本|愛知県刈谷市|承応3年1月26日|<死去>三河刈谷藩23000石「稲垣重綱」⇒3月、嫡孫「稲垣重昭」が継ぐ(従弟「稲垣昭友」に3000石を分与し2万石⇒貞享5(1688)年2月23日、隠居)
1654年3月3日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)代行「クリストパ・サビシヤ」(⇒4.11大元帥~16691111)
1654年3月5日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ムハンマド・ベグ」(~16610125)
1654年3月14日-09:00|日本|東京都千代田区|承応3年1月26日|<解任>老中「松平乗寿」
1654年3月19日-09:00|日本|群馬県館林市|承応3年2月1日|<死去>上野館林藩6万石「松平乗寿」⇒長男「松平乗久」が継ぐ(⇒寛文元(1661)年閏8月、下総佐倉藩へ移封)
1654年3月30日-09:00|日本|福岡県福岡市|承応3年2月12日|<死去>筑前福岡藩43万3000石「黒田忠之」⇒長男「黒田光之」が継ぐ(⇒延宝5(1677)年2月28日、子「綱政」を嗣子としその領地4万石を収公し473100石)
1654年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「フルクンツィオ・マッジョーニ」「ジャンノッティ・クリストファー」
1654年4月6日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||ヘチマン国、ロシアの主権下
1654年4月15日-01:00|オランダ/イギリス| |||ユリウス暦4月5日|ロンドンで、イギリスとオランダの間でウェストミンスター条約が締結され、2年間にわたった第1次英蘭戦争が終結
1654年4月17日-04:00|ロシア/中国/韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治11年3月|清の要請で朝鮮が寧古塔(吉林)に鳥銃兵を派遣しロシアと戦う
1654年4月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|承応3年3月3日|<就任>大坂城代「内藤忠興」(⇒明暦2(1656)年3月8日)
1654年4月24日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「サンティアゴ・侯爵デ・イニシオ・ペレス・マンリケ」(1回目~16590629)
1654年5月-04:00|ロシア/ウクライナ| |||ウクライナ・コサックはモスクワ公国の大公の保護下に入る形で、ポーランドとモスクワ大公国によって分割された
1654年5月 06:00|アメリカ/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領ニュースウェーデン総督「ヨハン・クラッツ・リシグ」(~16550915、ニュースウェーデンはニューネーデルラントに併合)
1654年5月3日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「リチャード・ベリンガム」(~16550523)
1654年5月3日-09:00|日本|宮城県仙台市|承応3年3月17日|<創建>仙台東照宮/伊達忠宗
1654年5月14日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「サンティアゴ・デ・カリマヤ伯爵フェルナント・デ・アルタミラノ・イ・ベラスコ」(~16570328没)

1660迄 (2492件)

1654年5月16日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治11年4月|朝鮮が慶源で中国との開市貿易を再開
1654年5月17日-01:00|イタリア| ||ベネチア、ターダネルス海峡の激戦
1654年5月20日 04:00|トリニダード・トバゴ/ラトビア| ||ケールラント(現ラトヴィア)植民地ニュー・ケールラントがヤコブ・シュタット(現プリマス)北西海岸に完成
1654年6月4日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの宮廷建築家ジャック・ル・メルシエがパリで(1585頃~)
1654年6月6日-01:00|スウェーデン/フィンランド| ||<即位>スウェーデン王国国王・フィンランド公「カル10世」(~16600213死去37歳)
1654年6月6日-01:00|スウェーデン/フィンランド| ||<退任>スウェーデン王国国王・フィンランド公「クリスティーナ」
1654年6月8日-09:00|日本|京都府宮津市|承応3年4月23日|<交替>丹後宮津藩7万8200石「京極高広」隠居⇒長男「京極高国」が継ぐ(⇒寛文6(1666)年5月3日、親子不和・悪政を理由に改易)
1654年6月10日-01:00|イタリア| ||<死去>アレサント・ロ・アルカレティ、イタリアの彫刻家、建築家(生年1595年)
1654年6月14日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督「Martin de Robles y Villafane」(~16551020)
1654年6月18日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「デ・イコ・デ・レボレト・イ・スアレス・デ・アホント」(~16590220)
1654年6月24日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官代行「ペドロ・ガルシア・モンタニェス」(~28日)
1654年6月25日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|承応3年5月11日|<死去>大和龍田藩1万石「片桐為元」44歳⇒長男「片桐為次」が継ぐ(⇒明暦元(1655)年11月06日無嗣断絶)
1654年6月27日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヨハン・ヴァレンティン・アンドレーエ、ドイツの著作家、神学者(生年1586年)
1654年6月28日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官代行「アンフ・ロゾ・デ・ソトロンゴ・サラサール」(~16550608)
1654年7月8日 04:00|グアテマラ/フランス| ||<就任>グアテマラ知事代理「de Boisseret」(~1656年)
1654年7月8日 06:00|アメリカ| ||最初のユダヤ人移民がニュー・アムステルダムに移住
1654年7月9日-01:00|ドイツ/オーストリア/チェコ/イタリア/ハンガリー| ||<死去>神聖ローマ皇帝・ドイツ王・イタリア王・ハンガリー国王・ボヘミア王「フェルディナント4世」
1654年7月9日-01:00|ポーランド| ||<死去>チェシ公「ボヘミア王フェルディナント」
1654年7月9日-01:00|ポーランド| ||<就任>チェシ公「皇帝フェルディナント3世」(~16570402死去)
1654年7月10日-02:00|ウクライナ| ||<死去>クリミア・ハン国ハン「イスラム3世ギレイ」
1654年7月10日-02:00|ウクライナ| ||<復位>クリミア・ハン国ハン「メフメト4世ギレイ」(2期目~1666年)
1654年7月21日-08:00|中国| ||清・順治11年6月8日|夜に甘肅、天水地震/M8、死者3万1,000人
1654年7月30日-09:00|日本|広島県広島市|承応3年6月17日|広島城下大工町より出火し、比治山町・茅屋町に延焼、民家300軒余焼失
1654年8月 00:00|ガボン/ラトビア| ||<就任>ケールラント公国セント・アントリュース島総督「ヴィルヘルム・フィリップ・フォン・ザイツ」(~1655年)
1654年8月2日-09:00|日本|東京都|承応3年6月20日|<完成>江戸、玉川上水
1654年8月17日 11:00|日本/中国| ||承応3年7月5日|夜、黄檗派の明・福建省の唐僧隠元(63)が長崎港に着く/鄭成功が準備した船に30人の供と乗り3年の約束で来崎(翌朝、唐三寺の僧俗に迎えられ興福寺に晋山、住持となる)/独言性聞以下の弟子たちや諸種の職人など30余人を伴う
1654年8月27日-09:00|日本|京都府京都市|承応3年7月15日|<死去>二代大橋宗古、将棋指し、二世名人(生年1576年)
1654年9月 04:00|トリニダード・トバゴ/オランダ| ||オランダ植民地ニュー・ウォルヘルンがオランダ・西インド会社によりランブ・シン兄弟に特許を与えられトバゴ・南西海岸に再建
1654年9月13日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦9月3日|議会在召集され、クロムウェルと軍隊の独裁に対抗
1654年9月16日-09:00|日本|和歌山県田辺市|承応3年8月6日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤義門」⇒11月11日、養子「安藤直清」が継ぐ(⇒元禄5(1692)年3月15日、死去)
1654年9月23日 04:00|グレナダ/フランス| ||<就任>グレナダ総督「ルイ・ド・カクレト・ヴァルメニール」(~1658年)
1654年9月27日-01:00|フランス| ||<死去>ジョウユース公「Louis de Lorraine」
1654年9月27日-01:00|フランス| ||<即位>ジョウユース公「Louis Joseph de Lorraine」(~16710730死去)
1654年10月-01:00|スペイン| ||<死去>フランス・コリア・デ・アラホ、スペインの聖職者、作曲家、オルガニスト(生年1584年)
1654年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・トニーニ」「パオロ・アントニオ・オフリ」
1654年10月3日-01:00|リヒテンシュタイン| ||<就任>ファド・ウツ執行官「ヤコブ・フリードリヒ・ハップス・フォン・トラッツベルク」(~1657年)
1654年10月9日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アレサント・ラ・スピノラ」(~16561009)
1654年10月12日-01:00|オランダ| ||<死去>カル・ファブ・リツィウス、オランダの画家(生年1622年)
1654年10月12日 09:30|オランダ| ||<デルフト大爆発>午前10時半、オランダのデルフトで火薬庫に蓄えられていた40tの火薬が爆発、市街の大部分が破壊され100人以上が死亡
1654年10月14日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国ハプスブルグ代行「イシュトヴァーン・グラーフ・サキ・キョレシュゼギ・エス・アトルジヤニ」(~16550315)
1654年10月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「李時白」(~16550721)
1654年10月21日 00:00|イギリス| ||<就任>初代インチキン伯「マロー・オブ・ライオン」(~16740909死去)
1654年10月28日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「イブシ・ムスタファ・パシャ」(~16550511)
1654年10月30日-09:00|日本|京都府京都市|承応3年9月20日|<死去>110代後光明天皇(22, 誕生:寛永10(1633)0312)

1660迄 (2492件)

1654年12月4日-09:00|日本|静岡県藤枝市|承応3年10月26日|<死去>駿河国田中藩25000石「西尾忠昭」⇒嫡男「西尾忠成」が継ぐ(叔父「忠知」に5000石を分与し2万石⇒延宝3年6月12日(16750803)、叔父「忠知」死去により5000石還付され25000石)

1654年12月9日-09:00|日本|京都府京都市東山区|承応3年11月|<再建>京都八坂神社本殿

1654年12月19日-09:00|日本|佐賀県小城市|承応3年11月11日|<死去>肥前小城藩73000石「鍋島元茂」⇒長男「鍋島直能」が継ぐ(⇒延宝7(1679)年12月、隠居)

1655年-08:00|インドネシア| ||<即位>テルナテ・スルタン「Mandar Shah」(~1675年)

1655年-07:00|タイ| ||<即位>マンラーイ朝ランナー王「セーンアソ」(~1659年)

1655年-05:30|インド| ||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・カマル」(~1656年)

1655年-05:30|スリランカ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セイロン総督「アントニオ・デ・ソウサ・コウチニョ」(~1656年)

1655年-05:00|パキスタン| ||<即位>カトゥール朝国王「Sangeen Ali 2世」

1655年-05:00|パキスタン| ||<即位>バルティスタン国王「ムト・カーン」(~1663年)

1655年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「アク・モハンマド・パシャ」(~1656年)

1655年-03:00|シブチ| ||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「カミル・ビン・フハン」

1655年-03:00|シブチ| ||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「ハマト・ビン・デニ」

1655年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Kara Mustafa Pasha」(~同年)⇒「Seydi Ahmed Pasha」(~同年)⇒「Murtaza Pasha」(~同年)

1655年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| ||<就任>ヴェネツィアのカンティア公「ジローモ・リッポマーノ」(~1657年)

1655年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| ||<就任>カンティア王国総督「フランチェスコ・モロシーニ」(~1657年)

1655年-02:00|エストニア/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「ヴィルヘルム・ウルリッヒ」(2回目~8月)

1655年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gazi Pasha Shahsuvar-odjlu」(~同年)⇒「Haseki Mehmed Pasha」(2回目~1656年)

1655年-02:00|リトニア/スウェーデン| ||サメギティアはスウェーデンに占領された(~1656年)

1655年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのバシャ「イブラヒム・パシャ」(1回目~1656年)

1655年-01:00|クロアチア| ||<即位>ポルツァ大公「ジュレ・シノッチ」(~1676年)

1655年-01:00|オランダ| ||アムステルダムで奢侈禁止令が颁布

1655年-01:00|フランス/イギリス| ||フランスとイギリスが同盟

1655年-01:00|アルバニア/トルコ| ||プロントをオスマン帝国が占領(~1660年)

1655年 00:00|ギリシア/ポルトガル| ||<就任>カチュー司令官「マヌエル・パコス・デ・フィゲロア」⇒「フランシスコ・ペレイラ・ダ・クーニャ」(~1657年)

1655年 00:00|ガボン/ラトビア| ||<就任>ケルラント公国セント・アントニウス島総督代行「オットー・シュティール」(1回目~1657年2月)

1655年 00:00|ガナ/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン・ゴールド・コースト総督「ヨハン・フリッポ・フォン・クルセンスティエルナ」(~16580127)

1655年 00:00|フェロー諸島/デンマーク| ||<就任>フェロー諸島司令官「コペンハーゲン」「Christoffer Gabel」(~16700418)

1655年 00:00|フェロー諸島| ||<就任>フェロー諸島首席大臣「Balzer Jacobsen」(~1662年)

1655年 00:00|フェロー諸島/デンマーク| ||<就任>フェロー諸島領土執達吏「トスハウ」「Baltzer Jacobson」(~同年)

1655年 00:00|モロッコ| ||<即位>マラケシュ政権「アフマド・エル・アッハース」(~1659年)

1655年 05:00|ハイチ| ||7千のイギリス軍、エスパニョラ島を攻撃するも失敗

1655年 05:00|キューバ| ||グラント、サンティアゴ・スピリトゥスを襲撃

1655年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<再任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(7回目~同年)⇒「トマス・ウェルズ」(1回目~1656年)

1655年 06:00|アメリカ| ||ニューアムステルダムでピーチ戦争が始まる

1655年1月5日-09:00|日本|京都府京都市|承応3年11月28日|<就任>京都所司代「牧野親成」(⇒1668(寛文8年05月16日))

1655年1月5日-09:00|日本|京都府京都市|承応3年11月28日|<踐祚>111代後西天皇/明暦2年1月23日即位(~16630126)

1655年1月5日-09:00|日本|千葉県野田市|承応3年11月28日|<加増>下総関宿藩17000石「牧野親成」+1万石⇒27000石(⇒明暦2(1656)年8月5日、所領を河内・摂津国内27000石に移封)

1655年1月6日-01:00|ドイツ| ||<死去>プファルツ=ジンメルン=カイザースラウテルン公「ルートヴィヒ・フィリップ」

1655年1月6日-01:00|ドイツ| ||<即位>プファルツ=ジンメルン=カイザースラウテルン公「ルートヴィヒ・ハインリヒ・モリッツ」(~16740103死去33歳)

1655年1月7日-01:00|バチカン| ||<死去>第236代ローマ教皇「インノケンティウス10世」80歳(誕生15740506)

1655年1月15日 00:00|イギリス| ||<死去>初代オモンド伯「アーサー・ルト・ダグラス」

1655年1月19日-09:00|日本|香川県高松市|承応3年11月28日|松平家菩提寺浄願寺が落成。夜出火して新建の客殿庫裏などを焼失。鐘楼・表門・唐門は焼残る

1655年1月23日-09:00|日本|新潟県長岡市|承応3年12月16日|<死去>越後長岡藩74000石「牧野忠成」⇒嫡孫「牧野忠成」が継ぐ(⇒延宝2(1674)年5月27日、40歳で死去)

1655年1月30日 00:00|モロッコ| ||<死去>モロッコ・スルタン(統一政権)「ムハンマド・エッシェイク・エス・セギール」

1655年1月30日 00:00|モロッコ| ||<即位>モロッコ・スルタン(統一政権)「アフマド・エル・アッハース」(~1659年)

1655年2月 04:00|刊/スペイン| ||<就任>刊総督「フランシスコ・デ・ラ・フエンテ・ビリャロホス」(~1656年)

1655年2月1日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦1月22日|クロムウェルが議会を解散

1655年2月16日-08:00|モンゴル/ロシア| ||モンゴルのオイト・ホドにロシアの宗主権が認められ、ヴォルガの東岸をサマラまで、西岸をツァリツィン(現在のヴォルゴグラード)まで活動することを許された

1660迄 (2492件)

1655年2月17日-09:00|日本|京都府京都市|承応4年1月11日|幕府上皇宮の条規を定める
1655年2月24日 05:00|ペル/スペイン| |||<就任>ペル副王「アルバ・デ・リスト伯爵ルイス・エンリケ・デ・グスマン・イ・コレスマ」(~16611231)
1655年2月25日-01:00|オランダ| |||<死去>ダニエル・ハイソウス、オランダの古典学者、詩人(生年1580年)
1655年2月27日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「フランチェスコ・モリ」
1655年3月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Jose de Novoa y Moscoso」(~16600815)
1655年3月15日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラティン「フェレンツ・ゲルフ ウェッセルレーニ・ハバデー・イス・ムラニ」(~16670323没)
1655年3月18日-09:00|日本|大分県玖珠郡玖珠町|承応4年2月11日|<死去>豊後森藩14000石「久留島通春」⇒長男「久留島通清」が継ぐ(第2人に計1500石を分知12500石⇒元禄13年9月29日(17001109)死去)
1655年3月25日-01:00|オランダ| |||オランダのC・ホイヘンスが土星の衛星タイタンを発見
1655年3月27日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「カルロ・コンタリーニ」(~16560501死去)
1655年3月28日-09:00|日本|広島県福山市|承応4年2月21日|<死去>備後福山藩10万1000石「水野勝俊」58歳⇒長男「水野勝貞」が継ぐ(⇒寛文2年10月29日(16621209)、38歳で死去)
1655年3月30日 00:00|イギリス| |||<死去>リッチモンド公・レノックス公・マチ伯・ダーンリー伯「ジェームズ・ステュアート」
1655年3月30日 00:00|イギリス| |||<就任>2代リッチモンド公・5代レノックス公・マチ伯「エスメ・ステュアート」先代の子(~16600810死去)
1655年4月 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>アングラ・ド・ナトリア長官「Luis de Portugal」
1655年4月 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||アングラはポルトガル王が没収(~1663年)
1655年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「カルロ・ロリ」「スフォルツァ・シオーニ」
1655年4月7日-01:00|バチカン| |||<就任>第237代ローマ教皇「アレクサンデル7世」(~16670522死去)
1655年4月7日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン枢機卿國務長官「ジュリオ・ロスピリオージ」(~16670522)
1655年4月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Ernst Casimir」
1655年4月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Frederick」(~16750908死去)
1655年4月22日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Pedro da Silva da Cunha」(~16601202)
1655年4月26日-09:00|日本|福岡県久留米市|承応4年3月20日|<死去>筑後久留米藩21万石「有馬忠頼」⇒長男「有馬頼利」が継ぐ(⇒寛文8(1668)年6月24日、死去)
1655年4月30日-01:00|フランス| |||<死去>ウスタシュ・ル・シェール、フランスの画家(生年1617年)
1655年5月9日-01:00|ポーランド| |||<死去>ホーレ公「カール・フェルディナント・ウァザ」
1655年5月9日-01:00|ポーランド| |||<就任>ホーレ公「ポーランド」王ヤン2世「シメシュ」(~1666年、ハプスブルク家がホーヘンツォルン王として領有)
1655年5月10日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントiago 弁務官「ウィリアム・ペン」(~6.25)、「ロバート・ウエナブルス」(~7.4)
1655年5月10日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||イギリス軍、首都ラベガ(スペイン語)を攻めラベガのスペイン人、イギリス軍に降伏
1655年5月11日-02:00|トルコ| |||<再任>オスマン帝国大宰相「カラ・ムラト・パシャ」(2期目~8.19)
1655年5月18日-09:00|日本| ||明暦1年4月13日|<改元>明暦元年となる
1655年5月18日-09:00|日本| ||明暦1年4月13日|<廃止>幕府、糸割符制
1655年5月23日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・エンデコット」(~16650315死去)
1655年5月27日 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サントiago 総督「フアン・スコ・デ・フロエンサ」グアチマコアで対抗(2回目~1656年)
1655年5月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブランテンブルク＝ハノーイト辺境伯「クリスティアン」
1655年5月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランテンブルク＝ハノーイト辺境伯「クリスティアン・エルスト」(~17120520死去)
1655年6月8日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「フアン・デ・モンターネヨ・ブラサス」(~16560619没)
1655年6月21日-01:00|イタリア| |||ダーダネルス海峡でのラザール・ロ・マチェーゴの勝利
1655年6月25日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントiago 弁務官「ウィリアム・ゲットソン」(~16570130)
1655年6月27日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー王「リポ1世」(16570402まで共同支配~17050505没)
1655年6月30日-03:00|ベラルーシ/ロシア| |||ミンスクはロシアに占領された(~1661年1月)
1655年7月4日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントiago 弁務官「リチャード・フォーテスキュー」(~10.21没)
1655年7月15日-01:00|イタリア| |||<死去>ジョーモ・ライナルディ、イタリアの建築家(生年1570年)
1655年7月25日-01:00|ポーランド/スウェーデン| |||カル10世が率いるスウェーデン軍がポーランドに侵入
1655年7月28日-01:00|フランス| |||<死去>シラノ・ド・ベルジュラック(36歳、16190306生)フランスの作家で劇作家
1655年7月28日-09:00|日本| ||明暦1年6月25日|<死去>鈴木正三、僧、仮名草子作家(生年1579年)
1655年7月29日-09:00|日本|石川県|明暦1年6月26日|九谷村の陶工、田村権左右衛門が花瓶を焼く/九谷焼(古九谷)の生産が始まる
1655年8月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ヘンクト・スキッテ・ア・デューダーホフ」(~1656年)
1655年8月2日-09:00|日本|龍谷大学|明暦1年7月|幕府の命により西本願寺学寮を破却、以後東中筋魚棚下ル飯屋の学林で講義を行う
1655年8月8日 00:00|イギリス/ハイチ| |||イギリスがトルトゥーガ島を占領
1655年8月10日-09:00|日本/中国|長崎県長崎市|明暦1年7月9日|隠元の招きで唐僧木庵が慈岳ら随侍の僧10余人を従えて来崎⇒翌日福濟寺に入る

1660迄 (2492件)

1655年8月15日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金㐺」(~25日)
1655年8月19日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「エルメ・スレイマン・パシャ」(~16560228)
1655年8月23日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「サルヴェダス伯ロドリゴ・ロペス・シルヴェイラ」(~16560114死去)
1655年8月25日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李時白」(~16560801)
1655年8月30日-01:00|ポーランド/スウェーデン| |||スウェーデン軍がワルシャワを占領
1655年9月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのベイレベ「イグルジ・ア・ケナン・パシャ」(1回目~16560502)
1655年9月1日-09:00|日本| ||明暦1年8月2日|幕府宿駅人馬及び新銭等の制を定む
1655年9月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 総督代行「ヘンリー・クロムウェル」(⇒1657年11月、総督⇒1658年1月、統監~1659年7月)
1655年9月7日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド 諸島(トランケバル) 司令官「エスキルト・アンデルセン・コングスバック」(~1669年)
1655年9月7日-01:00|フランス| |||<死去>フランソワ・トリスタン・レミット、フランスの劇作家(生年1501年頃)
1655年9月10日-09:00|日本| ||明暦1年8月11日|<死去>李参平、陶工・有田焼(伊万里焼)の祖(生年生年不詳)
1655年9月26日 06:00|アメリカ/オランダ/スウェーデン| |||オランダ 植民地総督「トマス・ストイフェサントが、バドソン川河畔のスウェーデン植民地を占領/ニューネデルラントに統合
1655年9月30日-09:00|日本|愛媛県大洲市|明暦1年9月|大洲城主加藤泰興、喜多郡長浜住吉社を再興
1655年10月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ルイス・マルティンス・デ・ソウザ・チョロ」(~16580418没)
1655年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「オットー・イオ・ジャンニニ」「パルトモオ・チェッリ」
1655年10月1日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サテニアコ 弁務官「ロバート・セジウィック」(~16560524没)
1655年10月20日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Lorenzo de Ponte y Villela + Juan Saenz de la Varguilla y Heredia」(~16560101)
1655年10月25日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル・司教ヨアン・マニエル・ト・エスピノーサ」(~16631126)
1655年11月5日 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領オレグン総督・総司令官・大審問院長「ペドロ・バスケス・デ・ベラスコ」(~1661年)
1655年11月6日-09:00|日本|長崎県五島市|明暦1年10月9日|<死去>肥前福江藩15530石「五島盛次」⇒長男の「五島盛勝」が継ぐ(叔父の五島盛清に3000石を分与し12530石⇒延宝5(1677)年12月14日隠居)
1655年11月8日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メウ総督「Diego de Arce」(1期目~16560829)
1655年11月9日-09:00|日本| ||明暦1年10月12日|幕府、町民の殺人・窃盗・姦通・放火などに関する市中法度を公布
1655年12月3日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|明暦1年11月6日|<死去改易>大和龍田藩1万石「片桐為次」無嗣断絶/弟に3000石安堵
1655年12月10日 01:00|日本|和歌山県和歌山市|明暦1年11月13日|<和歌山明暦元年の大火>朝四つ時頃(午前10時ごろ)西の丸御門の前にあった都築瀬兵衛屋敷より出火、城内西の丸、二の丸から三の丸東部へと延焼、郭外の広瀬武家屋敷街からさらに密集している町人街へと延焼、暮れ六つ時(18時ごろ)鎮火/城内三の丸の武家屋敷20軒、広瀬の武家屋敷39軒、寺院1か所の合計60軒/町屋敷は広瀬通丁94軒、同堀前5軒、表紺屋町23軒、裏紺屋町24軒、細工町45軒、船場8軒の合計199軒焼失/民家2000余戸焼失との説もある
1655年12月17日-09:00|日本|東京都八丈町|明暦1年11月20日|<死去>宇喜多秀家(84、豊臣政権下の五大老の一人)流刑先の八丈島で
1655年12月20日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<死去>ノルウェー総督「ゲレグ・ス クラップ・ティル・トルステッド」
1655年12月22日-09:00|日本|青森県弘前市|明暦1年11月25日|<死去>陸奥弘前藩47000石「津軽信義」⇒翌年2月2日、長男「津軽信政」が継ぐ(⇒元禄2(1689)年9月、1000石減封され46000石)
1655年12月22日-09:00|日本|東京都|明暦1年11月25日|町奉行所では、川筋へのゴミ投棄も禁じるとともに、江戸市中のゴミを隅田川河口の永代島へ船で運び捨てるようにとお達しした(近世の世界で最初のゴミ投棄場の指定、現在まで続く東京湾ゴミ埋め立ての始まり)
1656年-08:00|インド/ネパール/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Simon Cos」(~1662年)
1656年-08:00|インド/ネパール/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Diego Sarria Lascano」(~1658年)
1656年-05:45|ネパール| |||<即位>マスタング王「サト・バン・サム・ケラフ・パルバー」(~1710年)
1656年-05:30|インド| |||<就任>アラカル王国ラジャ「アリ・ラジャ・ムハンマド・アリ3世」(~1691年)
1656年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「アントニオ・デ・アマラル・デ・メネズ」(~16580622オランダが攻略)
1656年-04:00|モリシャス/オランダ| |||<就任>オランダのモリシャス植民地総督「アブラハム・エバーツ・ゾーン」(~16580716放棄)
1656年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「カセキ・メフメト・パシャ」(~1661年)
1656年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「アフメット・パシャ」(~1657年)
1656年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブコンゴ統治者(オカマ)「キティンボ・ンゴ1世」
1656年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Abaza Hasan Pasha」(~1657年)
1656年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハリチ・ゲルム・ムスタファ・パシャ」(~1657年)
1656年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督代行「ヴィルヘルム・ウルリッヒ」(3度目~8.2)
1656年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Boynuegri Durak Mehmed Pasha」(~同年)
1656年-02:00|ラトヴィア| |||ケルラント公がヒールンの主権を購入
1656年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「アフマド2世パシャ」(2回目~1657年)
1656年-01:00|オランダ| |||<就任>ゲメルト管理者「アンブ・ロウイス男爵ト・ド・レド・ヴィルムント」(⇒1661年、司令官~16840318)

1660迄 (2492件)

1656年-01:00|オランダ/ベルギー/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「ファン・セル・デ・オストリア」(~1659年3月)

1656年 00:00|イギリス| |||<就任>ハントントン伯「テオフィロス・ヘイスティングス」(~17010530死去)

1656年 00:00|フェロー諸島/デンマーク| |||<就任>フェロー諸島領土執行使(ト・スハウ)「Johan Heideman」(~1664年)

1656年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル国務長官「カスパー・ルド・Faria Severim」(~1662年)

1656年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「William Christian」(~1658年)

1656年 04:00|セントルシア/フランス| |||<死去>フランス領サント・ルーシー総督「ジャン・ハケ」

1656年 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Charles Houel」(3期目~1664年)

1656年 04:00|セントルシア/フランス| |||<就任>フランス領サント・ルーシー総督「ル・ブルトン」(~同年)⇒「ジュール・ド・クーティス」(~同年)⇒「エック・ルモン」(~1660年没)

1656年 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>ハイチのトルトゥーガ 総督「エリアス・ワッツ」(~1660年4月頃)

1656年 05:00|ハイチ/イギリス| |||<設立>トルトゥーガ(タートル)島の一部に英国植民地(~1660年4月)

1656年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「ジョン・ウェブスター」(~1657年)

1656年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Juan Manso de Contreras」(~1659年)

1656年1月1日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督「Lazaro Vasquez de Rojas y Alfaro + Ortuño de Tovar y Banos de Mendieta」(~5. 15)

1656年1月7日-09:00|日本|長崎県島原市|明暦1年12月11日|<死去>肥前島原藩4万石「高力忠房」(生年1584年)⇒長男「高力高長」が嗣ぐ(⇒寛文8(1668)年2月27日、改易)

1656年1月14日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督代行「マノエル・マスカレンハス・ホーメン」(~5. 22)

1656年1月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン=ラウエンブルク公「アウグスト」

1656年1月18日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=ラウエンブルク公「クリウス・ハインリヒ」(~16651120死去)

1656年1月24日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ゴールド=コースト総裁「ジョン・ヴァン・ファルケンハーグ」(1回目~16590427)

1656年1月26日-08:00|中国| ||南明・永暦10年|<即位>(チベット)ゲシ・ハン王「タヤン・ハン」(~16680312死去)

1656年1月27日-09:00|日本|福島県相馬市|明暦2年|<石直し>陸奥中村藩6万石「相馬忠胤」⇒10万2000石(~延宝元年10月2日死去)

1656年2月11日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ガーンジー=島管理人「Pierre de Beauvoir」(3期目~1660年)

1656年2月20日-09:00|日本|栃木県大田原市|明暦2年1月25日|<死去>那須資景(生年1586年)元下野那須藩初代藩主

1656年2月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「テリガジ・ヒュセイン・パシャ」(~3. 5)

1656年2月28日-01:00|ボスニア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「エルメ・スレイマン・パシャ」(~11. 22)

1656年3月-01:00|オランダ| |||ボヘミアが土星の輪を発見

1656年3月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「スルタン・ムスタファ・パシャ」(~同日4時間後)⇒「アハメド・パシャ1世」(2期目~4. 25)

1656年3月7日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「エリセウ伯フェルナント・デ・メネス」(~1661年)

1656年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メルキオーレ・マッジョ・ベルツィ」(「ウインチェンツォ・ロレンツォニ」)

1656年4月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|明暦2年3月8日|<就任>大坂城代「松平光重」(⇒万治元(1658)年3月18日)

1656年4月13日-09:00|日本|東京都千代田区|明暦2年3月19日|<退任>大老「酒井忠勝」(高齢のため)

1656年4月20日-09:00|日本|大分県大分市|明暦2年3月26日|<死去改易>豊後府内2万石「日根野吉明」無嗣(生年1587年)

1656年4月26日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ホスヤラル・メフメト・パシャ」(~9. 15)

1656年4月27日-01:00|オランダ| |||<死去>ヘルト・ファン・ホトホルスト、オランダの画家(生年1592年)

1656年4月27日-01:00|オランダ| |||<死去>ヤン・ファン・ホーエン、オランダの画家(生年1596年)

1656年5月-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督「Jacob Hustaert」(~1662. 7)

1656年5月-01:00|スウェーデン/ロシア| |||ロシア=スウェーデン間で戦争が開始

1656年5月1日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「カルロ・コンタリニ」

1656年5月1日-01:00|ノルウェー/デンマーク| |||<就任>ノルウェー総督「ニルス・トル・テイル・トルホルム」(~16610430)

1656年5月2日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルン「ファジル・パシャ」(~11. 20)

1656年5月12日-05:30|スリランカ/オランダ/ポルトガル| |||オランダが、コロンプをポルトガルから奪取

1656年5月15日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「神聖帝国伯フェリクス・デ・スニガ・イ・アベラネラ」(~1658年)

1656年5月15日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督「Rodrigo de Bastidas y Penalosa」(~7. 22死去)

1656年5月17日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「フランチェスコ・コルネーリ」(~6. 5死去)

1656年5月19日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督「ペドロ・ポルター・セサネ」(~16620227没)

1656年5月22日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「統治委員会(マノエル・マスカレンハス・ホーメン(~16570925)/フランシスコ・デ・メロ・デ・カストロ(2回目)/アントニオ・デ・ソサ・コウチニョ(2回目)」(~16610614)

1656年5月24日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サント・フィア 弁務官「エドワード・ド・イリー」(1回目~12. 14)

1656年6月5日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「フランチェスコ・コルネーリ」

1656年6月9日 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・トムキンス、イングランドの作曲家(生年1572年)

1660迄(2492件)

1656年6月15日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「ヘルツォーグ・アリエル」(~16580329死去)
1656年6月19日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「ホセ・デ・アギレ・デ・イコ・ランゲル」(~16580305)
1656年6月26日-01:00|イタリア/トルコ| |||<就任>海軍司令長官ロレンツォ・マルチェッロ、ダーダネルス海峡でトルコを敗走さす。海戦中戦死
1656年7月2日-01:00|フランス| |||<死去>プロイ伯「フランソワ・マリ」
1656年7月2日-01:00|フランス| |||<就任>プロイ伯「ヴィクトル・モリス」(~17270804死去)
1656年7月9日-09:00|日本/タイ| 長崎県長崎市| 明暦2年5月17日| シヤム船が長崎に来航。幕府は国法を告げて退去させる→8.29退去
1656年7月10日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド 植民地総督「ジョサイア・ドール」(~16600624)
1656年7月18日-09:00|日本| 福井県小浜市| 明暦2年5月26日| <交替>若狭小浜藩123500石「酒井忠勝」隠居⇒四男「酒井忠直」が継ぐ(⇒寛文8(1668)年6月13日、甥「忠国」に安房勝山藩1万石を分与立藩し11万3500石)
1656年7月22日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネチア総督「Rodrigo de Bastidas y Penalosa」
1656年7月22日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア暫定総督「Andres de Vera y Moscoso」(~16580725)
1656年7月29日-01:00|ドイツ/ポーランド/スウェーデン/リトアニア| |||スウェーデンと同盟を結んだブランデンブルク大選帝侯フリードリヒ・ヴィルヘルムが、ワルシャワでポーランド・リトアニア共和国軍を破る
1656年8月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Siyavush Pasha」(~12月)
1656年8月1日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭太和」(~16580716)
1656年8月1日-01:00|イタリア/トルコ| |||タッサー・ロ・モチーゴ、片目を失いながらも、海戦に加わり敵艦隊の完全撃滅
1656年8月2日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ベンクト・クラッソン・ホレン」(~1674年11月)、代行「ヴィルヘルム・ウルリッヒ」(4回目~1659年)
1656年8月8日-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第27代国王「サンヘット5世パラサートーン」
1656年8月8日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第28代国王「サンヘット6世チャイ」(~8.9)
1656年8月9日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第29代国王「サンヘット7世シースタンマラーチャー(スタンマラーチャー)」(~10.26死去)
1656年8月11日-01:00|イタリア| |||<死去>アルフィ公「オットー・オ・ビッッコロミニ」(生年1599年)
1656年8月11日-01:00|イタリア| |||<就任>アルフィ公「エネア・シルヴィオ・ビッッコロミニ」(~1673年)
1656年8月22日-09:00|日本| 高知県高知市| 明暦2年7月3日| <交替>土佐高知藩20万2600石「山内忠義」隠居⇒長男の「山内忠豊」が継ぐ(⇒寛文9(1669)年6月15日、隠居)
1656年8月22日-09:00|日本| 高知県四万十市| 明暦2年7月3日| <再興>土佐中村藩3万石「山内忠直」(⇒寛文7(1667)年6月9日、死去)
1656年9月-05:30|インド| |||インド、デリーのジャーマ・マシッド完成
1656年9月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Luis de Velazquez y Angulo」(~1667年)
1656年9月13日-09:00|日本| 秋田県由利本荘市| 明暦2年7月25日| <交替>出羽亀田藩2万石「岩城宣隆」隠居⇒嫡子「岩城重隆」が継ぐ(⇒宝永元(1704)年2月18日、隠居)
1656年9月14日-01:00|チコ| |||<即位>ホヘンシュ王「レオポルト1世」(~17050505死去) 神聖ローマ皇帝
1656年9月15日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケフル・リュ・メフメト・パシャ」(~16611031死去)
1656年9月21日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「フアン・アントニオ・デ・ラス・カス・バルベルデ・イ・ヌニェス・デ・ラト」(~16590924)
1656年9月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=ベルンブルク侯「Christian2世」
1656年9月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト=ベルンブルク侯「Victor Amadeus」(~17180214死去)
1656年9月22日-09:00|日本| 大阪府| 明暦2年8月5日| <移封>下総関宿藩27000石「牧野親成」⇒河内・摂津国内27000石(⇒寛文8(1668)年5月、丹後田辺藩に移封)
1656年9月22日-09:00|日本| 千葉県野田市| 明暦2年8月5日| <加増移封>山城国内27000石「板倉重宗」⇒下総関宿藩5万石(⇒12月1日死去)
1656年9月27日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦9月17日| 議会が召集される
1656年9月28日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Cristovao de Barros e Rego」(~1661年)
1656年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アレックス・ロ・ベルツィ」 「ジョヴァンニ・セラフィニ」
1656年10月2日-09:00|日本| || 明暦2年8月15日| <明暦2年「筑前大風」>巳の刻(午前10時ごろ)より風烈しく吹き出、諸国も大風/諸侯居城、堂塔神社悉く大破/8400余戸倒潰、50人死亡
1656年10月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「ヨハン・ゲオルク1世」
1656年10月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「ヨハン・ゲオルク2世」(~16800822死去)
1656年10月12日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「Giulio Sauli」(~16581012)
1656年10月23日-09:00|日本| || 明暦2年9月6日| 幕府、市中の風呂屋に対し、髪洗い女に湯女のようなことをさせないよう命じる
1656年10月25日 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「クリストバル・アルナルド・デ・イサン」(英国の支配に反抗~1657年)
1656年10月26日-07:00|タイ| |||<死去>アユタヤ王朝第29代国王「サンヘット7世シースタンマラーチャー(スタンマラーチャー)」
1656年10月26日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第30代国王「ラーマティボーン・デー3世ナラーイ」(~16880711死去)
1656年11月4日-05:30|インド| |||<死去>アーデル・シャーヒー朝シャー「ムハンマド・アーデル・シャー」
1656年11月4日-05:30|インド| |||<即位>アーデル・シャーヒー朝シャー「アリー・アーデル・シャー2世」(~16721124死去)

1660迄 (2492件)

1656年11月6日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王「シヨアン4世」52歳(誕生16040319)
1656年11月6日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「アフォンソ6世」(~16830912死去)シヨアン4世の子
1656年11月20日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルベイ「ゲルジ・ア・ケナン・パシャ」(2回目~16581112)
1656年11月22日-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「ファディル・アフメト・パシャ」(2回目~12. 12)
1656年11月28日 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督「騎士、モンサックとロセット卿ゾエミー・デ・シャン」(~1662年)
1656年11月28日-09:00|日本|東京都台東区|明暦2年10月13日|幕府が鑄銭所を浅草に設置
1656年12月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Mustafa Pasha」(~1657年)
1656年12月1日-09:00|日本|東京都中央区|明暦2年10月16日|<江戸日本橋明暦2年元呉服町の大火>深夜の亥の下刻(23時ごろ)、江戸特有の乾風(北西の空っ風)が吹きまくる中、江戸の中心街、元呉服町二丁目北側から出火、八丁堀から向八丁堀へと延び京橋まで延焼、翌日昼八つ時(14時ごろ)には鎮火/町家地48町が焼失、家数にして898軒、そのほか町会所屋敷(町奉行が町人から指名した町役人の事務所兼集会所)16か所の30軒、大名屋敷4か所、与力同心などの武家屋敷7軒、寺は良泉寺、法恩寺の2か所が全焼
1656年12月12日-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「セディ・アフメト・パシャ」(~16590324)
1656年12月14日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領ジャマイカ弁務官「ウィリアム・ブレイン」(~16570902没)
1656年12月15日-09:00|日本|群馬県沼田市|明暦2年10月30日|<交替>上野沼田藩27000石「真田信政」松代藩を相続⇒甥「真田信利」が継ぐ(⇒天和元(1681)年11月22日、改易)
1656年12月15日-09:00|日本|長野県長野市|明暦2年10月30日|<交替>信濃松代藩13万石「真田信之」隠居⇒次男「真田信政」(沼田領3万石は嫡男「信吉」)が継ぐ(⇒万治元年2月5日(16580308)死去)
1656年12月25日-01:00|オランダ| |||ホヘンスが振り子時計を発明
1657年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティボール・スルタン「Saifuddin, Golofino」(~1689年)
1657年-05:30|インド| |||<建国>マルコト王国
1657年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>バクタフジャン・ハン「ヤリ・ベグ」建国(~1708年)
1657年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスラ・ワリス「ムルタザ・パシャ」(~1658年)
1657年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Sokhte Mahmud Pasha」(~1658年)
1657年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエラ公「ジョルジョ・コーナ」(~1659年)
1657年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「シェスワ・アルザ・デ・ガジ・メフメト・パシャ」(~1660年)
1657年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンティエラ王国総督「ルカ・フランチェスコ・バルバロ」(~1660年)
1657年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「エリック・ハロン・ギレンスチエルナ・ティル・ウレベリ」(~10. 23没)
1657年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Silihdar Murteza Pasha」(2期目~1658年)
1657年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアム、モノモタパ 総司令官「マヌエル・コルテ・レアル・デ・サンハ・イ」(~1661年)
1657年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>カバレ王国ムワミ・ナフ・シ・カバレ「ナブシ5世ンジュリルジョ」
1657年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「イブ・ラヒム・パシャ」(2回目~1658年)
1657年-01:00|ベナン| |||<就任>サハルのマヒ国摂政「アボ」(~1700年)
1657年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセンツァイツ公「Maurice」(~16811204死去)
1657年-01:00|デンマーク/ポーランド/スウェーデン| |||カール・グスタフ戦争/スウェーデン王カール10世のポーランド、デンマーク遠征(-1660)
1657年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー島知事代理「Austin Buckler」(~1658年)
1657年 00:00|イギリス/ジャマイカ| |||ド・イリー将軍、キングストンから船でジャマイカ北岸に上陸。オチョ・リオスの闘いでイアン軍を撃破
1657年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>フロレス島・コルヴォ島ドナタリ長官「Brites de Mascarenhas」
1657年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「ジェームス・ラッセル卿」(~1671年)
1657年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ポネール司令官「Volckert Caertzen」⇒「Jacob Polak」(~1670年)
1657年 04:00|ガイアナ/オランダ| |||ガイアナのポメルン川沿いにオランダ植民地が作られる
1657年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「ジョン・ウインスロップ・ザ・ヤンガー」(1期目~1658年)
1657年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州市長兼副司令官「フランシスコ・アントニオ・ラベージャ」(~1659年)
1657年1月15日-09:00|日本|千葉県野田市|明暦2年12月1日|<死去>下総関宿藩5万石「板倉重宗」(生年1586年)⇒翌年3月23日、嫡男「板倉重郷」が継ぐ(⇒寛文元(1661)年12月13日、弟の重形に5000石と新田4000石を分与し4500石)
1657年1月17日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公代行「フェレンツ・レディ・キスレディ/イシュトヴァン・セディ/ア・コス・バルザイ・ナジバルザイ」(~11. 2)
1657年1月29日-01:00|イタリア| |||イタリア(ナポリ、カラブリア)地震(M4. 6)死者千人
1657年2月 00:00|ガボン/ラトビア| |||<就任>ケルラント公国セント・アントリュース島総督「ヨアヒム・デ・ニンガー・フォン・オリンダ」⇒「オットー・シュティール」(2回目、1658年まで代行~16590204)
1657年2月7日-09:00|日本|東京都台東区|明暦2年12月24日|江戸幕府が吉原遊郭を日本橋から浅草寺裏の日本堤に移転させる
1657年2月13日-09:00|日本|岡山県津山市|明暦3年|森家2代藩主長継が衆楽園完成
1657年2月13日-09:00|日本|長崎県雲仙市|明暦3年|普賢岳鳩穴付近から北に向かって溶岩を噴出し、深江村、中木満村氾濫で家屋流出。死者30余人
1657年2月13日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・盛徳5年|<即位>パントウランガ王「Po Jatamah」(~1659年)
1657年2月21日-02:00|南アフリカ/オランダ| |||東インド会社から独立したオランダ人9人がケープに入植開始

1660迄 (2492件)

- 1657年3月-05:30|インド| |||アウラングゼーブ率いるムガル軍がビジャプルに侵攻
- 1657年3月 05:00|パハ/イギリス| |||<就任>パハ植民地総督代行(エリュセウ島)「サニエル・セイル」(~1665年頃)
- 1657年3月2日-09:00|日本|駒沢大学|明暦3年1月18日以降|吉祥寺, 明暦の大火で類焼し駒込に「学林」移転/中国の名僧・陳道栄が「旃檀林」と命名
- 1657年3月2日 05:00|日本|東京都|明暦3年1月18日|<1657明暦江戸大火「振袖火事」>14時ごろ、本郷丸山の日蓮宗本妙寺から出火(実は隣接の老中・阿部忠秋邸失火説が有力)、湯島から駿河台方面へと燃え広がり、そこから二手に分かれて須田町から鍛冶町、白銀町へと南下/一方、鎌倉河岸から遠く鞆町まで飛び火し、東に延びて茅場町まで延焼。風向きが変わって炎は東方向の八丁堀からさらに霊巖島へと延び、霊巖寺に避難していた9600人余り人々が炎に巻かれた/吉原をひと舐めにした炎は、境町(日本橋人形町あたり)に飛び火しそのあたりを燃え尽くした/炎に追われた無数の群衆が日本橋方面から浅草方面に向かって逃げていたが、伝馬町の牢獄が破られたとの誤った伝聞から、浅草橋の門番が急きょ大門を閉じたため、逃げ場を失った2万3000人余りが門前や神田川に飛び込んで死亡/いったん収まっていた柳原の火がふたたび燃えはじめ神田須田町の誓願寺に飛び火、近くの大名屋敷、寺院を灰とすただけでなく、逃げまどう数万人の群衆をも包んでしまった/大川を飛び越えた炎は向島八幡宮を全焼/浅草本願寺、中村座、市村座が焼失
- 1657年3月3日 03:00|日本|東京都|明暦3年1月19日|<1657明暦江戸大火「振袖火事」2日目>(~20日)正午ごろ、小石川鷹匠町から出火、水戸藩の屋敷を焼いて堀を越え、飯田町から、番町へと延焼、江戸城天守閣にも燃え移りに二の丸を残して城はほぼ全焼/夜に入り風向きが北から西へと変わり始めたころ、麴町五丁目の町家から出火、強風に乗って瞬く間に延焼、近くの大名屋敷を焼き尽くして芝浦海岸に抜けた
- 1657年3月7日-09:00|日本|東京都|明暦3年1月23日|<死去>朱子学派儒者・林羅山(林家の祖)(生年1583年)
- 1657年3月15日 04:00|刊| |||刊・コンセツ・シツ沖地震(M8.0)死者多数
- 1657年3月19日-09:00|日本|広島県広島市|明暦3年2月5日|広島研屋町出火、革屋町、播磨屋町、平田屋町、新川場町、西魚屋町、鉄砲屋町焼失/侍屋敷25軒、町家233軒、寺3か寺焼失
- 1657年3月22日-09:00|日本|東京都|明暦3年2月8日|幕府、方角火消を初めて任命/方角火消とはあらかじめ定められた方面の火災の際に出動する大名火消/江戸城南部の桜田筋(方面)と西部の山手筋には、筑前東連寺藩黒田之勝、陸奥三春藩秋田盛季、伊予西条藩一柳直興、丹波山家藩谷衛政、石見津和野藩亀井茲政の6大名/江戸城北部下谷筋には常陸麻生藩新庄直好、出羽亀田藩岩城重隆、越後村松藩堀直吉の3大名/方角火消は担当する区域の城内で火災が起きた場合は自動的に出動し、城外近傍で火災が起きると大手門または桜田門に集結して待機、大名火消の監督に当たる使番(若年寄旗下)の指令に従って出動し消火に当たった/定火消が到着するまでの初期消火に携わるだけで、延焼を防ぐのが役目だったので「防大名」とも呼ばれた
- 1657年3月23日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||前年スペインに宣戦布告されたイギリスが、フランスとパリ条約を結んでスペインに対抗
- 1657年3月28日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・総司令官・大統領「ペドロ・デ・メリアン」(~16590106没)
- 1657年3月30日-09:00|日本/中国|長崎県長崎市|明暦3年2月16日|即非如一が渡海して長崎の崇福寺に入り中興開山となる
- 1657年4月-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||デンマークとスウェーデン間で第1次カル・グスタフ戦争が勃発
- 1657年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「イゼント・ボネリ」「ジ・ローモ・モラッチ」
- 1657年4月2日-01:00|ドイツ/チェコ/ハンガリー/ポーランド/イタリア/オーストリア/クロアチア| |||<死去>神聖ローマ皇帝・イタリア王・ドイツ王・ハンガリー国王・ボヘミア王・クロアチア王・オーストリア大公「フェルディナント3世」(48歳、16080713生)
- 1657年4月2日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「皇帝フェルディナント3世」
- 1657年4月2日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<就任>神聖ローマ帝国牧師「ライン川のプファルツ伯爵カール1世ルトヴィヒ」「ハイルン公フェルディナント・マリア」「ザクセン伯・ザクセン公ヨハン・ゲオルク2世」(~16580718)
- 1657年4月2日-01:00|オーストリア/ポーランド/ハンガリー/チェコ| |||<即位>オーストリア大公・チェシ公・ボヘミア王「レオポルト1世」兼ハンガリー王国国王「リポルト1世」フェルディナント4世の弟(~17050505死去64歳)
- 1657年4月4日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦3月25日|議会在がクロムウェルの王位推戴を決定/クロムウェルはこれを拒否
- 1657年4月12日-09:00|日本|東京都墨田区|明暦3年2月29日|幕府、江戸の大火で焼死あるいは溺死し放置されていた10万余人の霊を回向するため本所牛島新田に埋葬し、万人塚を築き回向院を建立
- 1657年4月19日-09:00|日本|香川県丸亀市|明暦3年3月6日|<死去改易>讃岐国丸亀藩45000石「山崎治頼」(8歳、生年1650年)無嗣/叔父の5000石安堵
- 1657年5月7日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|明暦3年3月24日|<死去>肥前佐賀藩32万石「鍋島勝茂」(生年1580年)⇒孫「鍋島光茂」が継ぐ(⇒元禄8(1695)年11月29日、隠居)
- 1657年5月9日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領プリアス植民地総督「トマス・ブレンス」(~16730329死去)
- 1657年5月9日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領プリアス植民地総督「ウィリアム・ブラット・フォード」(生年1590年)
- 1657年5月25日 00:00|イギリス| |||イギリスで新憲法「謙虚な請願と提案」をクロムウェルが受諾
- 1657年5月29日-09:00|日本|岐阜県恵那市|明暦3年4月16日|<死去>美濃岩村藩19000石「丹羽氏定」(生年1615年)⇒長男「丹羽氏純」が継ぐ(⇒延宝2(1674)年9月27日、死去)
- 1657年6月3日 00:00|イギリス| |||<死去>ウィリアム・ハーバー、イギリスの医学者(生年1578年)血液循環説を発表
- 1657年6月20日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「フランシスコ・バレット・デ・メネズ」(~16630624)
- 1657年6月27日-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「レオポルト1世」(~17050505死去)オーストリア大公・チェシ公・ボヘミア王・ハンガリー王
- 1657年6月30日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>フローレス島・コルヴォ島太守「Martinho de Mascarenhas」(~1676年死去)

1660迄 (2492件)

1657年7月7日-09:00|日本|東京都千代田区|明暦3年5月26日|<解任>大老「酒井忠勝」
1657年7月18日-09:00|日本|東京都|明暦3年6月8日|幕府が、宅地転換実施のため割渡奉行を設置
1657年7月19日-01:00|イタリア/トルコ| ||三日間の海戦の後、ラザール・ロ・モネーゴ戦死。後任はフランチェスコ・モロシーニ
1657年7月20日-09:00|日本|東京都江東区|明暦3年6月10日|焼失した靈巖寺、現在地に移転
1657年7月27日-09:00|日本|山梨県都留市|明暦3年6月17日|<死去>甲斐谷村藩18000石「秋元富朝」(48歳、生年1610年)⇒10月2日、孫「秋元喬朝」が継ぐ(⇒元禄4(1691)年2月3日、下野都賀郡内5000石加増し23000石)
1657年8月-05:30|インド| ||ムガル軍がアーデル・シャーヒー朝からカリヤニ、パレンダ等を割譲させる
1657年8月10日-09:00|日本|長野県長野市|明暦3年7月|<交替>信濃松代藩13万石「真田信之」隠居⇒8月「真田信政」が継ぐ
1657年8月14日-01:00|マルタ| ||<死去>マルタ騎士団総長「ジョヴァンニ・パオロ・スカリス」
1657年8月15日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「フアン・バルセロ」(~17日)
1657年8月17日-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ騎士団総長「マルティン・デ・レイン」(~16600206没)
1657年8月19日-01:00|ベルギー| ||<死去>フランス・スチーヴ・ル・フランドルの動物画家・静物画家(生年1579年)
1657年8月27日-09:00|日本|東京都台東区|明暦3年7月18日|江戸の侠客・幡随院長兵衛(生年1622年)が旗本・水野十郎左衛門に殺害される
1657年8月27日-09:00|日本|三重県桑名市|明暦3年7月18日|<死去>伊勢国桑名藩11万石「松平定良」⇒養子「松平定重」が継ぐ(⇒宝永7(1710)年閏8月15日、越後高田藩113000石に転封)
1657年8月29日 00:00|イギリス| ||<死去>ジョン・リバーン、イングランドの軍人・政治家・作家、水平派指導者(生年1614年)
1657年8月30日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|明暦3年7月21日|愛媛県宇和島市<交替>伊予宇和島藩10万2千石「伊達秀宗」隠居⇒三男「伊達宗利」が継ぐ(⇒8月16日、弟の宗純に伊予吉田藩3万石を分知し72000石)
1657年8月31日-09:00|日本| ||明暦3年7月22日|幕府が、かぶき者の禁令をだす(長兵衛事件に関連したものと推測される)
1657年9月2日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サント・ヤコブ 弁務官「エドワード・ド・イリ」(2回目⇒16610601、総督~16620811)
1657年9月8日-09:00|日本|群馬県沼田市|明暦3年8月|<交替>上野沼田藩「真田信政」信濃松代藩を襲封⇒9月「真田信利(信澄)」が継ぐ(~天和元年11月22日退任)
1657年9月8日-09:00|日本|東京都台東区|明暦3年8月|吉原遊廓が浅草千束に移転
1657年9月23日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|明暦3年8月16日|<立藩>伊予吉田藩3万石「伊達宗純」伊予宇和島藩から分与(⇒元禄4(1691)年、隠居)
1657年9月23日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|明暦3年8月16日|<領土分与>伊予宇和島藩10万2千石「伊達宗利」、弟の宗純に伊予吉田藩3万石⇒7万2千石(⇒元禄6(1693)年11月14日、隠居)
1657年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ジャコモ・ベルツィ」
1657年10月7日-08:00|中国| ||南明・永暦11年9月|南明の内紛が激化し、孫可望が李定国との戦いに敗れて清に投降
1657年10月23日-02:00|フィンランド/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「グスタフ・フリヘ・ホルン・ティル・マリエンボーム」(~1658年)
1657年11月2日-02:00|ルーマニア| ||<即位>トランシルヴァニア大公「フェルツ・レ・イ・キスレ・イ」(~16580114)
1657年11月4日-09:00|日本|東京都千代田区|明暦3年9月28日|<就任>老中「稲葉正則」(~天和1年12月8日)
1657年11月4日-09:00|日本|長野県諏訪市|明暦3年9月28日|<死去>信濃高島藩32000石「諏訪忠頼(忠恒)」(63歳、生年1595年)⇒長男「諏訪忠晴」が継ぐ(弟「頼蔭」と「頼久」に1000石ずつ分知し3万石⇒元禄8(1695)年3月2日、57歳で死去)
1657年11月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|明暦3年9月29日|<死去>上野高崎藩56000石「安藤重長」⇒嫡孫「安藤重博」が継ぐ(⇒元禄8(1695)年5月、備前松山藩65000石に移封)
1657年11月8日-01:00|デンマーク/スウェーデン| ||ユトランド半島がスウェーデンに占領される(~16580226)
1657年11月20日-01:00|スペイン| ||<就任>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「フェリペ・プロスペロ」バルサル・カロスの弟(~16611101死去)
1657年12月1日-09:00|日本|長崎県対馬市|明暦3年10月26日|<死去>対馬府中藩22800石「宗義成」⇒長男の「宗義真」が継ぐ(⇒元禄5(1692)年6月27日、隠居)
1657年12月2日-09:00|日本|宮崎県日南市|明暦3年10月27日|<死去>日向飫肥藩54000石「伊東祐久」(49歳、生年1609年)⇒12月27日、長男「伊東祐由」が継ぐ(弟「祐春」に3千石分知し51000石⇒寛文元(1661)年6月13日、31歳で死去)
1657年12月12日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<死去>サンタマリア島トナリオ長官「Joao Falcao de Sousa」
1657年12月12日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>サンタマリア島トナリオ長官「Joana de Meneses」(~1667年)
1658年-08:00|インドネシア/スペイン| ||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Francesco de Esteybar」(2期目~1659年)
1658年-05:30|インド/オランダ| ||オランダがバレーナガル、カシムバーザール等に商館を設置
1658年-04:00|ジョージア| ||<死去>カトリ王「ロストム」
1658年-04:00|ジョージア| ||<即位>カトリ王「ヴァフタンク 5世」(~1675年死去)
1658年-04:00|ロシア| ||ロシアがネジンスクに築城
1658年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>ハスラ・ワリス「フセイン・パシャ」(~1665年)
1658年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Konakci Ali Pasha」(~1659年)
1658年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>タマスカ・ワリス(総督)「Tayyardzade Mehmed Pasha」(~同年)⇒「Nuri Mehme

1660迄 (2492件)

d Pasha」(~1659年)

1658年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「アフマド 2世バシャ」(3回目~1659年)

1658年-01:00|リベントウ/イギリス| |||<就任>ファクトウツ執行官「ヨハン・ヤコフ・ハッダー」(~1662年)

1658年-01:00|リベントウ/イギリス| |||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「ナギブ」(~1682年)

1658年-01:00|スペイン/イギリス/ジャマイカ| |||ド・イリ-将軍、ふたたび北部のスペイン軍を攻撃。イサツ軍部隊はリオ・ヌエボの闘いで壊滅

1658年-01:00|オランダ| |||ホイヘンスが振り子の等時性を証明

1658年 00:00|イギリス| |||<死去>2代アナンデイル伯「ジェームズ・マレー」アナンデイル伯爵位廃絶

1658年 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー-島知事代理「Richard Yardley」(~16590119)

1658年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「マヌエル・デ・イマス・コトリム」(~1662年)

1658年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「James Chaloner」(~1660. 3)

1658年 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<設立>ゴールドコースト東部にデンマーク・ゴールドコースト集落(フリーデンスホーグ砦[ニコ：1734~1850年3月]、クリスチャンホーグ砦[アカラ/オース：1658~1659年4月&1661~16801202&1683年2月~1693年&1694年5月~1850年]、アウグスタホーグ砦[ウェ：1787年~1850年3月]、プリンツェンシュタイン砦[ケタ：1780年~18500312]、ユニオンシュタイン砦[エイト：1784年~1850年3月]、カールスホーグ砦[岬]城：16580127~16590416]、コン・ハイツ[コング：1659年~16610424]、フレドリクスホーグ砦[アマンフルまたはアマンフロ：1659年~16850416])、デンマーク・ギニア(タンスカ・ギニア)とも呼ばれる

1658年 04:00|グレナダ/フランス| |||<就任>グレナダ総督「セリラック伯ジャン3世ド・ファウター」(1回目~同年)

1658年 04:00|米領ヴァージン諸島/マルタ| |||<就任>サンクト総督「chevalier Dubois」(~1676年)

1658年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総裁・総司令官「ペレス・アントレス・フランコ」(~1660年)

1658年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Marie Bonnard du Parquet」(~同年)

1658年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「フランシスコ・デ・エレラ・エンリケス」⇒「フェルナント・イバニェス・デ・ラ・リバ・アグエロ・イ・セティ・エ・エン」(~1663年没)

1658年 05:00|ジャマイカ/パナマ| |||ジャマイカの私掠船モルカソン船長、パナマを一時占領

1658年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「トマス・ウェルズ」(2期目~1659年)

1658年 06:00|カナダ/アメリカ/フランス| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「ルセ・子爵ビエール・ド・ウァウイエ・ダルジャンソン」(~1661年)

1658年1月7日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領ニューヘイヴン植民地総督「セオフィラス・イトン」

1658年1月14日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「ジェルジ 2世バロ・ラコツィ・フェルソヴァーターシ」(2回目~10. 11)

1658年1月27日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官代行「サミュエル・シュミット」(~16590416)

1658年1月27日 00:00|ガーナ/スウェーデン/デンマーク| |||スウェーデン・ゴールドコーストのカールスホーグ砦とクリスティアンホーグ砦がデンマークに制圧された(デンマーク・ゴールドコーストの一部) (~1659年3月)

1658年1月28日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官「ハインリヒ・カーワ」(~同年)

1658年2月-01:00|スペイン/イギリス/ジャマイカ| |||クリストファー・ミンガスがジャマイカ駐留英海軍の提督に就任、スペインとの海戦に勝利

1658年2月1日-09:00|日本|愛知県豊田市|明暦3年12月29日|<死去>三河拳母藩12000石「三宅康盛」⇒翌年2月27日、長男「三宅康勝」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年5月9日、三河田原藩12000石へ移封)

1658年2月2日-08:00|中国| ||南明・永暦12年|谷応泰が「明史紀事本末」を刊

1658年2月2日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・盛徳6年|大越ケン氏がビエンホア(辺和)、ハリアを占領

1658年2月2日-09:00|日本|新潟県長岡市|明暦3年12月30日|<死去>越後与板藩1万石「牧野康成」⇒翌年2月27日、長男「牧野康道」が継ぐ(⇒元禄2(1689)年7月3日、隠居)

1658年2月3日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|明暦4年|島津光久が仙巖園築造

1658年2月12日 03:00|日本|東京都|明暦4年1月10日|<江戸本郷明暦四年六丁目の大火>午の刻(午前12時ごろ)本郷六丁目の吉祥寺の近くから出火、駿河台から鎌倉河岸、銀町(白銀町)、石町、本町と神田〜日本橋方面へと延焼、京橋から新橋を経て、東は霊岸島から八丁堀、鉄砲州および馬喰町あたりまで炎はなめ、1年前の明暦の大火から復興したばかりの江戸の中心街を灰にした/焼失した町数209町半、家数にして4421軒類焼

1658年2月14日 05:00|ペルー| ||ペルー・トルヒーヨ地震、死者多数

1658年2月26日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||スコネ、ブレッキング、ホルホルム(1658年12月8日まで)ハランドはデンマークからスウェーデンに譲渡された

1658年2月26日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||ロスクリの和議/デンマークがスコネ地方、トロンハイム地方及びボーンホルム島をスウェーデンに割譲

1658年2月26日-01:00|ルウェー/スウェーデン| |||ロスクリ条約によってボフスレン(1659年10月に奪還)とトロンハイム(12月11日奪還)がスウェーデンに譲渡された(16600527、ルウェーに正式返還)

1658年2月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「アドルフ・フリートリヒ1世」

1658年2月27日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=シュヴェリーン公「クリスティアン・ルートヴィヒ1世」アドルフ・フリートリヒ1世の息子(~16920621死去)

1658年3月-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワラキア公「ミニア3世」(~1659. 11)

1658年3月4日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・永寿1年2月|後黎朝8代・神宗が永寿と改元(-1662年旧9月)

1658年3月5日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ファン・デ・サラマンカ・イ・ホランコ」(~16620912)

1658年3月8日-09:00|日本|長野県長野市|明暦4年2月5日|<死去>信濃松代藩13万石「真田信政」⇒6月12日、六男「真田幸道」が継ぐ(⇒元禄7(1694)年8月21日、一族の真田信親へ新田2千石分知⇒元禄16(1704)年12月25日、新田2千石が戻され13万2千石)

1660迄 (2492件)

1658年3月13日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ゲオルグ3世」(~16591102~16641102死去)
1658年3月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ローテンブルク方伯「ヘルマン4世」
1658年3月25日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝ローテンブルク方伯「エルスト1世」(~16930502死去)
1658年3月27日-09:00|日本|大分県大分市|明暦4年2月24日|<移封>豊後高松藩22000石「松平忠昭」⇒豊後府内藩2200石(⇒延宝4(1676)年3月27日、隠居)
1658年3月29日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「ベルトラッチョ・ウァリエル」
1658年3月29日-09:00|日本|香川県丸亀市|明暦4年2月26日|<移封>播磨龍野藩6万石「京極高和」⇒讃岐丸亀藩6万石(⇒寛文2年9月13日(16621103)死去)
1658年3月31日-09:00|日本|愛媛県松山市|明暦4年2月28日|<交替>伊予松山藩15万石「松平定行」隠居⇒嫡男「松平定頼」が継ぐ(⇒寛文2(1662)年正月22日、死去)
1658年3月31日-09:00|日本|大阪府枚方市|明暦4年2月28日|<立藩>河内渚藩2万石「永井尚庸」山城淀藩から分与(⇒寛文10(1670)年、3万石に加増)
1658年3月31日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|明暦4年2月28日|<交替>山城淀藩10万石「永井尚政」隠居⇒長男「永井尚征」が嗣ぐ(弟「尚庸」に河内国内2万石、「尚右」に7000石、「尚春」に3200石、「尚申」に3000石をそれぞれ分知し73600石⇒寛文9(1669)年2月24日、丹後宮津藩73000石に移封)
1658年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フルゲンツィオ・マッジョーニ」「マリノ・ホネッティ」
1658年4月8日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「ジョヴァンニ・ペーザロ」(~16590930死去)
1658年4月18日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領西アフリカ総督「ルイス・マルティンス・デ・ソウザ・チチョロ」
1658年4月18日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ジョン・フェルナンデス・ウァイレラ」(~1661年)
1658年4月19日 00:00|イギリス| |||<死去>ウリック伯「ロバート・リッチ」
1658年4月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ウリック伯「ロバート・リッチ」先代の息子(~16590529死去)
1658年4月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|明暦4年3月18日|<就任>大坂城代「水野忠職」(⇒万治2(1659)年9月15日)
1658年4月29日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||スウェーデンがボーンホルム島占領(~12.8)
1658年4月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョン・クリーブランド、イングランドの詩人(生年1613年)
1658年5月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューヘイヴン植民地総督「フランシス・ニューマン」(~16601118死去)
1658年5月13日-09:00|日本|東京都港区|明暦4年4月11日|山王権現社を溜池に移転
1658年5月29日 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ植民地議会がクエーカー教徒の集会を禁止
1658年6月-05:30|インド| |||<即位>キジャンガル国マハラジャ「マン・シン」(~1706年10月没)
1658年6月4日-09:00|日本|東京都台東区|明暦4年5月4日|浅草本願寺が浅草に移転
1658年6月8日-05:30|インド| |||ムガル皇帝シャール・ジャハンの息子のアウラングゼーブが父を幽閉
1658年6月16日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「アコス・バルサイ・ナギ・バルサイ」「イシュトヴァン・ペトキ・キラリハルミ」「ミハエル・ヘルマン」(~10.11)
1658年6月22日-05:30|スリランカ/ポルトガル/オランダ| |||<退任>ポルトガル領セイロン総督「Antonio de Amaral de Meneses(in Jaffna)」オランダが攻略
1658年6月22日-01:00|オランダ/スリランカ| |||オランダによる植民地支配開始/ジャファ地域のカミル人が、オランダに降伏/さらにオランダは、マンタルを奪取
1658年6月30日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督「ウィリアム・セイル大佐」(3期目~16630112)
1658年7月-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||デンマーク、スウェーデン戦争再開/第2次カル・グスタフ戦争
1658年7月8日 04:00|グレタ/フランス| |||<就任>グレタ総督「フルタニョル男爵ジャン6世フランソワ・デュ・ビュク・デュ・パックレル」(~1660年)
1658年7月9日-09:00|日本|東京都中央区|明暦4年6月9日|<死去>歌舞伎役者初代・中村勘三郎/62歳(誕生:慶長2(1597))
1658年7月16日-04:00|モリシャス/オランダ| |||<放棄>オランダのモリシャス植民地(~1664年)
1658年7月18日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/チエコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・ドイツ王「レオポルト1世」フェルディナント3世の子・ホーハミア・ハンガリー王・チェン公(~17050505死去)
1658年7月21日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「フランシスコ・デ・フィゲイロア」(~1662年4月)
1658年7月23日-09:00|日本|大阪府松原市|明暦4年6月23日|<死去>河内丹南藩1万石「高木正弘」⇒長男「高木正盛」が継ぐ(⇒寛文10(1670)年2月10日、36歳で死去)
1658年7月25日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Pedro de Porres Toledo y Vosmediano」(~16641220)
1658年7月27日-09:00|日本|長崎県長崎市|明暦4年6月27日|大風雨があり長崎港内の数船が破損し水死者34人
1658年7月30日-09:00|日本|京都府京都市|明暦4年7月|狂歌師中川喜雲の著作で最初の京名所記『京童』が刊行
1658年7月31日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「アウラングゼーブ」(~17070303死去88歳)
1658年7月31日-05:30|インド| |||<退位>ムガル帝国皇帝「シャール・ジャハーン」
1658年8月5日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|明暦4年7月7日|<領土分与>大和高取藩25000石「植村家貞」弟「正春」に3千石⇒22000石(⇒貞享4(1687)年8月25日、隠居)
1658年8月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「沈之源」(~16590416)
1658年8月8日-09:00|日本|滋賀県高島市|明暦4年7月10日|<死去>近江大溝藩2万石「分部嘉治」⇒長男「分部嘉高」が継ぐ(⇒寛文7(1667)年6月12日、死去)
1658年8月10日-09:00|日本|宮城県仙台市|明暦4年7月12日|<死去>陸奥仙台藩62万石「伊達忠宗」⇒9月、六男「伊達綱宗」が継ぐ(⇒万治3(1660)年7月18日、不作法の儀により21歳で隠居)

1660迄 (2492件)

1658年8月15日-01:00|ドイツ| |||中部ラインと北西ドイツの領邦がライン同盟を結成
1658年8月21日-09:00|日本| ||万治1年7月23日|<改元>明暦⇒万治
1658年8月29日-09:00|日本|東京都千代田区|万治1年8月|<再建>江戸城清水門
1658年9月3日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド 共和国初代護国卿「オリバー・クロムウェル」(生年1599年)軍人、政治家
1658年9月6日-02:00|ウクライナ/ポーランド| |||ウクライナはポーランドの主権下
1658年9月9日-05:30|インド| |||<死去>タラー-シュ(生年1615年)ムガル帝国の第5代皇帝シャージャハンの長男
1658年9月10日-09:00|日本|長野県|万治1年8月13日|大村純長、耶蘇教徒603人を処刑
1658年9月13日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1658/9/3|<死去>イングランド 共和国護国卿「オリバー・クロムウェル」59歳((誕生15990425)
1658年9月13日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1658/9/3|<就任>イングランド 共和国護国卿「リチャード・クロムウェル」オリバー・クロムウェルとエリザベス・ボルトの男子(〜16590507退任〜17120712死去85歳)
1658年9月15日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Adrien Dye」(〜16621024死去)
1658年10月-07:00|カボ・ヴェルデ| |||<即位>カボ・ヴェルデ王国国王「パロム・レキ75世」(〜16720106死去)
1658年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「カルロ・ロ」(「ホ・ン・イ・ゾリ」)
1658年10月3日-09:00|日本|茨城県古河市|万治1年9月7日|<交替>下総国古河藩13万5000石「土井利隆」隠居⇒長男「土井利重」が継ぐ(弟「利益」に1万石、叔父「利長」「利房」に1万石ずつ、叔父「利直」に5000石を分与し10万石⇒延宝元(1673)年10月17日、死去)
1658年10月3日-09:00|日本|茨城県下妻市|万治1年9月7日|<分与立藩>常陸下妻藩1万石「土井利益」(⇒延宝3(1675)年5月晦日、古河藩7万石を相続)
1658年10月3日-09:00|日本|茨城県常総市|万治1年9月7日|<分与立藩>下野大輪藩1万石「土井利直」(利勝五男⇒延宝5(1677)年3月、相続に際し一族に諮らず養子を立てたとして所領を半分に削られ旗本に)
1658年10月3日-09:00|日本|栃木県足利市|万治1年9月7日|<加増>下野足利藩1万石「土井利長」兄「利隆」から1万石を再分与され2万石(⇒寛文3(1663)年7月11日、三河西尾藩23000石へ移封)
1658年10月3日-09:00|日本|栃木県足利市|万治1年9月7日|<加増>下野足利藩1万石「土井利房」+1万石⇒2万石(⇒寛文10(1670)年、5千石加増され25000石)
1658年10月4日-09:00|日本|東京都|万治1年9月8日|幕府、江戸の街を守る常設火消「定火消」を新設/常設火消として“定火消”制度を新設/編成は、若年寄支配下、4家の旗本それぞれに麹町半蔵門外、飯田町、御茶ノ水、市谷左内町と火消屋敷を与え、与力6騎、同心30名、それに110名ほどの火消人足を配置し、1日おきに2組で、江戸市中全域の防火と消火に当たせられた/火消屋敷内には火の見櫓が建てられ、櫓には大太鼓と半鐘が吊されていた/火消人足は“臥煙”と呼ばれ、火消屋敷内の大部屋に起居し、夜は長い丸太棒を枕に十数人が並んで寝た/出火ともなると寝ずの番役が丸太棒の端を木槌で叩いて起こした(“叩き起こす”の語源)
1658年10月11日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア大公「アコスタ・バルザイ」(〜16601231)
1658年10月12日-09:00|日本| ||万治1年9月16日|<死去>本因坊算悦、囲碁棋士(生年1611年)
1658年10月14日-01:00|イタリア| |||<死去>モナ・レージョ公「フランチェスコ1世」
1658年10月14日-01:00|イタリア| |||<即位>モナ・レージョ公「アルフォンソ4世」(〜16620716死去)
1658年10月15日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドー・ジェ「ジョヴァンニ・パチス・セントウリオネ」(〜16601015)
1658年10月21日-09:00|日本|和歌山県新宮市|万治1年9月25日|<交替>紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老)「水野重良」隠居⇒長男「水野重上」が継ぐ(⇒宝永4(1707)年3月1日死去)
1658年10月23日 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・ブライト(生年生年不詳)イングランド 下院議員、「ブライト」の「パージ」で知られる
1658年10月25日-09:00|日本|長崎県大村市|万治1年9月29日|大村のキリシタン5人が長崎で斬首
1658年10月27日-09:00|日本|静岡県掛川市|万治1年10月1日|<死去>遠江掛川藩3万石「北条氏重」64歳(⇒12月22日、無嗣改易)
1658年11月3日-09:00|日本|岡山県倉敷市|万治1年10月8日|<死去>備中岡田藩10343石「伊東長治」⇒長男「伊東長貞」が継ぐ(⇒元禄6(1693)年9月1日死去)
1658年11月6日-01:00|フランス| |||<死去>ピエール・デュ・リュ、フランスの劇作家(生年1606年)
1658年11月7日-09:00|日本|石川県|万治1年10月12日|<死去>前田利常、加賀藩第3代藩主(生年1594年)
1658年11月7日-09:00|日本|茨城県つくば市|万治1年10月12日|<死去>常陸玉取藩12000石「堀利長」⇒養子「堀通周」が継ぐ(⇒延宝7年12月11日(16800112)改易)
1658年11月12日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのペイルベイ「ゲルジ・ア・ケン・パシ」(〜12月)
1658年11月12日-09:00|日本|茨城県古河市|万治1年10月17日|<死去>下総国古河藩10万石「土井利重」⇒弟「土井利久」が継ぐ(⇒延宝3(1675)年間4月29日、死去)
1658年11月12日-09:00|日本|長野県長野市|万治1年10月17日|<死去>前信濃松代藩主「真田信之」(93歳、生年1566年)
1658年11月23日-09:00|日本|東京都|万治1年10月28日|町火消(店火消)お目見え、町内に自衛消火組織や町奉行と力指揮下の火消組誕生
1658年12月3日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのペイルベイ「ゲルジ・ア・ケン・パシ」(3回目〜1659年6月)
1658年12月11日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||ノルウェーがスウェーデンからトロンハイム奪還(16600527、ノルウェーに正式返還)
1658年12月13日-09:00|日本| ||万治1年11月19日|<死去>千宗旦、茶人(生年1578年)
1658年12月24日-08:00|中国| ||清・順治15年12月|清朝が呉三桂らに命じ雲南に侵攻、桂王は西へ逃走
1658年12月28日 00:00|イギリス| |||<就任>8代アラン伯「アーサー・ストレンジ・カッテンデイク・デ・イグニット・アーチボルド・コア」(〜19830223死去)

1660迄 (2492件)

1658年12月29日-05:30|インド/オランダ| |||キロンをオランダが占領(~16590414)
1659年-08:00|ブルネイ| |||<死去>ブルネイ・スルタン「アブドゥル・ジャイル・アクバル」
1659年-08:00|インド/ネパール/スペイン| |||<就任>モリツカ諸島スペイン総督「Francesco de Atienza Ibanez」(1期目~1660年)
1659年-08:00|インド/ネパール| |||<即位>パレンバン・スルタン「Sri Susuhunan Abdurrahman」(~1706年)
1659年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「アブドゥル・ジャイル・ジャハール」(~1660年死去)
1659年-07:00|タイ| |||ラーナー王朝セムアンの後、プレーの国主が治める(~1672年)
1659年-05:30|インド| |||マイソール王国トッタ・デーヴァ・ラージャはカンタールとベッラヴァッタを征服
1659年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティニア公「ザッカリヤ・モチニョ」(~1663年)
1659年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gurcu Mustafa Pasha」(~1660. 6)
1659年-02:00|南アフリカ/オランダ| |||南アフリカで第一次コイ・コイン・オランダ人戦争が勃発
1659年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのアカシュ「ハリール・アカ」(~1660年)
1659年-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ウジンゲン侯「Walrad」(~17021017死去)
1659年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「マルティン2世」(~1673年)
1659年-01:00|フランス| |||<譲位>スウェーデン公・ルドルフ「シャルル4世」
1659年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Sigismund Francis of Austria」(~1665年)
1659年-01:00|フランス| |||<即位>スウェーデン公・ルドルフ「ジュール・マザラン」(~16610309死去) 枢機卿、シャルル4世よりルドルフを購入
1659年-01:00|フランス/スペイン| |||西仏間、戦争状態となる
1659年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||アルジェリアでオスマン総督に対する反乱がおこる
1659年-01:00|フランス/スペイン/ハイチ| |||サント・マング総督「エミ・デュ・ロト」はトルチュ島をスペインから奪回
1659年-01:00|フランス/ハイチ| |||フランス人がトルチュ島に植民
1659年-01:00|オランダ| |||ホイヘンスが振り子時計を発明
1659年-01:00|イタリア| |||モナコ公国成立
1659年 00:00|イギリス| |||<死去>初代セックス伯「トマス・サウエル」
1659年 00:00|イギリス| |||<就任>第2代セックス伯「ジェームス・サウエル」(~1671年)
1659年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「John Dutton大佐」(~1660年)
1659年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン(ティラー団)「ムハンマド・アル＝ハッジ・イブン・アブー・ハクル・アル＝ディラー」(~1663年)
1659年 00:00|ガーナ| |||デンキラがアタラを破る
1659年 00:00|セネガル/フランス| |||フランスが西アフリカでサン・ルイを建設
1659年 00:00|モロッコ| |||モロッコのサード朝が滅亡し、フィラール朝が支配
1659年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>コネチカット植民地総督「ジョン・ウィンスロップ・ザ・ヤンガー」(2期目~1676年)
1659年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル、サン・ミゲル州暫定市長兼副司令官「ルベリオ・デ・エス・ス・イ・ブラリス」(~1663年)
1659年1月4日-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公「アンリ2世・ド・サヴォワ＝ヌール」ヌールは再び王領となった
1659年1月6日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「マルティン・カルロス・デ・メンコス・イ・アールビス」(~16670108没)
1659年1月8日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「アントニオ・アリアス・デ・マルト・ナ」(~16611125没)
1659年1月11日-09:00|日本|京都府京都市|万治1年12月19日|<死去>千宗旦(茶道家)
1659年1月19日 00:00|チャンドル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー島知事「John Mason」(~16600229)
1659年1月19日-09:00|日本|兵庫県小野市|万治1年12月27日|<死去>播磨小野藩1万石「一柳直次」⇒翌年2月7日、長男「一柳末禮」が継ぐ(⇒正徳2(1712)年2月13日、64歳で死去)
1659年1月23日-08:00|中国| |||南明・永暦13年|<就任>チベット摂政「テンパ・ノルブ」(~1660年)
1659年1月23日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・永寿2年|<即位>パントウワン王「Po Saot」(~1692年)
1659年1月23日-08:00|中国/ミャンマー| |||清・順治16年・南明・永暦13年1月|清軍が昆明を占領し、南明の永暦帝は緬甸(ビルマ)へ逃亡
1659年2月4日 00:00|ガンビア/ラトビア/オランダ| |||<就任>ケルラント公国セント・アントリュース島をオランダが占領(~16600610)
1659年2月16日-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||オスマン朝に反旗を翻したシリア総督アバザ・ハサン・パシャらがオスマン朝軍に殺害される
1659年2月20日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「アロンソ・デ・ラングス・イ・コルテス」(~1663年)
1659年2月22日-09:00|日本| |||万治2年|土岐頼行、「己亥記行」を記す
1659年2月22日-09:00|日本|京都府京都市左京区|万治2年|後水尾上皇、京都修学院離宮の造営完了
1659年2月22日-09:00|日本|福井県福井市|万治2年|福井藩主松平光通が松平家の菩提寺として大安禅寺創建
1659年2月22日-09:00|日本| |||万治2年1月|嘶本「百物語」刊行(「百物語」を書名に冠した史上初めての書)
1659年2月22日-09:00|日本| |||万治2年1月|「伊曾保物語」刊行
1659年2月25日-09:00|日本|東京都台東区|万治2年1月4日|江戸上野で初の「消防出初め式」が行われる
1659年3月-05:30|インド| |||ムガル朝アウラングゼーブが寺院の新築禁止令を発令
1659年3月-01:00|オランダ/ベルギー/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント・ベルギー総督「カラセナ侯爵ルイス・デ・ベナヴイデス・カリジョ・デ・トルデト」(~1664年9月)
1659年3月 00:00|ガーナ/スウェーデン/オランダ| |||スウェーデン・ゴールド・コーストをオランダが占領(~16601210)
1659年3月16日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|万治2年1月23日|<死去>武蔵岩槻藩93000石「阿部定高」25歳⇒4月18日、弟「阿部正春」が継ぐ(自領と合わせ11万5千石⇒寛文11(1671)年12月19日、隠居)
1659年3月16日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|万治2年1月23日|<廃藩>大多喜新田藩16000石「三浦(阿部)正春」武蔵岩槻藩を相続

1660迄 (2492件)

1659年3月18日-09:00|日本|京都府京都市|万治2年1月25日|上京一円大火. 室町二条下ル町より出火、四条坊門間600余町焼亡

1659年3月21日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのベイルベイ「サイト・アフメト・パシャ」(~16600528没)

1659年3月21日-09:00|日本|静岡県掛川市|万治2年1月28日|<移封>三河西尾藩35000石「井伊直好」⇒遠江国掛川藩35000石(⇒寛文12(1672)年正月6日、死去)

1659年3月24日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「メルク・アフメト・パシャ」(~16600224)

1659年3月25日-09:00|日本|愛知県西尾市|万治2年2月3日|<加増移封>相模国高座郡内1万石「増山正利」⇒三河西尾藩2万石(⇒寛文2年7月28日(16620910)、死去)

1659年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オットー・イオ・ジャンニニ」「ジャンニ・クリストファー」

1659年4月11日-09:00|日本|兵庫県明石市|万治2年2月20日|<死去>播磨明石藩7万石「松平忠国」⇒次男「松平信之」が継ぐ(弟「信重」に5千石分知し65000石⇒延宝7(1679)年6月26日、大和郡山藩8万石へ加増移封)

1659年4月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>ジーン・ダッハ、ドイツの詩人(生年1605年)

1659年4月16日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭太和」(~16670613)

1659年4月17日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト長官「ジョシュ・クレイマー」(~16620606没)

1659年4月21日-09:00|日本| ||万治2年2月30日|会津・下野で地震、猪苗代城の石垣崩れる、南会津で人家多数倒壊、死者多数

1659年4月27日 00:00|ガーナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総裁「キャスパー・ファン・ヒューセン」(~16620407)

1659年5月5日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ジョン・ダットン」(~16610506)

1659年5月5日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<設立>セントヘレナのイギリス人入植地

1659年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アルスター伯「ジェームズ・ステュアート」初代ヨーク公(⇒16601231兼初代オールバニ公⇒16850206、イングランド王・スコットランド王・アイルランド王ジェームズ2世として即位、爵位は王領に統合)

1659年5月13日 00:00|イギリス| |||<就任>ケンブリッジ伯「ヘンリー・ステュアート」グロスター公(~16600913死去消滅)

1659年5月17日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1659/5/7|<解任>イングランド共和国護国卿「リチャード・クロムウェル」(~17120712死去85歳)

1659年5月17日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1659/5/7|<就任>イングランド共和国議会議長「ウィリアム・レンソール」(2期目~10.13)

1659年5月19日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ジェームズ・ハント」(2期目~6.2)

1659年5月22日-09:00|日本|福井県|万治2年4月2日|<福井万治2年の大火>柴田神社の南東部にあたる堀豊左衛門方から出火、次々と延焼、足羽川の右岸から西北部一帯を焦土と化した/武家屋敷街では、大名町から北の外堀を越えて下江戸町まで灰となった/町方(町人街)では、西部と西北部の約50か町が焼失/被害数は約1700軒

1659年5月29日-05:30|インド| |||アウラングゼーブがアウラ近郊でターラー・シュコーを破る

1659年5月29日 00:00|イギリス| |||<死去>ウォリック伯「ロバート・リッチ」

1659年5月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ウォリック伯「チャールズ・リッチ」先代の弟(~16730824死去)

1659年6月3日-09:00|日本|京都府京都市左京区|万治2年4月14日|御水尾上皇の山荘・修学院離宮が京都比叡山山麓に完成

1659年6月3日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ウォリントン卿アーサー・ジョーンストン」(~27日)

1659年6月5日-05:30|インド| |||ムガル朝のアウラングゼーブが正式に即位

1659年6月7日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|万治2年4月18日|<廃藩>上総大多喜藩16000石「阿部正春」武蔵岩槻藩11万5千石を相続するため

1659年6月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代クランラッセル伯「ジェームズ・ハミルトン」

1659年6月20日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代クランラッセル伯「ヘンリー・ハミルトン」(~1675年)

1659年6月22日-09:00|日本|長崎県長崎市|万治2年5月3日|長崎村より出火、部落をことごとく焼亡

1659年6月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治16年5月4日|<死去>李氏朝鮮国王「孝宗」

1659年6月28日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・順治16年5月9日|<即位>李氏朝鮮国王「顯宗」(~16740917死去)

1659年6月29日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌバゲラタ暫定大統領・総督・総司令官「ファン・コルネリ」(~16600116)

1659年7月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>イングランド・アイルランド最高司令官「エドモンド・ラウド」(2回目~1659年10月)

1659年7月11日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Bernardo Lopez de Mendizabal」(~1660年)

1659年7月28日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「バルストロート・ホイトロック」(2期目~8.16)

1659年7月29日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<コトブの戦い>ロシア・ポーランド戦争でウクライナ・コサックがロシアツァーリに勝利

1659年7月31日-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(オデヤ朝)国王「ナラサー・ラージャ1世」

1659年7月31日-05:30|インド| |||<即位>マイソール王国(オデヤ朝)国王「トットァ・デーヴァ・ラージャ」(~16730211死去)

1659年8月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Khassiki Mehmed Pasha」(~1660年)

1659年8月4日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|万治2年6月16日|<死去>出羽矢島藩1万石「生駒高俊」⇒12月26日、長男「生駒親敬」が嗣ぐ(弟「俊明」に2000石を分与し8000石となり旗本に降格)

1659年8月9日-01:00|イタリア| |||ベネチアで恐ろしい破壊的暴風雨、500隻以上のゴンドラ沈む。800本の煙突倒れる。家屋、館倒壊

1659年8月10日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレースヴィヒ公「フレデリク3世」

1659年8月10日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ・ホルシュタイン公「クリスチャン・アルフレクト」(~16950106死去)

1659年8月16日-09:00|日本|滋賀県彦根市|万治2年6月28日|<死去>近江彦根藩30万石「井伊直孝」⇒五男「井伊直澄」が継ぐ(⇒延宝4(1676)年1月3日、死去)

1659年8月16日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ヘンリー・バーン・ジョニア卿」(2期目~17日)

1660迄 (2492件)

1659年8月17日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「アーサー・ヘッリケ 卿」(2期目~31日)
1659年8月19日-09:00|日本|東京都|万治2年7月2日|江戸で洪水、深川・両国の橋が多く流失
1659年8月22日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カステロ島をヴェネツィアが占領(~1660年)
1659年9月1日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ベーン・ジュニア卿」(3期目~15日)
1659年9月5日-09:00|日本|東京都|万治2年7月19日|道中奉行設置
1659年9月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>「バーデン＝ツール」辺境伯「フリートリヒ5世」
1659年9月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>「バーデン＝ツール」辺境伯「フリートリヒ6世」(~16770131死去)
1659年9月9日-08:00|中国| ||清・順治16年; 南明・永暦13年7月23日|南京を包囲していた鄭成功が、観音山の戦いで清軍に敗れて南京攻略に失敗
1659年9月16日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「リチャード・ソルウェイ」(~29日)
1659年9月19日-09:00|日本|東京都千代田区|万治2年8月3日|江戸城本丸が復興/織田信長以来作られていた天守閣は再建されなかった
1659年9月24日-02:00|ルーマニア| |||<即位>トランシルヴァニア対立大公「ジェルジ2世バロ・ラコツィ・フェルソヴァダシ」(3回目~16600607)
1659年9月24日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「アロンソ・サルメント・デ・ソトマヨール・イ・フィゲロア」(~16620825)
1659年9月30日-01:00|イタリア| |||<死去>「ヴェネツィア共和国」ドージェ(元首)「ジョヴァンニ・ペーザロ」
1659年9月30日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「トマス・スコット」(~10. 13)
1659年10月-01:00|ルウェー/スウェーデン| |||ルウェーがスウェーデンからホーフスリン奪還(16600527、ルウェーに正式返還)
1659年10月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>イングランド・アイルランド 最高司令官「ジョン・ジョンズ」(~12. 13)
1659年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「パオロ・アントニオ・オノフリ」(アントニオ・リッチ(死去)⇒フランチェスコ・アッソエリ)
1659年10月10日-01:00|オランダ| |||<死去>「アベル・タスマン、オランダ」の探検家(生年1603年)タスマニア島とニューギニアランド、フィジーへ到達した最初のヨーロッパ人
1659年10月13日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「バルストロート・ホワイトロック」(3期目~25日)
1659年10月13日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国國務院議長「バルストロート・ホワイトロック」(~25日)
1659年10月16日-01:00|イタリア| |||<就任>「ヴェネツィア共和国」ドージェ(元首)「ドメニコ・コンタリニ」(~16750126死去)
1659年10月20日-09:00|日本|福井県敦賀市|万治2年9月5日|敦賀川向漁師町から出火、298軒焼失
1659年10月22日-01:00|オランダ| |||オランダの航海者タスマン/死去/タスマニア・ニューギニアランド 発見
1659年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国安全委員会「構成員: 「ヘンリー・ベーン・ジュニア卿/バルストロート・ホワイトロック/ウィリアム・シゲナム/ジョン・ランバート/ジェームス・ベリー/ウォリントン卿アーサー・ホルト・ジョンストン/エドマンド・ラドロー/リチャード・ソルウェイ/ジョン・デ・スロー/チャールズ・フリートウット/ジェームス・ハリントン卿/ウィリアム・スティール/ウォルター・ストリックランド/ヘンリー・ローレンス/ジョン・アイルトン/ロバート・ティッホーレン/ヘンリー・ブランドレス/ロバート・トムソン/ジョン・ヒューソン/ジョン・クレーク/ロバート・ベネット/コーネリアス・ホランド」」(~12. 23)
1659年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「安全委員会」(~16600103)
1659年10月30日-09:00|日本|大阪府大阪市|万治2年9月15日|<就任>大坂城代「内藤忠興」(⇒万治3(1660)年9月15日)
1659年11月-02:00|ルーマニア| |||<即位>「ワキア公」ゲオルグ1世」(~16600303)
1659年11月2日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「コンスタンティン・エルバン・バサラブ」(1回目~21日)
1659年11月5日-01:00|イタリア| |||イタリア南部カラブリアで地震(M6. 4) 死者2035人
1659年11月7日-01:00|フランス| |||<死去>「アルトワ伯」フェリペ8世」
1659年11月9日-09:00|日本|長崎県長崎市|万治2年9月25日|長崎諏方社跡の地に天満宮神殿竣工、正遷宮を行なう
1659年11月17日-01:00|フランス/スペイン| |||フランスとスペインの講和条約「ピレネー条約」締結/「ピレネー山脈」を境界としてフランス・スペインの国境が確定/敗北したスペインが「カタルーニャ」の一部をフランスに割譲/スペイン王フェリペ4世の王女マリー・テレース・トートリッシュがフランス王ルイ14世と結婚することになる
1659年11月17日-01:00|フランス/スペイン/ハイチ| |||フランス私兵団、エスパニョラ島の西部(現ハイチ)を占拠
1659年11月18日-01:00|フランス| |||モリエールの風刺的風俗喜劇「フレスュス」が「プティ・ポル」劇場で上演される
1659年11月21日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「シュテファン・アル」(1期目~16610117没)
1659年11月29日-09:00|日本|宮崎県児湯郡高鍋町|万治2年10月15日|<死去>日向高鍋藩3万石「秋月種春」⇒長男の「秋月種信」が継ぐ(⇒元禄2(1689)年2月晦日、隠居)
1659年12月 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Sebastian Hurtado de Corcuera y Gaviria」(~16600812死去)
1659年12月11日 04:00|トリニダード・トバゴ/オランダ/ラトビア| |||ケルランド(現ラトヴィア)植民地をオランダが占領し全島がオランダ行政下となりヤコブ・シュタットはベールフェン砦と改名
1659年12月13日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 委員会議長「ハートレス卿ウォーテ」(~16600218)
1659年12月24日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国議長「ウィリアム・レンソール」(3期目~16600316)
1659年12月25日-09:00|日本|東京都|万治2年11月12日|幕府が寛永寺・増上寺・伝通院・智楽院の境内・門前・寺領および代官支配地の開発・家屋建築を禁止し、明暦の大火後に建てられた家屋を取り壊される
1660年-08:00|ブルネイ| |||<死去>「ブルネイ・スルタン」アブドゥル・ジャイル・ジャバル」
1660年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Juan de Chaves」(~1661年)
1660年-08:00|インドネシア| |||<即位>「バカン・スルタン」Alauddin2世」(~1706年)
1660年-08:00|ブルネイ| |||<即位>「ブルネイ・スルタン」ムハンマド・アリ」(~16611116死去)
1660年-05:30|インド| |||<死去>「マイソール王国」ドッタ・デーヴァ・ラージャはジンナガルとアムリトールを征服

1660迄 (2492件)

1660年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>バガナル国統治者(タクル・サーヒブ)「ラタンジ 2世アケラジ」(~1703年没)
1660年-04:00|ジョージア| |||<死去>イメレティ王「アレクサンドル3世」
1660年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメレティ王「バゲラト5世」(~1661年)、「ウアフタンク・チュチュナシグイリ」(~1661年)
1660年-03:00|ジブチ| |||<即位>ラハイト・スルタン「カミル」
1660年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレホ・ワリス(総督)「Mehmed Pasha」(~1661年)
1660年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「キユルチュムスタファ・パシャ」(~1661年)
1660年-02:00|イスラエル/レバノン| |||イスラエルはサイタのイェレットの一部
1660年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのアガシュ「ラマダン・アガ」(~1661年)
1660年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Anne Marie Louise d'Orleans」(~1693年)
1660年-01:00|スペイン/コスタリカ/ハイチ| |||スペイン軍、四回目のトルトゥーガ掃討作戦/婦女子をふくむみな殺し作戦を展開/
トルトゥーガの残党は本島側のポール・ド・ペを占拠
1660年-01:00|スペイン/フィリピン| |||フィリピン各地でスペイン支配に対して反乱が勃発
1660年-01:00|フランス/マルティニーク| |||フランス人、マルティニークに残存するカリブ人殲滅作戦を開始。結局、抵抗を押さえること
ができず、和平を結ぶ。カリブ族はドミニカ島、サンパンサン島での居住を認められる
1660年 00:00|トゴ| |||<就任>ア林統治者(アワ・タガ)「クアム・デス1世」(~1670年)
1660年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「Robert Stringer大佐」(~1669年)
1660年 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ガーンジー-島管理人代理「Josue Gosselin」(~1661年)
1660年 00:00|モリタニア| |||<就任>トラルザ連邦エミール「アディ1世」(~1703年)
1660年 00:00|イギリス/ジャマイカ| |||ボラス、イサツと離反しイギリス軍につく。ボラスの攻撃を受けたイサツは抵抗を断念。加
ーでキューバに逃れる
1660年 03:00|仏領ギアナ/オランダ| |||<就任>ギアナのオランダ知事「Jan Classen Langedijk」(~16640515)
1660年 03:00|ブラジル| |||この頃、サンフランシスコ川下流に広がるパリーガ山地(アラゴアス州北部からペルナンブコ州南部にか
けての一带)のキポガハルマ連合王国を結成
1660年 04:00|セントルシア/フランス| |||<死去>フランス領サント・ルーシー総督「エグモン」
1660年 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島司令官「Hendrik Martens」
1660年 04:00|セントクリストファー・ネビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「ウィリアム・ワッツ」(~16660422没)
1660年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ副総督「William Watts」(~1666年死去)
1660年 04:00|グレタ/フランス| |||<就任>グレタ総督「セリラック伯ジャン3世・ド・フォア」(2回目~1664年)
1660年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総裁・総司令官「ファン・フランシスコ・デ・モンテヨール・コルト・ハ
・イ・ケナカ」(~1662年)
1660年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Chevalier Charles de Sales」(~1664年)
1660年 04:00|セントルシア/フランス| |||<就任>フランス領サント・ルーシー総督「ラ・ランド」(~同年没)⇒「ボナール」(~1664年)
1660年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「アントレス・ガウイト・デ・レオ・イレカス」
⇒長官「バルトロメ・デ・サラザール・イ・ホス」(~1663年)
1660年 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Diego Dionisio de Penalosa Briceno y Berdugo」
(~1664年)
1660年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「デ・イエコ・デ・カストロ」(~1665年)
1660年 06:00|ホンジュラス| |||海賊がホンジュラスのプエル・カベリョスを襲撃。町を焼き払った後、さらに内陸部に進出。サ
ペトロ・スラを占拠
1660年1月16日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ大統領・総督・総司令官「サンティアゴ侯爵デ・イニシオ・ペレス・
マンリケ」(2回目~16620202)
1660年1月23日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「カルシア2世アフォンソ・ン
カンガ・ア・ルケニ・アンゼンゼ・ア・ストンバ」
1660年1月23日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「アントニオ1世ヌグイタ・ア
・ンカンガ」(~16651029アンブイラの戦いで戦死)
1660年1月25日-09:00|日本|東京都|万治2年12月13日|武蔵と下総を結ぶ両国橋が完成
1660年1月31日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド共和国国家評議会議長「ジェームズ・ハントン卿」(3期目~2. 12)
1660年2月2日-01:00|フランス| |||<死去>オルアン公・ヴァロア公・アンジュー公・シャトル公・プロワ伯・アランソン公「ガストン」51歳
1660年2月2日-01:00|フランス| |||<即位>オルアン公「フィリップ1世」(~17010608)
1660年2月4日-09:00|日本|奈良県宇陀市|万治2年12月23日|<交替>大和宇陀松山藩3万石「織田高長」隠居⇒次男「
織田長頼」が継ぐ(⇒翌年9月3日、弟「長政」に3千石分知し28235石)
1660年2月4日-09:00|日本|奈良県桜井市|万治2年12月23日|<交替>大和戒重藩1万石「織田長政」隠居⇒長男「織田
長定」が継ぐ(⇒寛文12(1672)年間6月4日、死去)
1660年2月6日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「マルティン・デ・レディン」
1660年2月6日-09:00|日本|東京都|万治2年12月25日|玉川上水より引き水する武家屋敷に水道料を賦課し維持費
にあてる
1660年2月7日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「アントニオ・タンクレディ」(~9日)
1660年2月8日-09:00|日本|愛知県犬山市|万治2年12月27日|<交替>尾張犬山藩30000石「成瀬正虎」(尾張藩附家老
)隠居⇒長男「成瀬正親」が継ぐ(5000石加増し35000石⇒元禄16(1703)年9月20日死去)
1660年2月8日-09:00|日本|長崎県対馬市|万治2年12月27日|<対馬厳原万治2年の大火「一番火事」>明け方の七つ
過ぎ(午前4時ごろ)、向里之町から出火、厳原城下一円をなめつくし、火元の向里から浜之小路、田淵、丸山、かた
ひら町、奥里とつぎつぎと延焼、門蔵町、横町、今屋敷まで火勢を延ばし四つ半(午前11時ごろ)鎮火/被害は侍屋

1660迄 (2492件)

敷、町人の家あわせて1078軒焼失、橋梁8か所、飛び火で船4艘も焼失、16人死亡
1660年2月9日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「アネット・ド・クレモン・ジェッサン」(~6.2没)
1660年2月10日-01:00|オランダ| |||<死去>ユディ・レイテル、オランダの画家(生年1609年)
1660年2月11日-09:00|日本|東京都港区|万治3年|讃岐国丸亀藩主京極高和が藩領内の金刀比羅宮の分霊を藩邸
があった芝三田の地に勧請し虎ノ門金刀比羅宮創建
1660年2月11日-08:00|中国| ||南明・永暦14年|<就任>チベット摂政「トリン・ギヤツォ」(~1668年)
1660年2月12日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国家評議会議長「ヘンリー・ペイル」(~同月)⇒「アーサー・アンズリー」
(~5.28)
1660年2月13日-01:00|スウェーデン/フィンランド| |||<死去>スウェーデン王国国王・フィンランド 公「カル10世グスタフ」37歳
1660年2月13日-01:00|スウェーデン/フィンランド| |||<即位>スウェーデン王国国王・フィンランド 公「カル11世」(~16970405死去41歳
)
1660年2月13日 07:00|日本|東京都|万治3年1月3日|<江戸万治3年火災>浅草袋町より出火し、前年の火災で焼け
残った駒形堂や竹町、茶屋町等を焼失
1660年2月18日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 委員会議長「チャールズ・ケート卿」(~7月)
1660年2月24日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「セルダル・ガジ・アリ・パシャ」(~1663年)
1660年2月24日 02:00|日本|東京都|万治3年1月14日|<江戸湯島万治3年天神前の大火>巳の下刻(午前11時ごろ)、
湯島天神の大門前に住む大御番(大番:幕府の直轄部隊)に所属する森川兵左衛門宅(一書では川口左衛門宅)か
ら出火、周辺の武家屋敷を焼き払った/飛び火により、神田明神裏の門前茶屋からも出火し、湯島二丁目、三丁目
から旅籠町、猿樂町、村松町、和泉橋まで焼き尽くした/筋違橋、札の辻ぎわに延びた炎は連雀町、片町から上柳
原坊主衆町、須田町を残らず灰にした/白銀町から東の武家屋敷町も燃え、箱崎橋で炎の勢いは止まった/南の
方は中橋広小路まで、本町通りは常盤橋札の辻、油町まで、八丁堀周辺の武家屋敷を焼き、新堀町は一町だけ残
し、茅場町も残らず灰となった/大名屋敷23軒、与力、足軽など武家屋敷45軒、町家2358軒、町数にして119町が類
焼/鉄砲町から石町の間で80人死亡、白金四丁目で15人が死亡/中村座、村山座焼失
1660年2月24日 07:00|日本|愛知県名古屋市中区|万治3年1月14日|<名古屋万治3年の大火>(~15日)申の上刻ごろ(16
時ごろ)、名古屋城三の丸御門の南、片端伏見町の角にある吉原助太夫の屋敷から出火、この火は直ちに鎮火し
たが、ほとんど同時刻、本町二丁目の杉ノ町角にある、花井七左衛門宅からも出火、東南方向に燃え広がり、西は
長者町西側と島田町東側いっぱいを灰にした/東は武平町西側から駿河町、七曲がりまでを焼き尽くした/南は
堀切筋から小林におよび、ほとんど城下一円を焦土と化した/武家屋敷120軒、町家2247軒、寺院30か所を焼失、1
6人死亡/炎は翌日朝ようやく鎮火/尾張藩ではその後、碁盤割りにした市街地の南端、堀切筋の道幅を3間(約5.
5m)から5倍の15間(約27m)に広げて防火帯とした(のちに“広小路”と呼ばれている)
1660年2月29日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ジャージー-島知事「Carew Raleigh」(~6.7)
1660年3月4日-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「マルコ・ベンボ」(~1662年)
1660年3月7日 07:00|日本|東京都|万治3年1月26日|<江戸万治3年火災>台所町から出火した炎によって江戸城二
の丸まで延焼
1660年3月16日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国国務院議長「アーサー・アズリー」(~4.25)
1660年3月20日-09:00|日本|山形県鶴岡市|万治3年2月9日|<死去>出羽庄内藩10万8千石「酒井忠当」⇒4月5日、嫡
男「酒井忠義」が継ぐ(⇒天和元年11月7日(16811216)死去)
1660年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「グインツェンツォ・ロレンツォーニ」「ジヨウ・アンニ・セラフィニ」
1660年4月3日-09:00|日本|東京都|万治3年2月23日|幕府が防火のため、市中に家屋建築規制を出す/藁ぶき・茅ぶ
きの屋根には土を塗るなどの内容
1660年4月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリース伯「Enno Louis」
1660年4月4日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリース伯「George Christian」(~16650606死去)
1660年4月9日-09:00|日本|東京都千代田区|万治3年2月29日|幕府が江戸城の防火令を出す
1660年4月23日-01:00|ポーランド/スウェーデン/リトアニア| |||スウェーデンとポーランド・リトアニア共和国が、クリヴアの和約を結び、戦
争が終結/スウェーデンは占領していた貿易港をポーランドに返還/ポーランドはスウェーデンへの王位要求権を放棄/リトアニア及
びリガのスウェーデン領の確定(スウェーデンの主権を確認)/ブランデンブルク=プロシヤとハプスブルク家のポツダムからの撤退の合
意/プロシア公領がポーランド・リトアニア共和国から独立
1660年4月23日-09:00|日本| ||万治3年3月14日|<発令>幕府、水害防止のため山城、大和、伊賀3か国あて初の治
山法令(山城、大和、伊賀3か国の山々の木の根を掘ることは、洪水の時、淀川及び大和川へ土砂を流出させるお
それがあるので、今後、木の根を掘ることが無いようにし、むしろ苗木を植えるようにすること)
1660年4月24日 05:00|ペルー| |||ペルーでミ労働の改革をすすめたデ・クルスが暗殺される
1660年4月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 共和国貴族院議長代理「マンチスター伯エドワード・モンタギュー」(~5.8)、
庶民院議長「ハーボルト・グリムストン卿」(~5.8)
1660年4月29日 05:00|日本|山形県米沢市|万治3年3月20日|<米沢万治3年の大火>14時ごろ、鞆町から出火、同町
の51戸、立町の207戸、鍛冶町の70戸、川井小路の109戸、地番匠町の53戸、新桶屋町の33戸、北寺町の2寺など合計
531戸を焼失
1660年4月30日 07:00|日本|山形県米沢市|万治3年3月21日|<米沢万治3年の大火>再び出火、16時ごろ、御馬廻町
の門番吉田作兵衛の納屋からで、馬口労町、南町、紺屋町、黒川町まで延焼し、556戸が焼失
1660年5月1日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「コンスタンティン・シュエルバン・ハサプ」(2回目~16600521)
1660年5月10日-01:00|イタリア| |||ジブチ、ガエツィアから追放
1660年5月12日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ 領セイロン総督「リクワ・ファン・ゲーンズ」(1期目~1661年)
1660年5月18日 00:00|アイルランド/イギリス| |||ユリウス暦5月8日|<復元>アイルランド 王国(イングランド 王が統治~19371229)

1660迄 (2492件)

1660年5月18日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦5月8日|王政復古/仮議会在チャールズ2世の即位を宣言
1660年5月26日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「アロンソ・デ・メルカド・イ・ビジャコルタ」(~16630728)
1660年5月27日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||コペンハーゲン条約が結ばれてスウェーデン・デンマーク戦争が終結/スウェーデンはトロンハイム地方及びボーンホルム島をデンマークに返還/スウェーデン地方のスウェーデン領の確定/デンマーク海軍のバルト海でのスウェーデンに対する示威行為の禁止
1660年5月28日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのベイルベイ「ホシュナク・イスマイル・パシャ」(~1663年2月)
1660年5月29日 00:00|マン島| |||<就任>マン島主「Charles Stanley」(2期目~16721221)
1660年5月29日-09:00|日本|石川県加賀市|万治3年4月21日|<死去>加賀大聖寺藩7万石「前田利治」⇒養子「前田利明」が継ぐ(⇒元禄5(1692)年5月13日、死去)
1660年6月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Koprulu Fazil Ahmed Pasha」(~1661年)
1660年6月1日 06:00|アメリカ| |||クエーカー教禁止令によりボストンでマリ・ダ・イア絞首刑(北米大陸最後の殉教者)
1660年6月2日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「アネット・ド・クレモン・ジエッサン」
1660年6月3日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「シャル・ド・モンタニャック」(~5日)
1660年6月5日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ラファエル・コナー」(~16631020没)
1660年6月7日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「Henry Jermyn」(3期目~16650112)
1660年6月8日-09:00|日本|東京都中央区|万治3年5月|「森田座」森田太郎兵衛、森田勘彌、木挽町に開場
1660年6月8日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦5月29日|大陸に亡命していたチャールズ2世がイギリス国王に即位し、王政復古が成される(~16850206死去54歳)
1660年6月9日-01:00|フランス/スペイン| |||ルイ14世とスペインの王女マリア・テレサが結婚
1660年6月10日 00:00|ガンビニア/ラトビア| |||<就任>ケルラント公国セント・アントリュース島総督「オットー・シュティール」(3回目~7.3)
1660年6月19日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国国庫財務実行主席弁務官「エドワード・ハイド卿」(~9.8)
1660年6月24日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メーランド植民地総督「ウィリアム・カルバート」(~1661年)
1660年7月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「アルバ・マール公ジョージ・モンク」(~16620727)、代行「ロバート男爵ジョン・ロバート」(~12.31)
1660年7月3日 00:00|ガンビニア/ラトビア/オランダ| |||<就任>ケルラント公国セント・アントリュース島をオランダが占領(~8.2)
1660年7月7日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アルバ・マール公「ジョージ・モンク」(~16700103死去)
1660年7月8日 07:00|日本|東京都|万治3年6月|江戸町奉行、建物二階での紙燭、油火、ロソク使用禁止
1660年7月9日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>カリビアン諸島総司令官・総督「バーナムのウィルビー」男爵フランス・ウィルビー」(~16660723)
1660年7月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サント・ウィッチ伯「エドワード・モンタギュー」(~16720528死去)
1660年7月14日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ギルフォード女伯「エリザベス・ホイル」(~16670903死去)
1660年7月16日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Roger Nowell」(~1664年)
1660年7月16日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「トマス・モディフォード」(~同年)⇒総督代理「Humphrey Walrond」(~1663.8)
1660年7月24日-02:00|トルコ| |||イスタンブールで大火災が発生し、49時間燃え続ける/焼け死者は3000人以上でイスタンブールの大半が灰となる
1660年7月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|万治3年6月18日|<大坂城煙硝蔵に落雷-城下大火>酉の刻(18時ごろ)、大坂城青屋口の内側、出桁形付近にあった煙硝蔵(火薬庫)に落雷があり大爆発し29人が死亡、天守閣が破損したほか、付近一帯が火災となった/城下にも及び、武家屋敷、町屋など1408軒が倒壊焼損し3名死亡
1660年8月2日 00:00|ガンビニア/ラトビア| |||<就任>ケルラント公国セント・アントリュース島総督「オットー・シュティール」(4回目~16610319)
1660年8月6日-01:00|スペイン| |||<死去>スペインの画家ベラスケス(61歳、15990606生)
1660年8月10日 00:00|イギリス| |||<死去>2代リッチモンド公・5代レックス公・マーチ伯「エドメンド・ステュアート」
1660年8月10日 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド公・レックス公「チャールズ・ステュアート」リッチフィールド伯(~1672.12死去)
1660年8月12日 00:00|カリブ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国カリブ諸島総司令官「Sebastian Hurtado de Corcueray y Gaviria」
1660年8月13日-09:00|日本|富山県富山市|万治3年7月8日|富山藩は加賀藩と領地交換し、富山を富山藩の領地とした
1660年8月14日-09:00|日本|千葉県成田市|万治3年7月9日|<交替>下総高岡藩13000石「井上政重」隠居⇒嫡孫「井上政清」が継ぐ(弟「政則」に1000石、「政明」に500石を分与し11500石⇒延宝3年5月28日(16750720)死去)
1660年8月16日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Juan Perez de Guzman y Chagoyen」(~1664.11)
1660年8月23日-09:00|日本|宮城県仙台市|万治3年7月18日|<交替>陸奥仙台藩62万石「伊達綱宗」不作法の儀により21歳で隠居⇒長男「伊達亀千代(綱村)」が継ぐ(⇒元禄16(1703)年8月25日、隠居)
1660年8月29日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||オルダニー島はガーンジーから分離(~18250413)
1660年9月-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワキア公「ケリゴレ1世」(1期目~1664.12)
1660年9月3日-09:00|日本| ||万治3年7月29日|<万治3年東海・関東大水害>伊勢で大洪水が起こり200人余死亡、民家200軒が流失
1660年9月7日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領オルダニー島知事「Sir George Carteret」(~16800114死去)
1660年9月8日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国主高財務官「ササンプトン伯トマス・リスリー」(~16670516死去)
1660年9月10日 00:00|イギリス| |||<就任>アボイン伯「チャールズ・ゴートン」(~1681.3死去)

1660迄 (2492件)

1660年9月13日 00:00|イギリス| |||<死去>グロスター公・ケンブリッジ伯「ヘンリー・ステュアート」消滅
 1660年9月13日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「ウィリアム・シーモア」(~10.14死去)
 1660年9月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・デッサウ侯「John Casimir」
 1660年9月15日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・デッサウ侯「John George2世」(~16930807死去)
 1660年9月16日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「レイウ・ア・ラト・ラダ」侯爵・パニョス伯爵ジョアン・デ・レイバ・デ・ラ・セルタ」(~16640629)
 1660年9月17日-01:00|フランス/イタリア| |||カンテ・イア城壁の下でアルメゴ・デ・ステのフランス軍の敗北
 1660年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>ハミルトン公・クライズ・デール侯・アラン・ラナーケ=セルカーク伯「ウィリアム・ダグラス=ハミルトン」(⇒16881006初代セルカーク伯返上~16940418死去)
 1660年9月29日-09:00|日本|岩手県一関市|万治3年8月25日|<立藩>陸奥一関藩3万石「伊達宗勝」仙台藩より分与(⇒寛文11(1671)年6月28日、家臣争論により改易)
 1660年9月29日-09:00|日本|宮城県岩沼市|万治3年8月25日|<立藩>陸奥岩沼藩3万石「田村宗良」(伊達忠宗の三男⇒延宝6(1678)年3月26日、死去)
 1660年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アレサント・ロ・ベッルツィ」 「ジ・ヤン・バツティスタ・ザンビ・ニ」
 1660年10月6日-01:00|フランス| |||<死去>ポール・スカロン、フランスの詩人、劇作家(生年1610年)
 1660年10月7日-09:00|日本|奈良県宇陀市|万治3年9月3日|<領土分与>大和宇陀松山藩3万石「織田長頼」弟「長政」に3千石分知⇒28235石(⇒元禄2(1689)年4月3日、死去)
 1660年10月14日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「ウィリアム・シーモア」
 1660年10月14日 00:00|イギリス| |||<就任>サマセット公「ウィリアム・シーモア」(~16711212死去)
 1660年10月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|万治3年9月15日|<再任>大坂城代「松平光重」(⇒寛文元(1661)年閏8月7日)
 1660年10月22日 00:00|イギリス| |||<即位>ケンブリッジ公「チャールズ・ステュアート」ジェームズ2世の長男(~16610505死去)
 1660年10月24日-09:00|日本| ||万治3年9月20日|<万治3年四国から関東にかけて暴風雨>大風雨により、諸国に大洪水、勢州(伊勢国)では内宮の松樹倒れ、民屋の被害多し/豆州(伊豆国)下田浦にて、舟百五十艘くつがえり、江戸辺りまでの浦々(港)にて百五六十艘、その他を合わせて七百艘損壊
 1660年10月26日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ヨアヒム・ゲルスト・ルフ・ティル・トゥンビ・ホルム」(~16610419)
 1660年10月28日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジャン・ベッラルト・フルゴ・ニ」(~16610322在任中死去)
 1660年10月30日 00:00|イギリス| |||<死去>カラル伯「ジェイムズ・ヘイ」
 1660年11月1日-09:00|日本|静岡県富士宮市|万治3年9月28日|日舜富士上井出に本証寺を創す
 1660年11月18日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領ニューヘイヴン植民地総督「フランス・ニューマン」
 1660年12月 03:00|ブラジル| |||イオの砂糖糺農園の植民者、酒製造の禁止、貿易の本国独占などの戦後の処遇に不満、知事の免職を宣言し反乱
 1660年12月2日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Diogo de Mendonca Furtado」(~16651128)
 1660年12月6日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「クリコール・ギツカ」(1回目~16641120)
 1660年12月6日-09:00|日本|千葉県佐倉市|万治3年11月3日|<改易>下総佐倉藩10万石「堀田正信」幕府に諫書、信濃飯田に幽閉
 1660年12月8日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1660/11/28|ロイヤルサティの前身科学学会がロンドンで発足
 1660年12月10日 00:00|カナダ/スウェーデン| |||カール・ベークはフェトゥ王(名目上はスウェーデン)が占領(~1662年)
 1660年12月11日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1660/12/1|イギリス議会在が第一次航海条例を改定
 1660年12月15日 11:00|日本|長崎県長崎市|万治3年11月13日|夜、長崎本興善町より出火。豊後町、新町、引地町、酒屋町、袋町に延焼
 1660年12月17日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「Humphrey Walrond」(~1663.8)
 1660年12月24日-09:00|日本|愛知県岡崎市|万治3年11月22日|<加増>三河中島藩1万石「板倉重矩」+1万石⇒2万石(⇒寛文6(1666)年、2万石を加増し4万石)
 1660年12月24日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|万治3年11月22日|<加増>伊勢神戸藩1万石「石川総長」+1万石⇒2万石(⇒寛文元(1661)年10月22日、死去)
 1660年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公「トマス・ハワード」復権。アランデル伯・サリ伯(~16771213死去)
 1660年12月31日 00:00|イギリス| |||<就任>初代オールバニ公「ジェームズ・ステュアート」初代ヨーク公・初代アルスター伯(⇒16850206、イングランド王・スコットランド王・アイルランド王ジェームズ2世として即位、爵位は王領に統合)
 1660年12月31日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行「判事:モリス卿ユスタス/オレリー伯爵ロジャー・ボイル」(~16620727)